

5 成果指標について

足立区では、前述4の施策体系に基づき、関連する各事業を推進することで、基本理念の実現を目指してまいります。そして、各事業の達成状況を測るひとつの目安として、以下のとおり、本事業計画全体の成果指標を設定します。

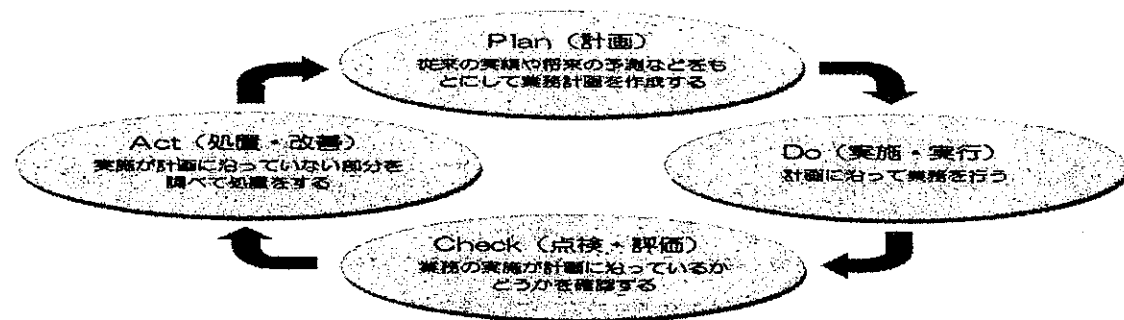
【計画全体の成果指標】

	成果指標	現状値
1	自分には良いところがあると思う子どもの割合 (↑ 通増指標) (活用データ) 足立区基礎学力定着に関する総合調査（小学校2年生から中学校3年生までを対象とした調査） ⇒「自分にはよいところがあると思う」との質問に肯定的に回答した児童の割合 (対象) 区立小学校2年生 ※本事業計画は基本的には就学前を対象としているため、就学後の直近である小学校2年生のデータにて成果を図ることとしますが、2年生以降の数値の推移も継続して注視していきます。	A層 80.2% B層 69.1% C層 62.4% (注1)
	子育てを楽しんでいると感じる保護者の割合 (↑ 通増指標) (活用データ) ・子ども政策課による集計 ・1歳6カ月児及び3歳児健康診査アンケート (対象) ・区立保育園及びこども園、私立保育園、私立幼稚園に通園する子どもの保護者 ・各乳幼児健診受診者の保護者	1歳6カ月児 95% 3歳児 92.7% 5歳児 62.4% (注2)

(注1) 学習定着度調査の成績順に3層の成績層、A層(上位層)、B層(中位層)、C層(下位層)に分割  
(注2) 子育ては楽しいと思えますか?との問いに、1歳6カ月児及び3歳児健康診査アンケートでは「あてはまる」又は「ややあてはまる」と回答した保護者の割合。子ども政策課によるアンケートでは「楽しいと感じることの方が多い」と回答した保護者の割合。

6 計画の進捗状況の管理について

本事業計画で定めた子ども・子育て支援施策を実効性のあるものとするため、毎年度、足立区地域保健福祉推進協議会（子ども支援専門部会を含む。以下「推進協」という）を定期的で開催し、PDCAサイクルのもと対象事業の実施状況等について、客観的かつ専門的な立場から意見交換、調査・審議を行います。計画における実施状況の点検・評価については、推進協での審議を経た後、区ホームページ等で公表します。



1 「足立区子ども・子育て支援事業計画」の改訂について

本事業計画（平成29年3月改訂版）は、平成27年3月に、国が示した基本指針（平成26年7月2日内閣府告示第159号）にて必須記載事項とされた「幼児期における学校教育・保育」及び「地域子ども・子育て支援事業」の量の見込みと確保方策等についてのみ定めた『足立区子ども・子育て支援事業計画』を改訂し、広く子ども・子育て支援に関する事項を網羅する計画として新たに策定するものです。

(本事業計画の全体構成)

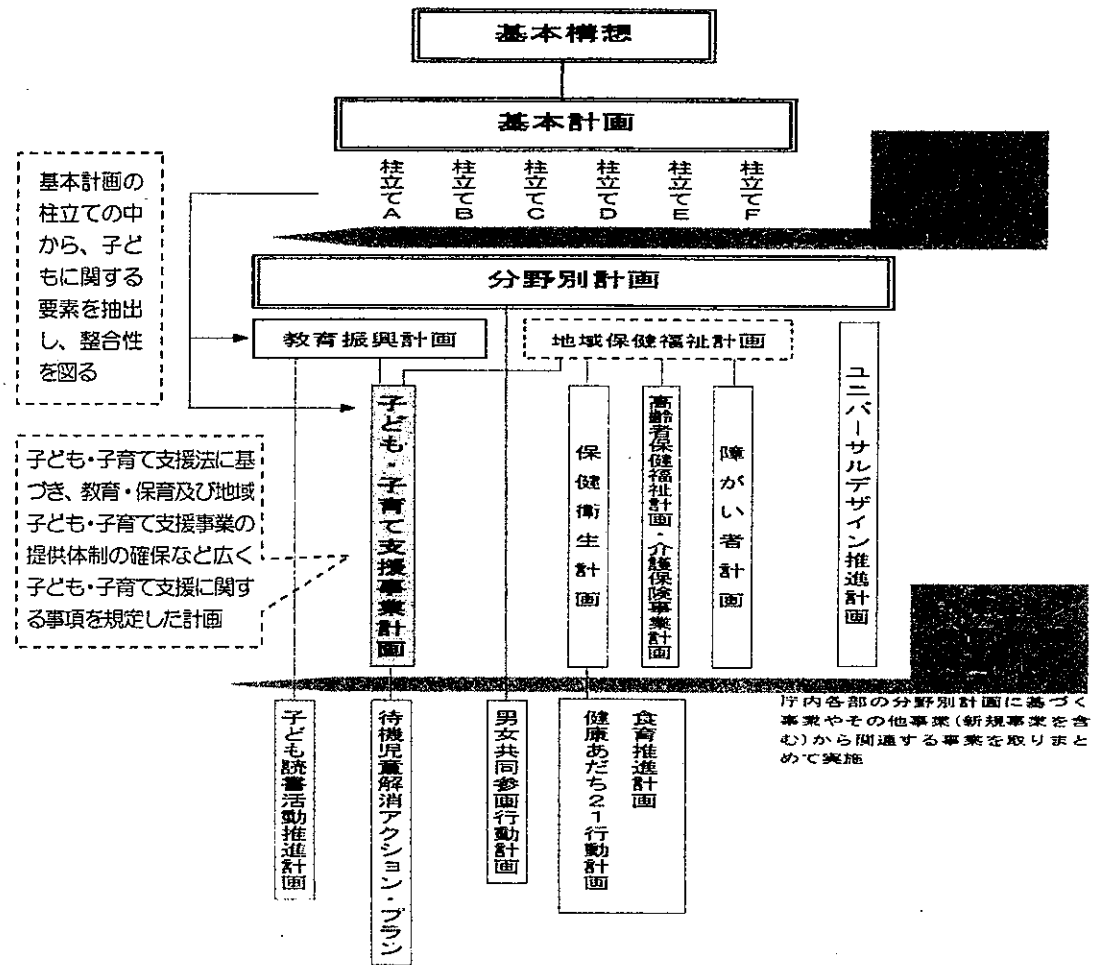
- 第1章 計画の策定にあたって**
- 第2章 足立区の子ども・子育て家庭を取り巻く現状・課題**
- 第3章 計画の基本的な考え方**
- 第4章 施策の体系**
- 第5章 幼児期における学校教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策（必須記載事項）【平成27年3月 策定済】
- 第6章 資料編**

※太字は、今回の改訂に伴い追加で作成する部分（任意記載事項）。

2 「足立区子ども・子育て支援事業計画」の位置づけについて

本事業計画の位置づけは、次のとおりです。

- ① 本事業計画は、子ども・子育て支援法第61条に基づく「区市町村子ども・子育て支援事業計画」として策定するとともに、次世代育成支援対策推進法第8条に基づく次世代育成支援対策を内包する「区市町村行動計画」を兼ねるものとして、両計画を一体的に策定するものです。
- ② 「足立区基本計画」の子ども・子育てに関連する分野の部門別計画として位置づけます。また、「足立区教育振興計画」を上位計画とした上で、『足立区教育振興計画』は原則として就学後児童とその保護者を、本事業計画は就学前児童（0～6歳）とその保護者を対象としますが、学童保育室（小学1年生から6年生を対象）や、青少年に関する事業については、対象を広げて規定しています。
- ③ 本事業計画の個々の施策については、他の分野別計画等との整合を図ります。



### 3 基本理念について

子ども・子育て支援事業計画では、教育大綱で掲げられた『夢や希望を信じて生き抜く人づくり』を基本理念とします。この基本理念には、迷いや困難に直面してもそれを乗り越え、自ら信じる夢や希望に向かっていけるたくましさを持って生きて欲しいという思いが込められています。

“これからを生き、将来、社会の担い手となる子どもたちをどのように育てあげるか”とりわけ、乳児期は、心情、意欲、態度、基本的な生活習慣等、生涯にわたる人格形成の基礎が培われる重要な時期です。この時期に、身近な大人たちからの深い愛情、様々な出会い、かかわりあいを通じて、子どもたちの自己肯定感を培い、生き抜く力を育みます。

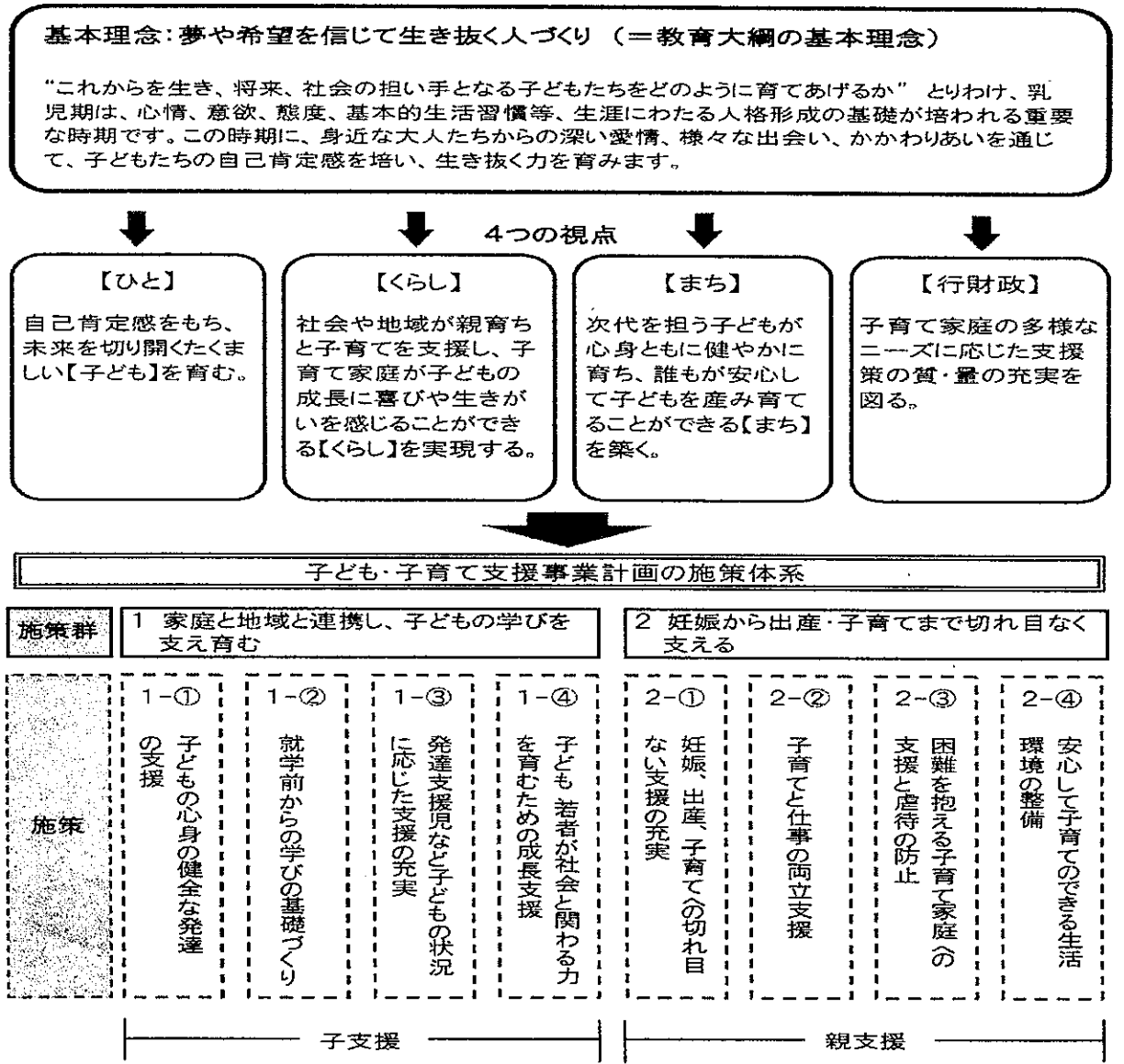
子ども・子育て支援事業計画の基本理念  
**「夢や希望を信じて生き抜く人づくり」**  
 (= 教育大綱の基本理念)

### 4 施策の体系について

足立区では多くの人が住み、働き・学び・活動し、日々の暮らしを営んでいます。まず、日々の暮らしの主役であり、まちづくりの担い手でもある「ひと」がいて、その人々が営む日々の「暮らし」があり、その暮らしが展開される舞台となる「まち」があります。さらに、「ひと」「暮らし」「まち」を支える「行財政」が必要となります。

本事業計画で掲げた「夢や希望を信じて生き抜く人づくり」という目指すべき姿を実現するために、この「ひと」「暮らし」「まち」「行財政」の4つ視点から、目指すべき方向性を整理しました。

この4つの視点を踏まえて、区が実施する施策を『1 家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む』と『2 妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える』の2つの施策群に分類し、この2つの施策群にそれぞれ4つの施策を体系づけました。これら8つの施策に取り組むことで、『夢や希望を信じて生き抜く人づくり』という基本理念の実現を目指します。



# 足立区子ども・子育て支援事業計画 (素案)



足立区

平成27年3月  
(平成29年3月改訂)



# はじめに

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*  
区長の挨拶文  
\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

平成29年3月

足立区長 近藤 やよい

# 目次

---

## 第1章 計画の策定にあたって

---

1. 計画策定の背景
2. 計画の位置づけ
3. 計画の期間
4. 計画の推進体制
5. 計画の進捗状況の管理

---

## 第2章 足立区の子ども・子育て家庭を取り巻く現状と課題

---

1. 子ども・子育て家庭を取り巻く現状
2. 子ども・子育て家庭を取り巻く課題
3. 第2期あだち次世代育成支援行動計画（平成22年度～平成26年度）の事業実績と評価

---

## 第3章 計画の基本的な考え方

---

1. 基本理念
2. 施策の体系
3. 成果指標

---

## 第4章 各施策ごとの取り組み内容

---

### 施策群1 家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む

- 施策1-① 子どもの心身の健全な発達への支援
- 施策1-② 就学前からの学びの基礎づくり
- 施策1-③ 発達支援児など子どもの状況に応じた支援の充実
- 施策1-④ 子ども・若者が社会と関わる力を育むための成長支援

### 施策群2 妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える

- 施策2-① 妊娠、出産、子育てへの継続的な支援の充実
- 施策2-② 子育てと仕事の両立支援
- 施策2-③ 困難を抱える子育て家庭への支援と虐待防止
- 施策2-④ 安心して子育てのできる生活環境の整備

---

## 第5章 幼児期における学校教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の 量の見込みと確保方策

---

1. 区域の設定
2. 「量の見込み」と「確保の方策」の算出
3. 「教育・保育」の量の見込みと確保方策
4. 「地域子ども・子育て支援事業」の量の見込みと確保方策

---

## 第6章 資料編

---

1. 計画策定の経過
2. 足立区地域保健福祉推進協議会条例等
3. 足立区地域保健福祉推進協議会等委員名簿





# 第1章

## 計画の策定にあたって

### 1 計画策定の背景（平成29年3月改訂）

子どもは社会の希望、未来を作る力であり、安心して子どもを産み、育てることのできる社会の実現は社会全体で取り組まなければならない最重要課題の一つです。

しかしながら、出生率の低下に伴い少子化が進展するとともに、核家族の増加や地域のつながりの希薄化によって、子育てに不安や孤立感を感じる家庭が少なくありません。足立区においても少子化は進行しており、平成26年の合計特殊出生率は1.37と、東京都平均の1.15を上回っていますが、全国平均1.42には及んでいない状況です。また、平成27年に行った区の将来人口推計（中位推計）では、平成32年までは人口が増加するものの、その後減少に転じ、人口構造が大きく変化することが予測されています。

このまま少子高齢化が急速に進展すると、経済の停滞や社会全体の活力低下といった状況を招き、子どもの成長にも様々な影響を与えることが懸念されます。いよいよ本格的な少子高齢社会の到来が想定されるなか、子どもを産み、育てたいという希望を叶えるためには、社会全体で子ども・子育てを支援していくことが求められています。また、女性の社会参画等に伴い保育需要が高まっており、待機児童の解消と多様化する保育ニーズに的確に対応することも大きな課題のひとつです。

こうした子ども・子育てをめぐる課題に対応するため、平成27年4月から「子ども・子育て支援新制度」がスタートしました。足立区においても、平成27年3月に「足立区子ども・子育て支援事業計画」を策定し、保育施設等の必要量の見込みと確保策を定めるとともに、「足立区待機児童解消アクションプラン」に基づき、平成30年4月までに待機児童をゼロにすることを目指して対策を進めています。

この度、子ども・子育て支援に関する施策を、より総合的かつ実効性をもって推進していくため、足立区では「子ども・子育て支援事業計画」を改訂することといたしました。改訂後の事業計画は、従来の保育施設の整備等に関する事項を中心としたものから、広く子ども・子育て支援に関する事項を網羅する計画へと刷新いたしました。この計画の改訂を第一歩とし、一人ひとりの子どもが安全・安心で健やかに成長することのできる環境の整備に社会全体で取り組んでまいります。

## 2 計画の位置づけ

### (1) 「足立区子ども・子育て支援事業計画」の改訂について

本事業計画（平成29年3月改訂版）は、平成27年3月に、国が示した基本指針（平成26年7月2日内閣府告示第159号）にて必須記載事項とされた「幼児期における学校教育・保育」及び「地域子ども・子育て支援事業」の量の見込みと確保方策等についてのみ定めた『足立区子ども・子育て支援事業計画』を改訂し、広く子ども・子育て支援に関する事項を網羅する計画として新たに策定するものです。

（本事業計画の全体構成）

**第1章 計画の策定にあたって**

**第2章 足立区の子ども・子育て家庭を取り巻く現状と課題**

**第3章 計画の基本的な考え方**

**第4章 施策の体系**

第5章 幼児期における学校教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策（必須記載事項）【平成27年3月 策定済】

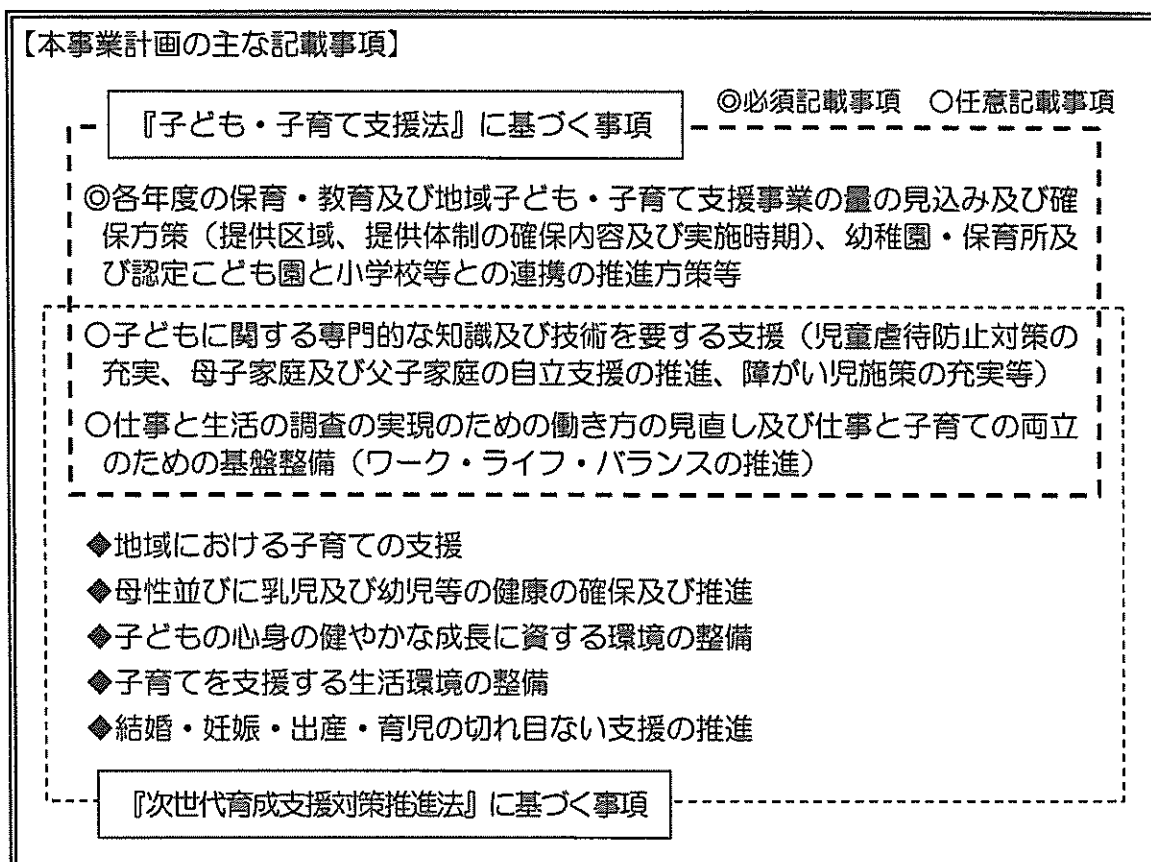
**第6章 資料編**

※**太字**は、今回の改訂に伴い追加で作成する部分（任意記載事項）。

## (2) 「足立区子ども・子育て支援事業計画」の位置づけについて

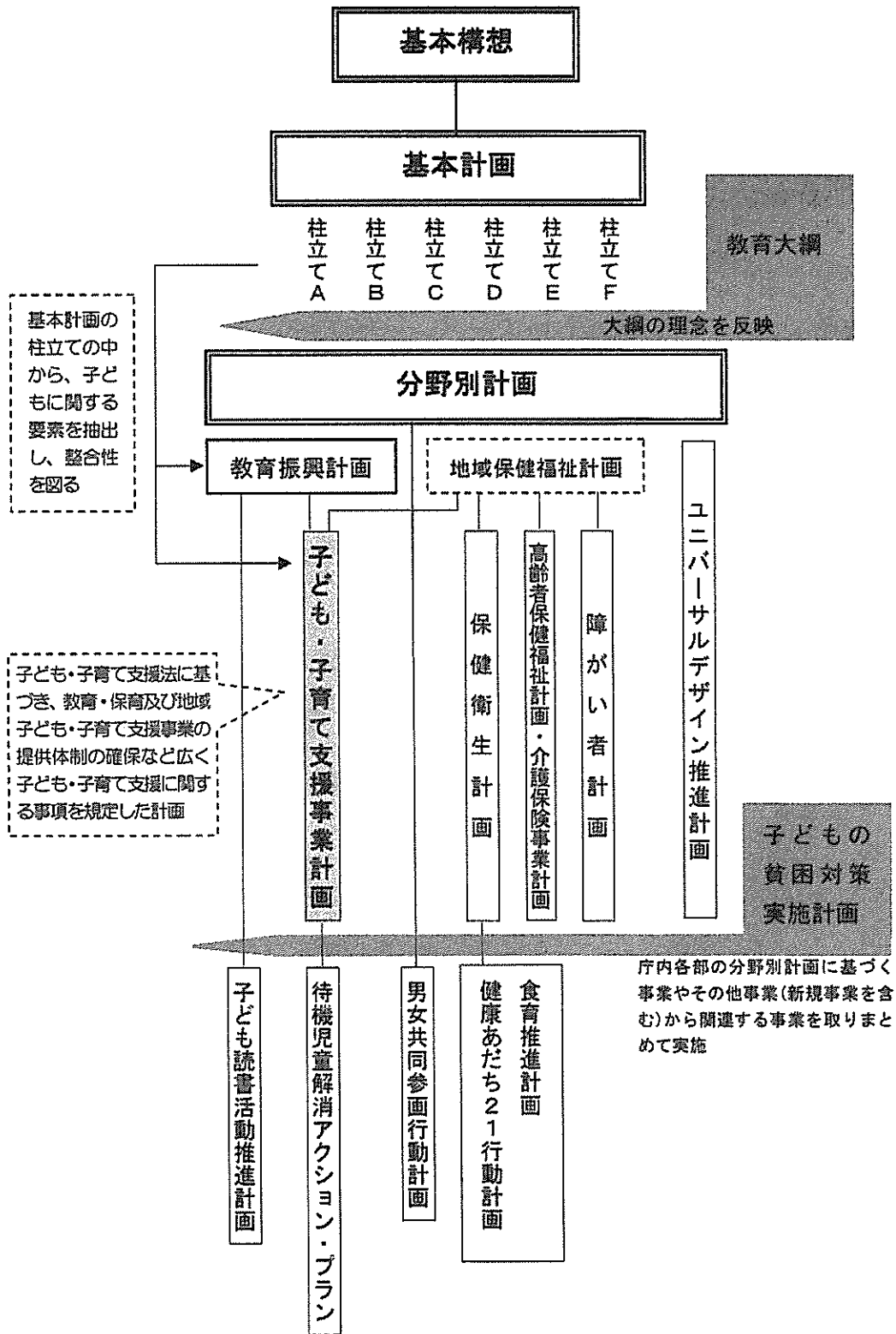
本事業計画の位置づけは、次のとおりです。

- ① 本事業計画は、子ども・子育て支援法第61条に基づく「区市町村子ども・子育て支援事業計画」として策定するとともに、次世代育成支援対策推進法第8条に基づく次世代育成支援対策を内包する「区市町村行動計画」を兼ねるものとして、一体的に策定するものです。



- ② 「足立区基本計画」の子ども・子育てに関連する部門の分野別計画として位置づけます。また、同じ分野別計画の中では、「足立区教育振興計画」の下に位置づける計画とします。
- ③ 本事業計画の対象は、**就学前児童（0～6歳）とその保護者**とします。ただし、青少年の成長支援に関すること（P42～44）や、学童保育室（小学1年生から6年生を対象）に関すること（P53）は、対象を広げて規定しています。
- ④ 本事業計画の個々の施策については、他の分野別計画等との整合を図ります。

【基本計画、教育振興計画等と子ども・子育て支援事業計画の関連図】





## 4 計画の推進体制

本事業計画で定めた平成31年度までの目標設定に基づき、計画的に施設・事業を提供するとともに、様々な子ども・子育て支援施策を着実に推進していくためには、計画の推進体制を確立する必要があります。

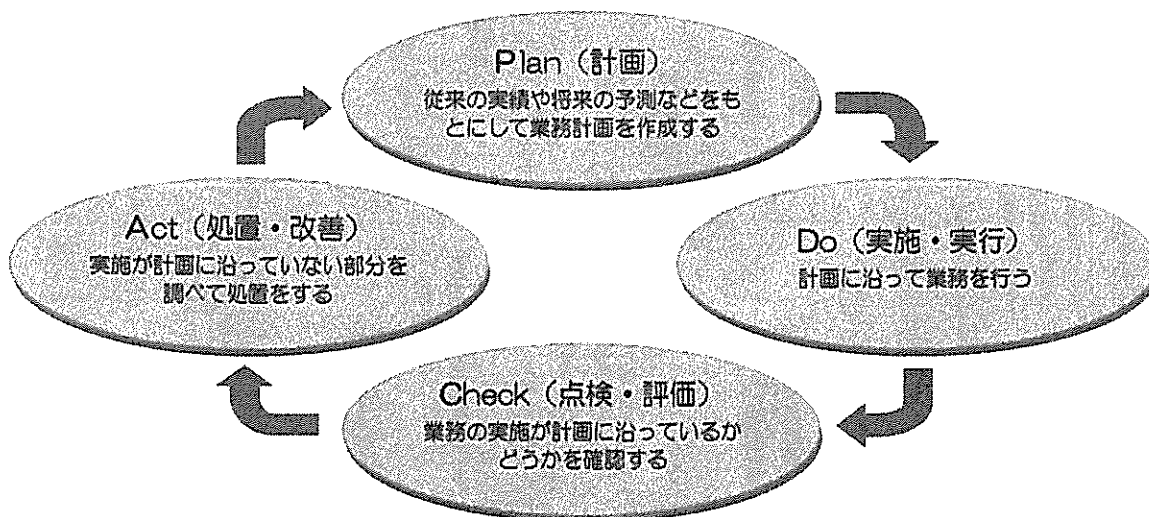
足立区では、本事業計画を策定するにあたり、学識経験者、教育・保育関係者、子育て当事者等から構成される「足立区地域保健福祉推進協議会（子ども支援専門部会を含む。以下「推進協」という。）」を子ども・子育て支援法に基づく「子ども・子育て会議」とし、本事業計画の規定内容について議論を重ねてきました。

本事業計画策定後も、計画で定める各事業の実施状況等について、推進協の場にて点検・評価を行っていきます。

## 5 計画の進捗状況の管理

本事業計画で定めた子ども・子育て支援施策を実効性のあるものとするため、毎年度、定期的に推進協を開催し、PDCAサイクルのもと対象事業の実施状況等について客観的かつ専門的な立場から意見交換、調査審議を行います。計画における実施状況の点検・評価については、推進協での審議を経た後、区ホームページ等で公表します。

【 PDCAサイクル 】



# 第2章

## 足立区の子ども・子育て家庭を取り巻く現状と課題

### 1 子ども・子育て家庭を取り巻く現状

#### (1) 人口の推移について

##### ① 人口と世帯数

人口と世帯数の推移をみると、人口、世帯数ともに年々増加しています。一方、18歳以下、15歳以下、6歳以下のすべての区分で平成25年以降、人口が年々減少しています。

■ 足立区の人口と世帯数の推移

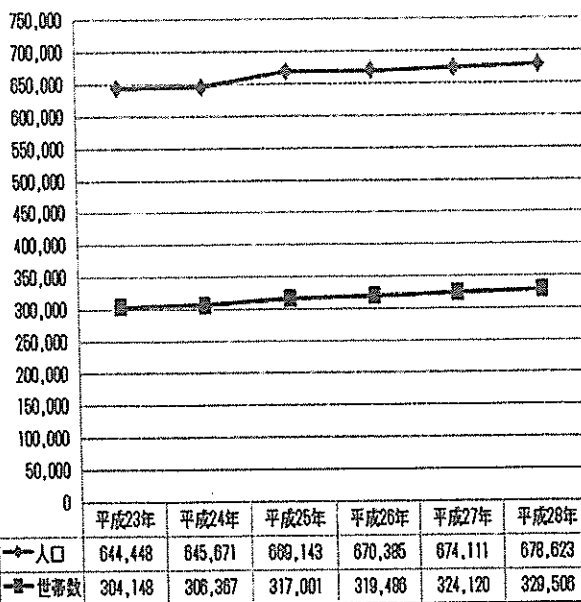
	人口	世帯数	年少人口 (14歳以下)	15歳以下	18歳以下	6歳以下
平成23年	644,448	304,148	81,482 (12.6%)	87,017 (13.5%)	103,935 (16.1%)	37,446 (5.8%)
平成24年	645,671	306,367	81,019 (12.5%)	86,721 (13.4%)	103,770 (16.1%)	37,403 (5.8%)
平成25年	669,143	317,001	83,285 (12.4%)	89,034 (13.3%)	106,797 (16.0%)	39,074 (5.8%)
平成26年	670,385	319,486	82,912 (12.4%)	88,680 (13.2%)	106,210 (15.8%)	38,978 (5.8%)
平成27年	674,111	324,120	82,818 (12.3%)	88,470 (13.1%)	106,103 (15.7%)	38,963 (5.8%)
平成28年	678,623	329,506	82,678 (12.2%)	88,467 (13.0%)	105,926 (15.6%)	38,845 (5.7%)

資料：住民基本台帳（各年1月1日現在）

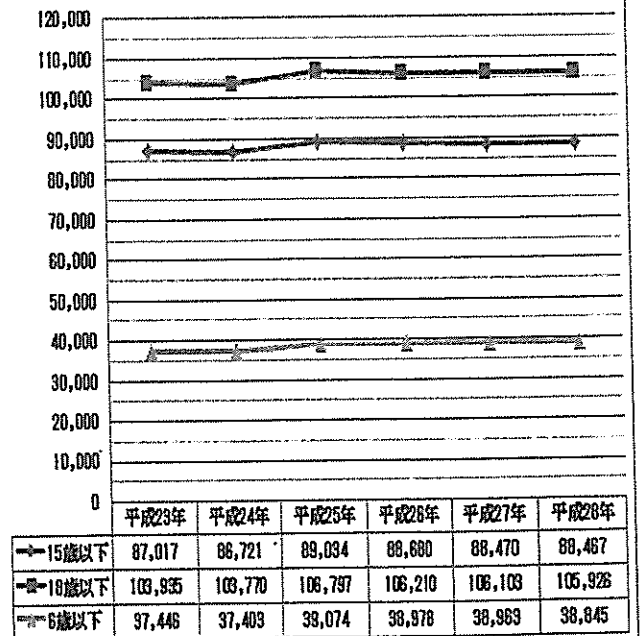
※外国人人口を含む（平成25年以降）。（ ）内の数値は、人口に占める割合。

第2章 足立区の子ども・子育て家庭を取り巻く現状と課題

人口と世帯数の推移



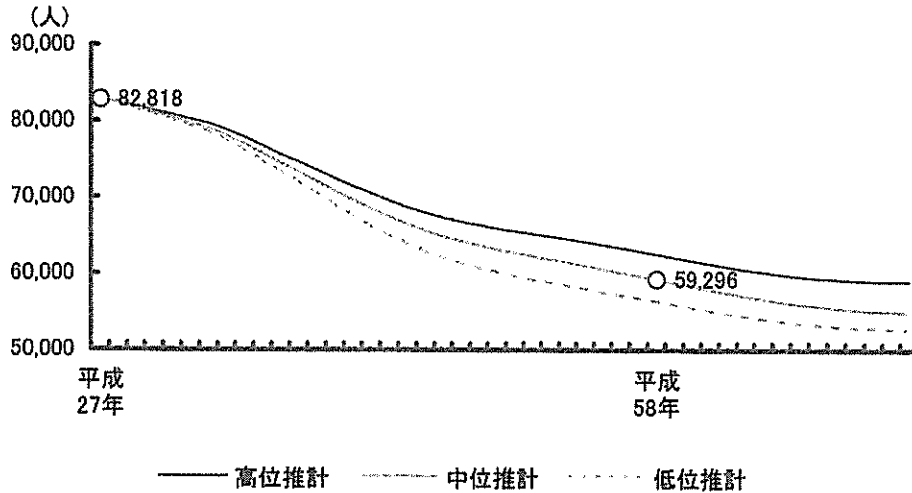
年齢別人口の推移



## ② 子どもの将来人口推計

年少者（0～14歳）数については、ほぼ一定の減少率で減少していくことが見込まれます。30年後の平成58年には、中位推計で、59,296人となり、平成27年と比較して、71.6%（23,522人減）になります。

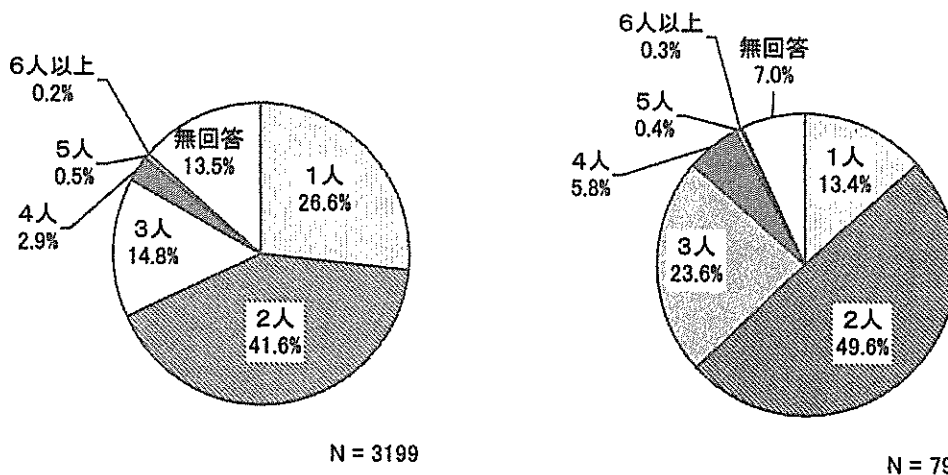
■ 足立区の0歳から14歳までの人口推計



資料：足立区人口推計

## ③ 子どもの人数

子どもの人数をみると、就学前の児童の保護者では、「2人」の割合が最も高く、次いで「1人」、「3人」となっており、就学児童の保護者では、「2人」の割合が最も高く、次いで「3人」、「1人」となっています。



資料：足立区子ども・子育て支援に関するニーズ調査（平成26年）

第2章 足立区の子ども・子育て 家庭を取り巻く現状と課題



#### ④ 出生数・合計特殊出生率

出生数の推移をみると、平成21年以降減少傾向となっています。

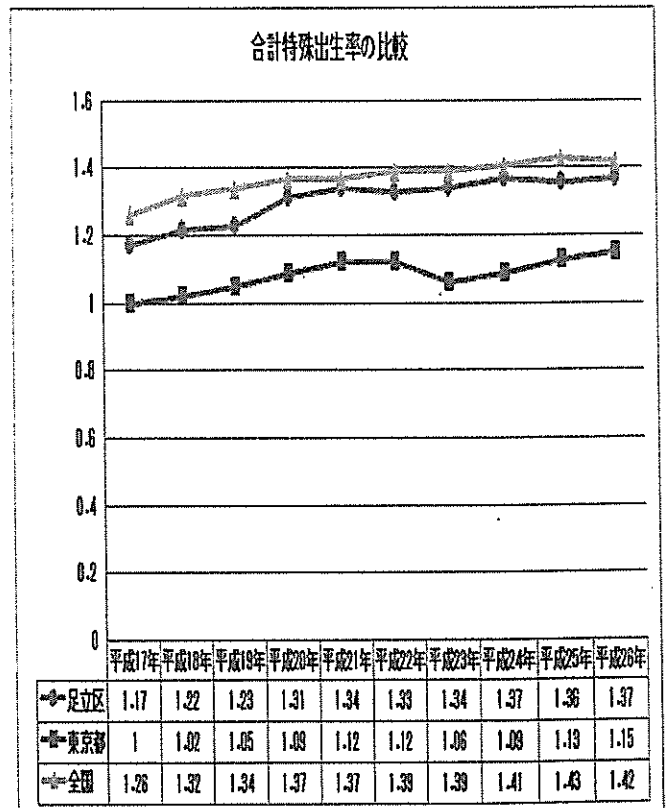
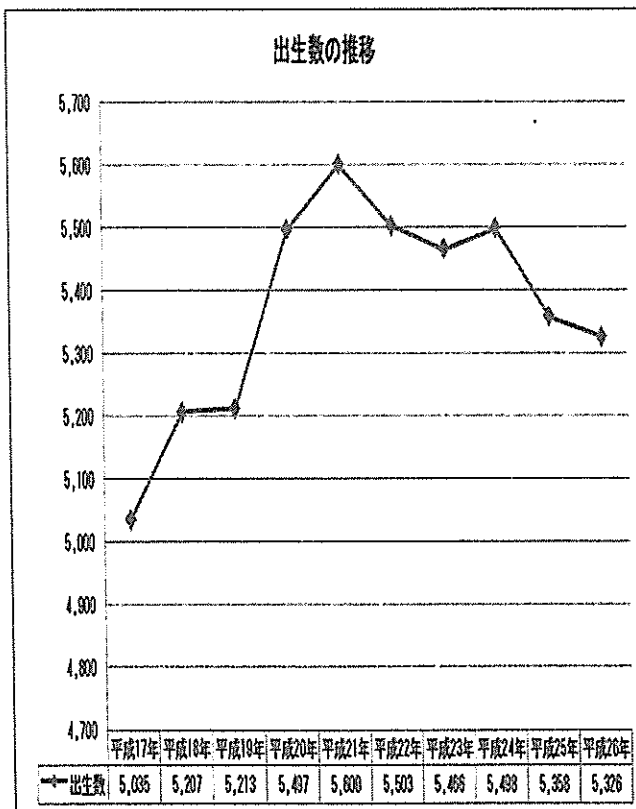
合計特殊出生率の推移をみると、緩やかな上昇傾向となっています。また、合計特殊出生率を東京都平均と比較すると、高くなっていますが、全国と比較すると低く推移しています。

■ 出生数・合計特殊出生率

	出生数	足立区 合計特殊出生率	東京都 合計特殊出生率	全国 合計特殊出生率
平成17年	5,035	1.17	1.00	1.26
平成18年	5,207	1.22	1.02	1.32
平成19年	5,213	1.23	1.05	1.34
平成20年	5,497	1.31	1.09	1.37
平成21年	5,600	1.34	1.12	1.37
平成22年	5,503	1.33	1.12	1.39
平成23年	5,466	1.34	1.06	1.39
平成24年	5,498	1.37	1.09	1.41
平成25年	5,358	1.36	1.13	1.43
平成26年	5,326	1.37	1.15	1.42

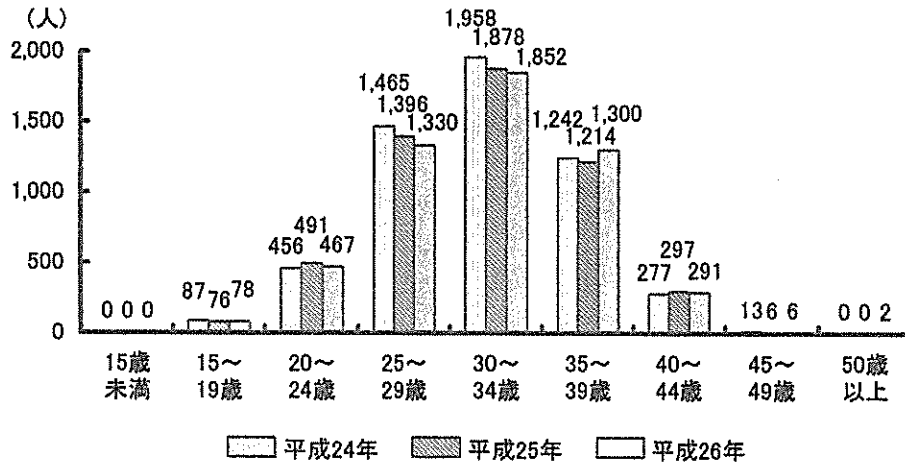
資料：人口動態統計、東京都福祉・衛生統計年報

第2章 足立区の子ども・子育て  
家庭を取り巻く現状と課題



母親の出産年齢の推移をみると、25～34歳で、年々減少しています。

■ 足立区の母親の出産年齢



資料：人口動態統計

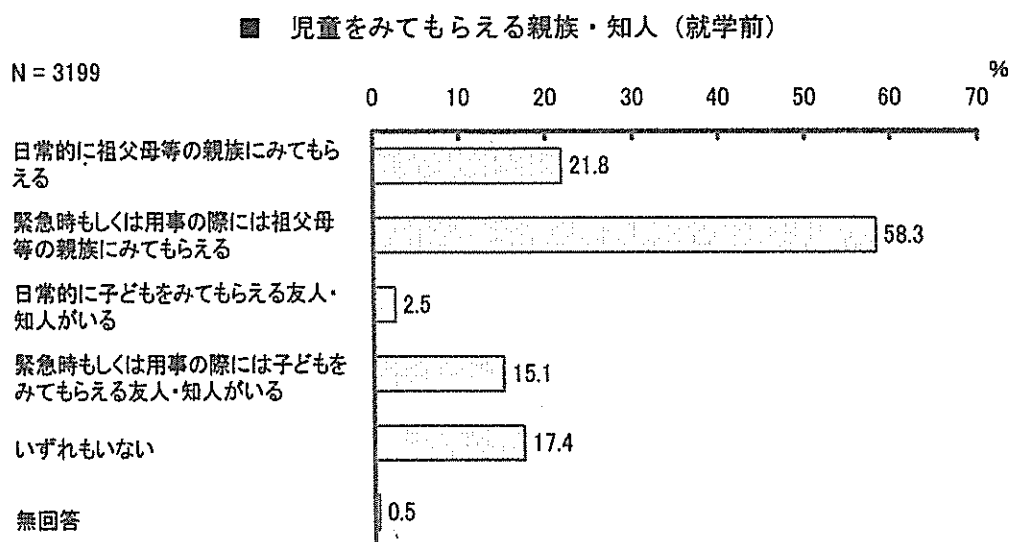
第2章 足立区の子ども・子育て  
家庭を取り巻く現状と課題

## (2) 子育て環境について

### ① 児童をみてもらえる親族・知人がいるか

就学前児童の保護者の17.4%で、日常的に、もしくは緊急時や用事の際に児童を見てもらえる親族や知人が「いずれもない」となっています。

「日常的及び緊急時に祖父母等の親族にみてもらえる」という回答が多い一方で、「いざというときに頼れる存在が身近にいない」という家庭が一定数存在し、こうした家庭への支援が必要となってきます。

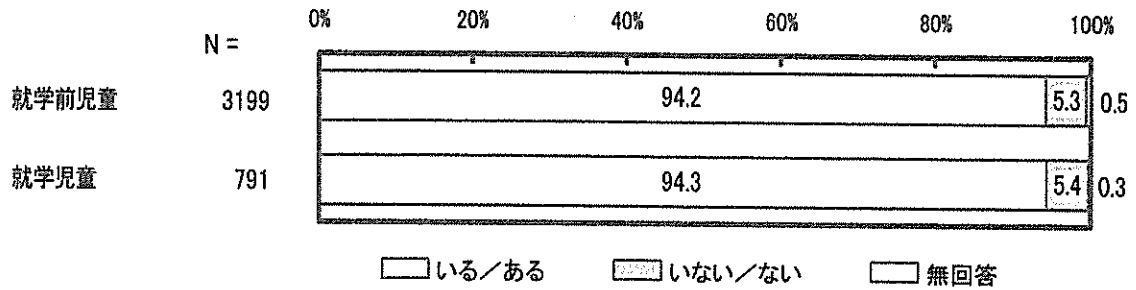


資料：足立区子ども・子育て支援に関するニーズ調査（平成26年）

## ② 子育てで悩んでいるときに相談できる人や相談機関の有無

就学前児童の保護者、就学児童の保護者ともに、9割半ばで、子育てで悩んでいるときに相談できる人や機関が「いる／ある」となっています。

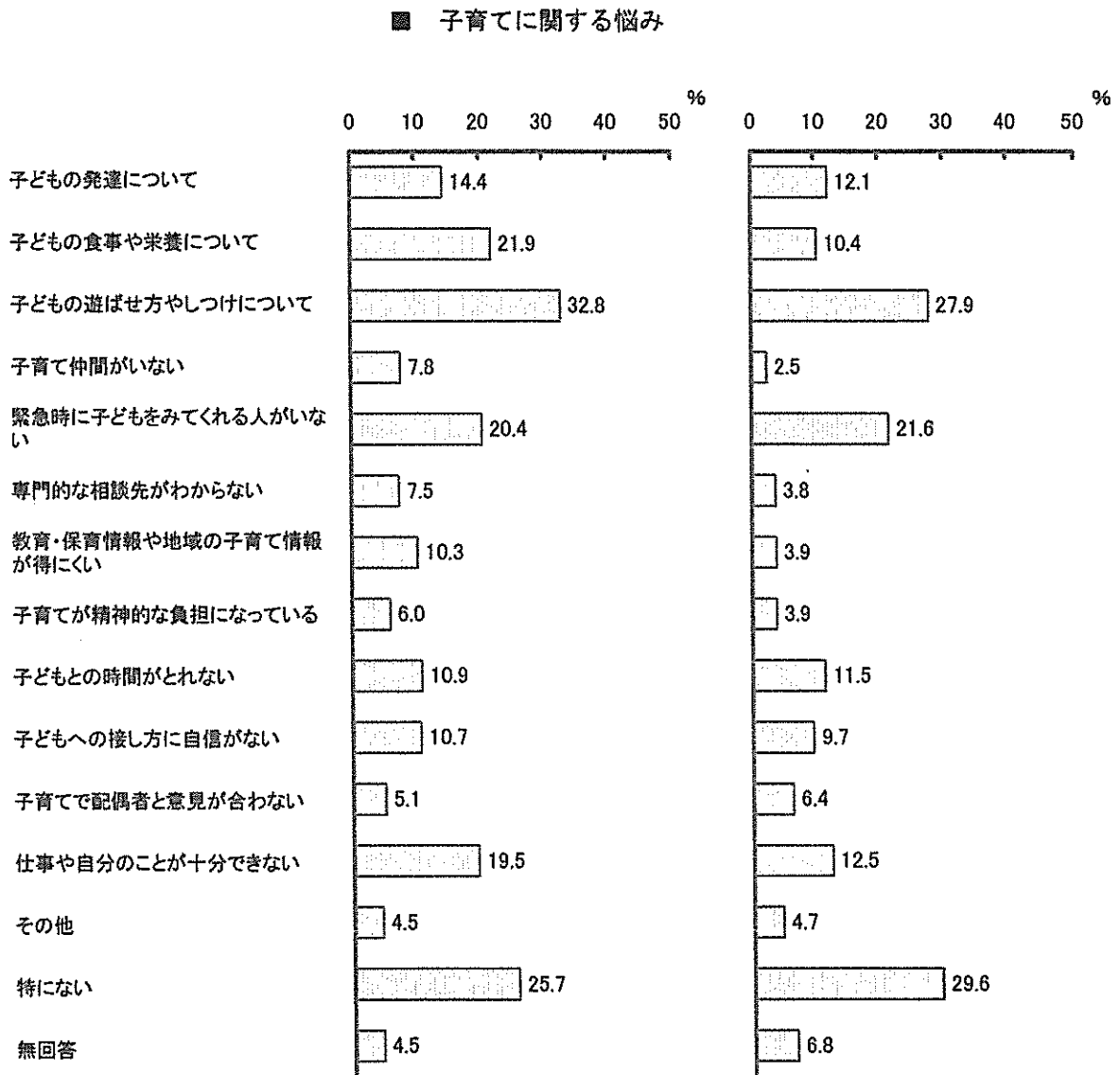
■ 子育てで悩んでいるときに相談できる人や相談機関の有無



資料：足立区子ども・子育て支援に関するニーズ調査（平成26年）

### ③ 子育てに関する悩み

子育てに関する悩みについて、就学前児童の保護者では、「子どもの遊ばせ方やしつけについて」が3割以上と最も高く、次いで「特にない」、「子どもの食事や栄養について」となっています。就学児童の保護者では、「特にない」が約3割と最も高く、次いで「子どもの遊ばせ方やしつけについて」、「緊急時に子どもをみてくれる人がいない」となっています。



資料：足立区子ども・子育て支援に関するニーズ調査（平成26年）

#### ④ 住まいの地域について、どのように感じるか

地域で子育て環境（保育所、学童クラブなど）が整っているかについて、区民の4割半ばが、“そう思う”と回答しています。

■ 住まいの地域について、どのように感じるか

N = 1929

ア. 通勤や通学などの交通の便がよい

イ. 子育て環境（保育所、学童クラブなど）が整っている

ウ. 地域の施設は、高齢者や障がいのある方なども利用しやすいよう配慮されている

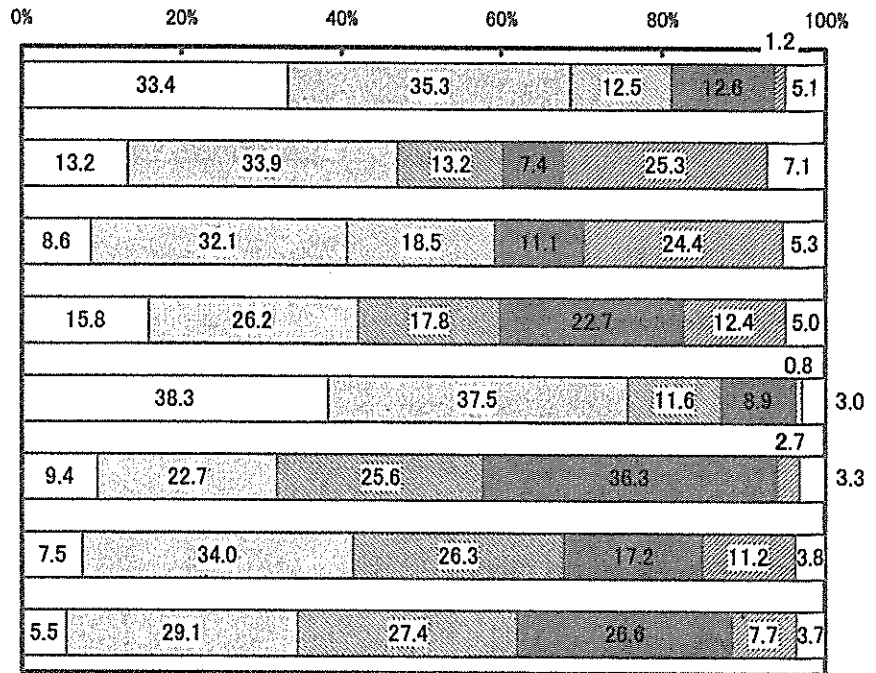
エ. よく行く、または行きたい公園がある

オ. 普段の買い物が便利である

カ. 自転車、歩行者は交通ルール、交通マナーをよく守っている

キ. 快適で安全なまちづくりが進められている

ク. 景観・街並みが魅力的になってきている



そう思う                                     どちらかといえばそう思う  
 どちらかといえばそう思わない        そう思わない  
 わからない                                    無回答

資料：平成 27 年度（第 44 回）足立区政に関する世論調査

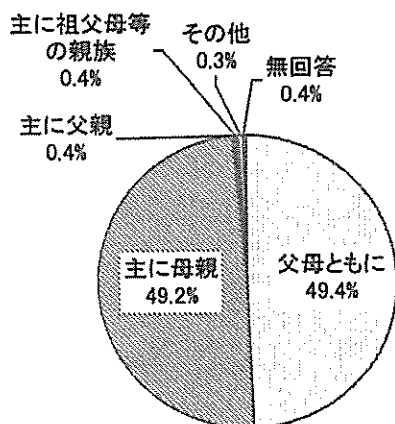
第2章 足立区の子ども・子育て  
家庭を取り巻く現状と課題

### (3) 育児休暇の取得状況について

#### ① 子育てを主に行っている方

子育てを主に行っているのは「父母ともに」が49.4%、「主に母親」が49.2%となっています。父親の育児参加が進んでいることが伺える一方で、依然として育児の負担は母親に偏っている家庭も多いことがわかります。

■ 子育てを主に行っている方（就学前）



N = 3199

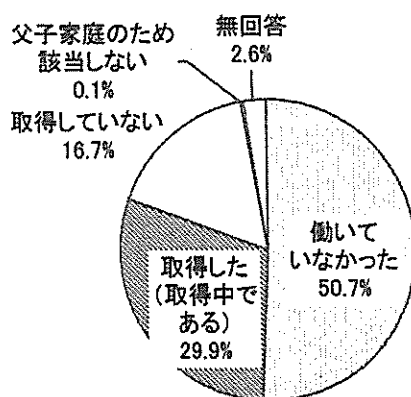
資料：足立区子ども・子育て支援に関するニーズ調査（平成26年）

#### ② 育児休業の取得の有無

母親の育児休業の取得については、「取得した（取得中）」が29.9%となっており、働いていた母親（46.6%）の約3分の2（64.2%）が育休を取得しています。

■ 取得有無（就学前）

<母親>



N = 3199

資料：足立区子ども・子育て支援に関するニーズ調査（平成26年）

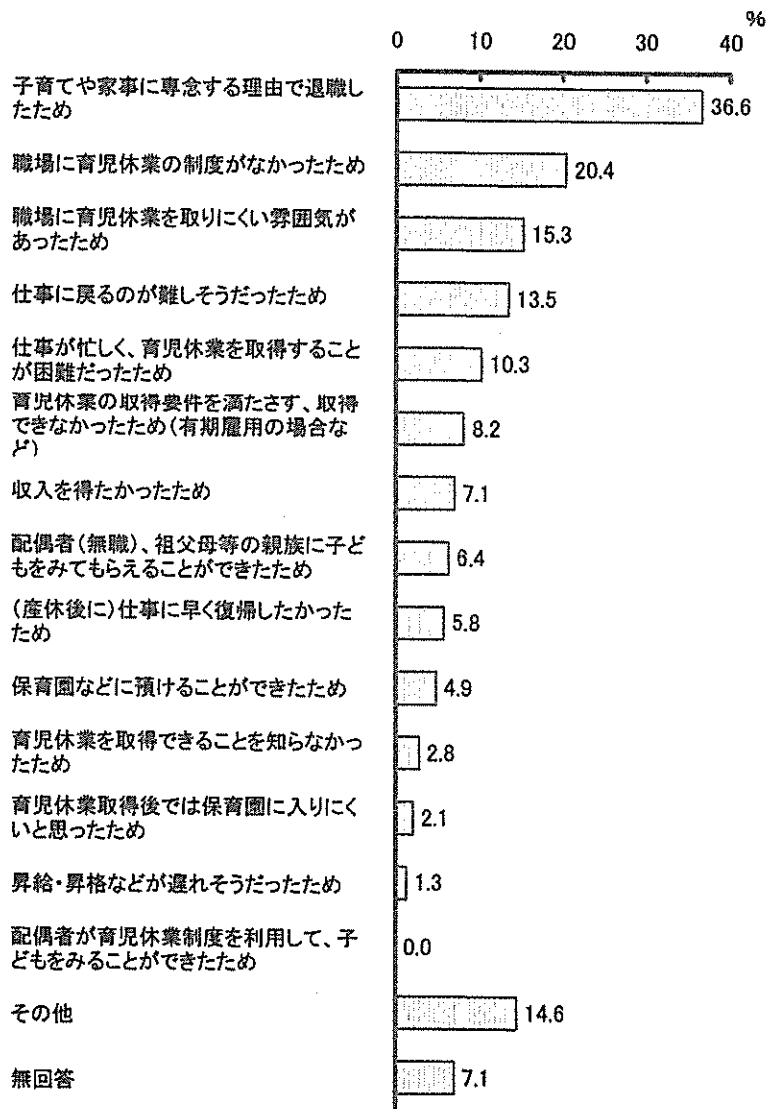
### ③ 育児休業を取得しなかった理由

母親が育児休業を取得しなかった理由は「退職した」(36.6%)が最も多くなっています。一方で、「取りにくい雰囲気があった」(15.3%)「忙しく、困難だった」(10.3%)「戻るのが難しそうだった」(13.5%)「制度がなかった」(20.4%)といった職場のサポート不足を起因とした理由も高い割合となっています。

■ 取得しなかった理由【複数回答】

<母親>

N = 535



※回答対象は育児休業を取得していないと回答した人

資料：足立区子ども・子育て支援に関するニーズ調査(平成26年)

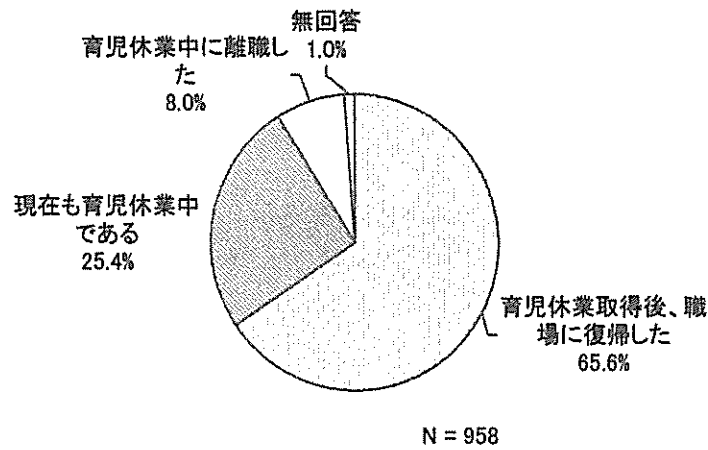


#### ④ 育児休業取得後の職場復帰の有無

育児休業取得後、職場復帰している割合が高くなっています。育児休業中に離職したという回答は母親で8.0%と少なくなっています。(現在も育児休業中であるとの回答(母親：25.4%)を母数に含む)。

■ 育児休業取得後の職場復帰の有無(就学前)

<母親>



※回答対象は育児休業を取得した(取得中である)と回答した人

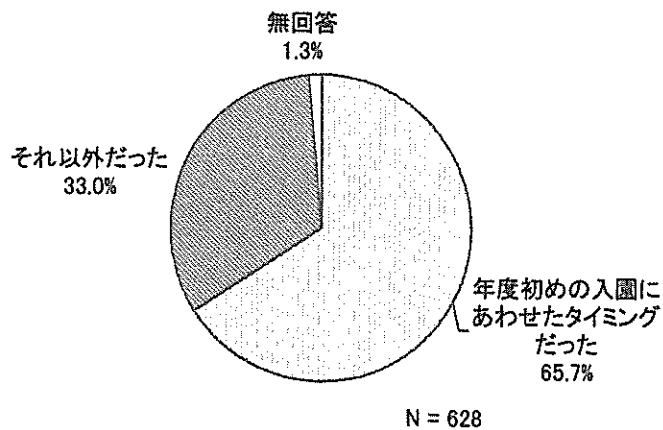
資料：足立区子ども・子育て支援に関するニーズ調査(平成26年)

## ⑤ 育児休業取得後の職場復帰のタイミング

育児休業を取得した後の職場復帰のタイミングについて、母親は年度はじめの入園にあわせている場合が65.7%と多数となっています。保育園等への入園のタイミングが職場復帰時期を決める重要な要因となっていることが伺えます。

### ■ 育児休業取得後の職場復帰のタイミング（就学前）

<母親>



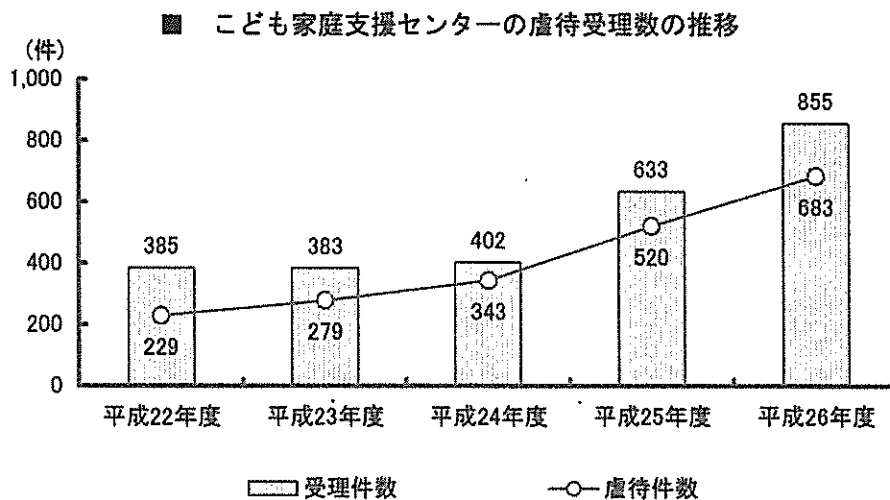
※回答対象は育児休業を取得した（取得中である）と回答した人

資料：足立区子ども・子育て支援に関するニーズ調査（平成26年）

#### (4) 困難を抱える家庭の状況について

##### ① こども家庭支援センターの虐待受理数の推移

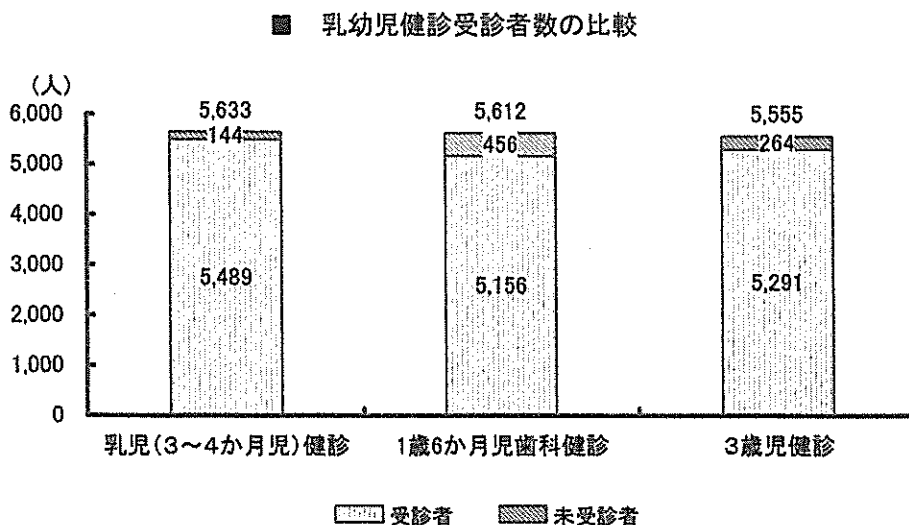
こども家庭支援センターの虐待受理数の推移をみると、受理件数、虐待件数ともに年々増加しています。



資料：数字で見る足立

##### ② 乳幼児健診受診者と未受診者数の比較

乳幼児健診受診者数の比較をみると、乳児（3～4か月児）健診、1歳6か月児歯科健診、3歳児健診とも、受診者が多数を占めています。一部認められる未受診者の方々に対しては、訪問等による所在確認及び受診勧奨を行っています。



資料：数字で見る足立（1歳6か月児歯科健診の未受診者数は庁内資料）

第2章 足立区の子どもの子育て  
家庭を取り巻く現状と課題

### ③ 発達相談の件数及び内訳の推移

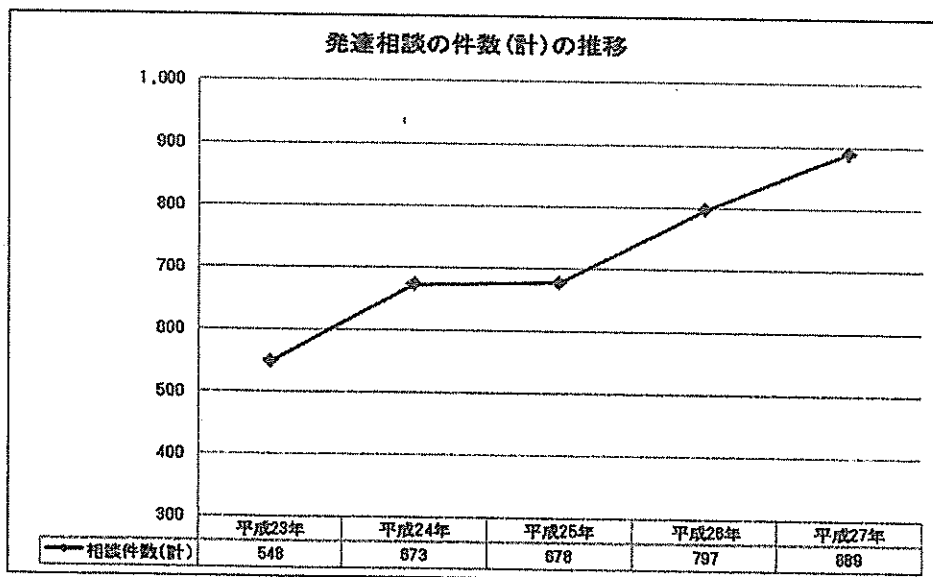
区内在住の乳幼児から18歳未満までの発達に関する悩みや心配ごと(発達障がいを含む)についての相談は、増加傾向にあることがうかがえます。

■ 相談件数及び内訳

区分/年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
発達	発達について	171	264	195	275	406
	コミュニケーション	38	40	36	35	18
	自閉的	0	4	7	6	9
	多動傾向	40	30	46	45	34
	言葉の遅れ	194	162	205	170	190
言語	構音	9	20	49	31	37
	吃音	11	24	13	22	9
	運動機能	4	2	9	4	8
	福祉制度	62	70	41	85	74
	その他	19	57	77	124	104
	計	548	673	678	797	889

※平成23年度までは乳幼児から小学校6年生までが対象であったが、平成24年度から18歳未満まで拡大した。

資料：足立区福祉事業概要



第2章 足立区の子ども・子育て  
家庭を取り巻く現状と課題

## 2 子ども・子育て家庭を取り巻く課題

子ども・子育て家庭を取り巻く現状データ等から見えてきた「子ども・子育て家庭を取り巻く課題」を、以下のとおり示します。

### 【課題1】地域における子育て支援

核家族化の進展や地域のつながりの希薄化により、祖父母や近隣住民等から日々の子育てに対する助言、支援や協力を得ることが困難な状況となっています。また、現在の親世代の人々の兄弟姉妹の数が減少しており、自身の子どもができるまで赤ちゃんと触れ合う経験が乏しいまま親になることが増えています。このように、子育てをめぐる地域や家庭の状況は変化しており、子育て中の親の孤独感や不安が増大しています。

地域及び社会全体が子育て中の保護者の気持ちを受け止め、寄り添い、支えることを通じて、保護者が子育てに不安や負担でなく喜びや生きがいを感じることができる社会の実現を目指す必要があります。

### 【課題2】仕事と子育ての両立支援

#### (1) 女性の社会参画の進展

女性の社会参画が進む中、共働き家庭が増加しています。また、子育てに専念することを希望して退職する者がいる一方で、働くことを希望しながらも子育てとの両立が困難であることを理由に、出産を機に退職する女性が少なからず存在するなど、出産に伴う就労の継続は依然として厳しい状況です。

#### (2) 女性の活力の活用

女性の活力による経済の活性化の視点から、仕事と子育ての両立を望む者を支援する環境の整備が求められていますが、都市部を中心に依然として待機児童が存在するなど、子育て中の父母が働きやすい環境が実現したとは言い難い状況です。

### 【課題3】困難を抱える子育て家庭への支援

#### (1) 児童虐待への対応

児童虐待が増加するなど、子どもや家庭を巡る問題が複雑かつ多様化してきています。児童虐待は、子どもの心身の発達及び人格の形成に重大な影響を与えるため、児童虐待の防止に向けて、①虐待の「発生予防」、②虐待の「早期発見、早期対応」、③虐待を受けた子どもの「保護、自立支援」に至るまでの切れ目のない総合的な支援体制の充実が必要です。特に、乳幼児期での子育てのつまずきが虐待につながる傾向があるため、保健センターが保有する特定妊婦や乳幼児健診未受診などの情報を共有するなど、早期に

対応していくことも求められます。

(2) 発達に特別な配慮を必要とする子どもへの対応

発達に特別な配慮を必要とする子どもは、早期から発達段階に応じた一貫した支援を行っていくことが重要です。乳幼児期から社会人となるまで、住み慣れた地域で自立し、社会参加ができるよう、一人ひとりのニーズに応じた支援が求められています。

早期発見・早期支援とともに重要になるのが、保護者への支援です。保護者の思いや願いに寄り添い、安心して子育てができる環境を整えることが求められます。さらに、福祉、保健、子育て、教育などの関係機関の連携も重要であり、切れ目なく支援を行っていく必要があります。

### 3 第2期あだち次世代育成支援行動計画（平成22年度～平成26年度）の事業実績と評価

#### (1) 事業実績

急速な少子化の進行、家庭及び地域を取り巻く環境の変化に対応するため、平成15年7月に「次世代育成支援対策推進法」が制定され、地方公共団体と事業主に行動計画を策定することが義務付けられました。これを受け、足立区では「あだち次世代育成支援行動計画」を策定（前期：平成16年度～21年度、第2期：平成22年度～26年度）し、様々な取組みを行ってきました。

第2期あだち次世代育成支援行動計画における施策体系と事業実績は、次のとおりです。

【第2期あだち次世代育成支援行動計画の各施策群におけるA評価事業の割合】

施策群	目標達成度がAとなった事業の割合 (A：概ね実施できた(8割程度以上)⇒目標達成)					5カ年の 平均値 (※)
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
<b>1 子ども支援</b>						
1-1 子どもの心身の健やかな育ちを支援します	72%	90%	100%	80%	67%	82%
1-2 発達支援の必要な子どもの健やかな成長を支援します	86%	66%	73%	57%	69%	70%
1-3 子どもの確かな学力の定着と向上を図ります	100%	100%	100%	100%	100%	100%
1-4 遊びや体験活動の場や機会を充実します	89%	75%	70%	84%	82%	80%
1-5 子どもの成長を地域とともに支援します	86%	83%	87%	90%	86%	86%
1-6 青年期の自立を支援します	69%	92%	58%	75%	67%	72%
<b>2 子育て支援</b>						
2-1 子育て相談や情報提供を充実します	100%	100%	100%	100%	71%	94%
2-2 乳幼児の健やかな成長を支援します	84%	58%	80%	100%	90%	82%
2-3 仲間と一緒に楽しく子育てできる機会を充実します	86%	66%	91%	73%	80%	79%
2-4 子育てサービスを充実し経済的負担を軽減します	93%	100%	87%	93%	93%	93%
2-5 仕事と子育ての両立を支援します	74%	81%	80%	75%	71%	76%
2-6 家庭を支え家庭教育をすすめます	100%	75%	75%	67%	67%	77%
2-7 養育困難家庭の自立を支援し、子どもを虐待から守ります	100%	64%	70%	70%	56%	72%
2-8 ひとり親家庭の自立を支援します	100%	100%	63%	75%	88%	85%
2-9 子育てにやさしい安全なまちをつくります	95%	95%	100%	95%	100%	97%

(内部評価による実施結果)

※5カ年の平均値は、各施策における平成22年度から平成26年度までの達成率を単純に加算、平均しています。

第2期あだち次世代育成支援行動計画では、各施策を『1 子ども支援』と『2 子育て支援』の2つに大きく分け、この2つの体系のもと、各事業を推進してきました。

この2つの体系ごとの評価を、以下に示します。

### 第2期あだち次世代育成支援行動計画における「子ども支援」の評価

「未来のあだちを担う子どものたくましい成長を支援する」を基本方針として、子ども自身の発達や成長を支援してきました。

取組みを推進した結果、6つの施策のうち、2つの施策でA評価（概ね実施できた：8割程度以上）となりませんでした。

（A評価とならなかった施策）

① 施策 1-2（発達支援の必要な子どもの健やかな成長支援）

発達相談の件数が増加傾向にある中で、引き続き発達に特別な配慮を必要とする子どもとその保護者に対して身近な地域で一貫して適切な支援を行うことができるよう、関係機関同士の連携を図り、切れ目なく相談支援を行っていく必要があります。

② 施策 1-6（青少年期の自立支援）

次世代を担う青少年の自立、「人間力」の向上を目標に、小中学生を対象とした体験活動や大学連携事業などを実施してきました。こうして育成した子どもたちや地域人材が、次世代の子どもたちの成長を地域ぐるみで育てる環境づくり「学びの循環」を構築していく必要があります。

### 第2期あだち次世代育成支援行動計画における「子育て支援」の評価

「安心して健やかに生み育てることのできる環境をつくる」を基本方針として、子どもの成長を支える環境づくりに取り組んできました。

取組みを推進した結果、9つの施策のうち、3つの施策でA評価となりませんでした。

（A評価とならなかった施策）

① 施策 2-5（仕事と子育ての両立支援）

待機児童解消アクションプランを毎年改訂し、必要な箇所に必要な施設を整備してきましたが、依然として待機児童解消には至っていません。引き続き、保育定員の拡大に努めるとともに、保育コンシェルジュによる相談機能を強化し、保護者の需要と供給のミスマッチの改善を図ると同時に、施設整備に不可欠な保育人材確保のための支援メニューを実施するなど、多方面に渡る取組みを推進していく必要があります。

② 施策 2-6（家庭教育の推進）

家庭教育は全ての教育の基盤となるものであることから、子どもが基本的な生活習慣や基礎的な力を身につけるためにも、家庭における教育機能を高めていく必要があります。



③ 施策 2-7（養育困難家庭の自立支援）

近年、子どもや家庭をめぐる問題は複雑かつ多様化しており、児童虐待件数も増加しています。こうした状況の中、虐待に対応する組織の体制強化と見直しは不可欠です。また、虐待の未然防止のためには、きめ細かな相談・支援の体制づくりや虐待防止講座等の充実も必要となってきます。

（2）「第2期あだち次世代育成支援行動計画」から「子ども・子育て支援事業計画」へ

前掲の子ども・子育て家庭を取り巻く課題や第2期あだち次世代育成支援行動計画の評価等を踏まえ、「子ども・子育て支援事業計画」における新たな施策体系を、次章以降のとおり設定します。

## 第3章

# 計画の基本的な考え方

## 1 基本理念

「子ども・子育て支援事業計画」では、教育大綱で掲げられた『夢や希望を信じて生き抜く人づくり』を基本理念とします。この基本理念には、迷いや困難に直面してもそれを乗り越え、自ら信じる夢や希望に向かっていけるたくましさを持って生きて欲しいという思いが込められています。

“これからを生き、将来、社会の担い手となる子どもたちをどのように育てあげるか”とりわけ、乳児期は、心情、意欲、態度、基本的生活習慣等、生涯にわたる人格形成の基礎が培われる重要な時期です。この時期に、身近な大人たちからの深い愛情、様々な出会い、かかわりあいを通じて、子どもたちの自己肯定感を培い、生き抜く力を育みます。

「子ども・子育て支援事業計画」の基本理念

夢や希望を信じて生き抜く人づくり

(= 教育大綱の基本理念)

## 2 施策の体系

足立区では多くの人が住み、働き・学び・活動し、日々の暮らしを営んでいます。まず、日々の暮らしの主演であり、まちづくりの担い手でもある「ひと」がいて、その人々が営む日々の「暮らし」があり、その暮らしが展開される舞台となる「まち」があります。さらに、「ひと」「暮らし」「まち」を支える「行財政」が必要となります。

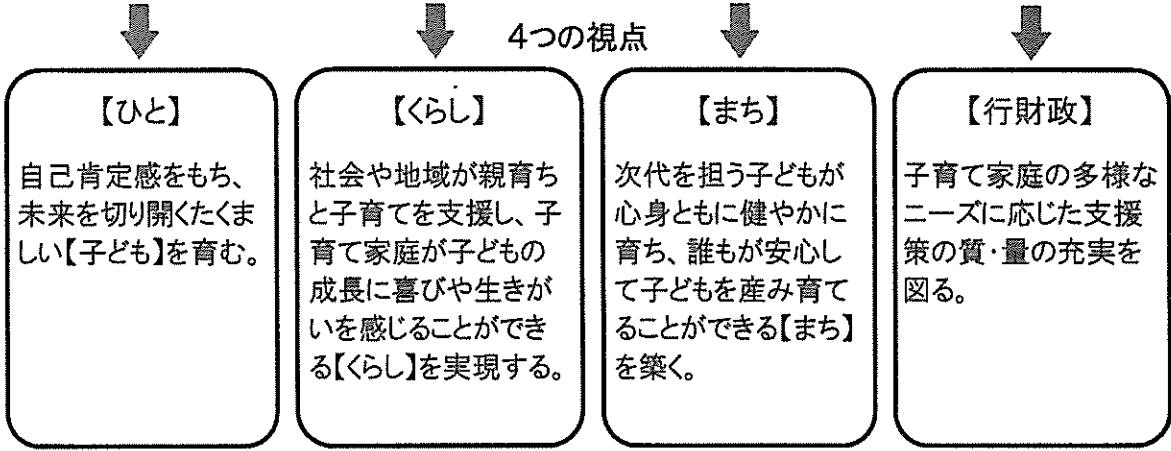
本事業計画で掲げた「夢や希望を信じて生き抜く人づくり」という目指すべき姿を実現するために、この「ひと」「暮らし」「まち」「行財政」の4つ視点から、目指すべき方向性を整理しました。

この4つの視点を踏まえて、区が実施する施策を『1 家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む』、『2 妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える』の2つの施策群に分類し、この2つの施策群にそれぞれ4つの施策を体系づけました。これら8つの施策に取り組むことで、『夢や希望を信じて生き抜く人づくり』という基本理念の実現を目指します。

【子ども・子育て支援事業計画の施策体系】

**基本理念: 夢や希望を信じて生き抜く人づくり (=教育大綱の基本理念)**

“これからを生き、将来、社会の担い手となる子どもたちをどのように育てあげるか” とりわけ、乳児期は、心情、意欲、態度、基本的な生活習慣等、生涯にわたる人格形成の基礎が培われる重要な時期です。この時期に、身近な大人たちからの深い愛情、様々な出会い、かかわりあいを通じて、子どもたちの自己肯定感を培い、生き抜く力を育みます。



↓

**子ども・子育て支援事業計画の施策体系**

施策群	1 家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む	2 妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	1-① 子どもの心身の健全な発達の支援 1-② 就学前からの学びの基礎づくり 1-③ 発達支援児など子どもの状況に応じた支援の充実 1-④ 子ども・若者が社会と関わる力を育むための成長支援	2-① 妊娠、出産、子育てへの切れ目ない支援の充実 2-② 子育てと仕事の両立支援 2-③ 困難を抱える子育て家庭への支援と虐待の防止 2-④ 安心して子育てのできる生活環境の整備
	子支援	親支援

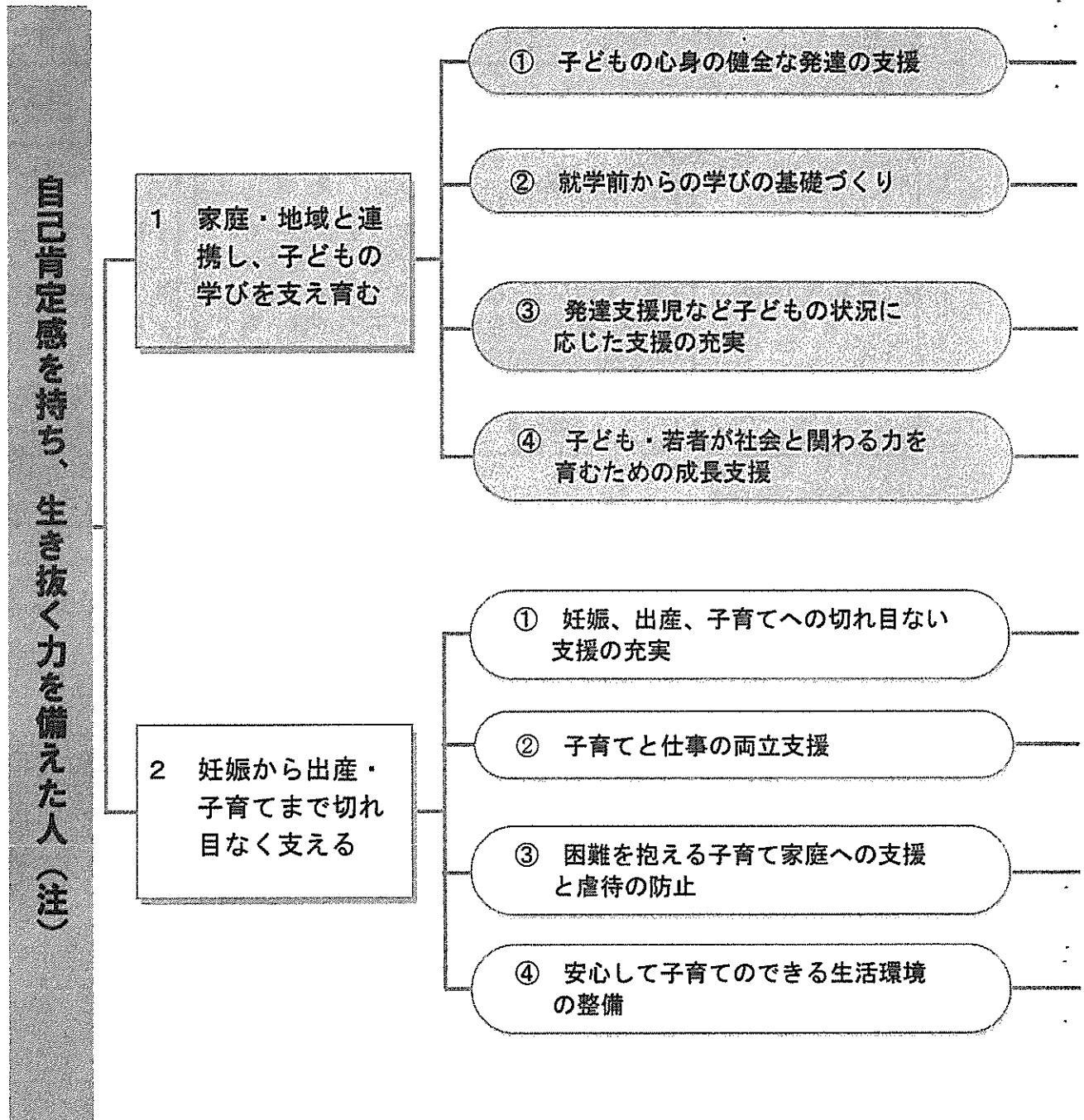
第3章 計画の基本的な考え方

(4) 施策の体系図

【柱立て】

【施策群】

【施策】



第3章 計画の基本的な考え方

(注) 上位計画である足立区基本計画は7つの柱立てから構成されています。そのうち『自己肯定感を持ち、生き抜く力を備えた人』という柱立てに本事業計画の施策体系を関連付け、基本計画との整合性を図っています。

## 【施策の方向性】

健康や食の大切さを伝えることで、子どもたちの豊かな心と健やかな身体を育みます。

個に応じた教育及び子どもの教育を支援する人材の充実等により、就学前教育の充実を図ります。

特別な配慮を必要とする子どもなど、子ども一人ひとりの環境や状況に応じた支援が受けられるよう、支援体制の充実を図ります。

家庭や地域と連携しながら、様々な学び、体験の場を広げ、子ども・若者の成長を支えます。

安心して妊娠、出産、子育てができるよう、一貫した支援を行います。また、母子の良好な健康状態を保つための健診のしくみづくりを推進します。

保護者が仕事と子育てを両立できるように保育施設の整備を進めるとともに、ニーズに沿った保育サービスの充実を図ります。また、保育サービスを適切かつ円滑に利用できるよう、情報提供や相談体制の充実を図ります。

困難を抱える子育て家庭の悩み相談に応じ、経済的支援をはじめ、親と子どもに寄り添った様々な支援を行います。

妊産婦、子育て家庭等全ての人たちが安心して外出できるよう、ユニバーサルデザインの視点に立った福祉のまちづくりを推進するとともに、ハード・ソフトの両面から一体的にバリアフリー化を進めていきます。

### 3 成果指標

足立区では、前述の施策体系に基づき、関連する各事業を推進することで、基本理念の実現を目指してまいります。

そして、基本理念の達成状況を測るひとつの目安として、以下のとおり、本計画全体の成果指標を設定します。

【計画全体の成果指標】

	成果指標	現状値
1	自分には良いところがあると思う子どもの割合 (↑ 遡増指標)	A層 80.2% B層 69.1% C層 62.4%  (注 1)
	(活用データ) 足立区基礎学力定着に関する総合調査(小学校2年生から中学校3年生までを対象とした調査) ⇒「自分にはよいところがあると思う」との質問に肯定的に回答した児童の割合  (対象) 区立小学校2年生  ※本事業計画は基本的には就学前を対象としているため、就学後の直近である小学校2年生のデータにて成果を図ることとしますが、2年生以降の数値の推移も継続して注視していきます。	
2	子育てを楽しんでいると感じる保護者の割合 (↑ 遡増指標)	1歳6カ月児 95% 3歳児 92.7% 5歳児 62.4%  (注 2)
	(活用データ) ・子ども政策課による集計 ・1歳6カ月児及び3歳児健康診査アンケート  (対象) ・区立保育園及びこども園、私立保育園、私立幼稚園に通園する子どもの保護者 ・各乳幼児健診受診者の保護者	

(注 1) 学習定着度調査の成績順に3層の成績層、A層(上位層)、B層(中位層)、C層(下位層)に分割

(注 2) 子育ては楽しいと思えますか?との問いに、1歳6カ月児及び3歳児健康診査アンケートでは「あてはまる」又は「ややあてはまる」と回答した保護者の割合。子ども政策課によるアンケートでは「楽しいと感じることの方が多い」と回答した保護者の割合。

なお、本事業計画の実行性を担保するために上記2つの成果指標を設定しますが、子どもを取り巻く課題や区が取り組むべき施策は多岐にわたるものであり、かつ複雑に絡み合っているものであることから、当該成果指標について目標値を設定することは困難であると考えます。また、仮に目標数値の定めることができたとしても、その数値の達成のみをもって課題を解決したと評価できるものではないと考えます。

つきましては、当該成果指標については目標値を定めることはせず、ひとつの目安（物差し）として、これら数値の変化を確認し、各施策の実施状況や効果を検証しながら、誰もが子どもを産み育てることができる社会の実現を目指してまいります。

ただし、第4章に記載の各個別事業については、個々に指標と目標数値を設定したうえで、各事業の進捗を管理していきます。

## 第4章

# 各施策ごとの取組み内容

## 施策群1 家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む

### 施策1-1 子どもの心身の健全な発達の支援

#### 【現状と課題】

#### ◆乳幼児期における心身の健全な発達

乳幼児期は、心身の発育・発達が著しく、人格の基礎が形成される大切な時期です。個人差が大きいこの時期に、子ども一人ひとりが健やかに成長していくためには、親子が触れ合う機会や同年齢、異年齢の子どもと主体的に関わる機会を確保することが大切です。

#### ◆食育の推進

足立区は生活習慣病である糖尿病の医療費・件数が多いという現状があり、その要因のひとつに野菜の摂取量不足があるとされています。糖尿病を予防し、子どもの心身の健全な発達を支援していくためにも、乳幼児期から「様々な野菜を食べる」「ひと口目は野菜から食べる」という習慣や「野菜を使った料理体験」等を通して、自然と野菜を食べるなどの生活習慣を身に付けることが大切です。

#### ◆乳幼児の健康の保持増進

足立区の子どもの歯・口の健康状況は、「むし歯がある子の割合が特別区平均より高い」、「未処置歯をもつ子の割合が高い」、「歯や歯肉に所見がある子の割合が高い」など、課題が多い状況です。よって、まだむし歯がない（あるいは少ない）早期から、家庭への啓発やむし歯がある子どもの保護者への受診勧奨に力を入れ、健全な口腔内環境を維持していくことが重要です。



### 【施策の方向性】

- 子どもの豊かな人間性と社会性を培うため、親子や同年齢、異年齢の子ども同士が主体的に関わることのできる交流の場を充実させます。
- 糖尿病等の生活習慣病を未然に防ぐため、食育の取り組みを通じて、野菜を食べる習慣を身に付けると同時に、食への意識を高め健全な発達を支援していきます。
- 歯科健診を通じて、むし歯の予防、早期の治療に繋げるとともに、家庭への啓発やむし歯がある子の保護者への受診勧奨等、早い段階からの取り組みに力を入れていきます。

### 【主な事業】

No	事業名	事業内容	担当課	
1	食育の推進事業	「あだちベジタライフ～そうだ、野菜を食べよう～」をキャッチフレーズに、野菜摂取の大切さを伝え糖尿病予防と糖尿病の重症化を未然に防ぐため、乳幼児健診などで早期から保護者への啓発に取り組むとともに、保育園等でのおいしい給食「野菜の日」などで、正しい食習慣づくりを推進します。望ましい食習慣や生活習慣を身につけ、子どもの健康格差の縮小に取り組みます。	子ども施設整備課 子ども施設運営課	
		指標名	実績値 (H27)	目標値 (H31)
2	保健所の健康教育・食育の推進	乳幼児健診や子育てグループ、子育て健康ひろば等での啓発を行います。	保健予防課 中央本町地域・保健総合支援課 保健センター	
		指標名	実績値 (H27)	目標値 (H31)
3	早寝・早起き・朝ごはんの推進	早寝・早起き・朝ごはんが身につくような啓発を行います。	子ども政策課	
		指標名	実績値 (H27)	目標値 (H31)

No	事業名	事業内容	担当課		
4	あだちっ子歯科健診	むし歯が増えやすい4歳（年少児）から6歳（年長児）を対象に、①区統一基準の歯科健診、②丁寧な受診勧奨、③結果集計、分析、フィードバックをセットに歯科健診を実施。未就学児のむし歯予防と早期治療により歯と口腔内の健康を保ち、ひいては子どもの貧困対策にも繋がるよう取り組みを進めています。	子ども政策課		
		指標名		実績値（H27）	目標値（H31）
5	図書館・乳幼児施設での読み語り会	読書は、国語力形成に関する力の核となるため、乳幼児期からの読書の習慣化を働きかけます。	中央図書館		
		指標名		実績値（H27）	目標値（H31）
6	あだちはじめてえほん	将来的に子どもの社会性と学力向上に貢献していくため、乳幼児健診の際に、絵本を配布し、読み語りを実演するなど、親子がふれあうことの大切さと絵本を読む楽しさを伝えるとともに、読み聞かせ活動の普及を図っています。	中央図書館		
		指標名		実績値（H27）	目標値（H31）

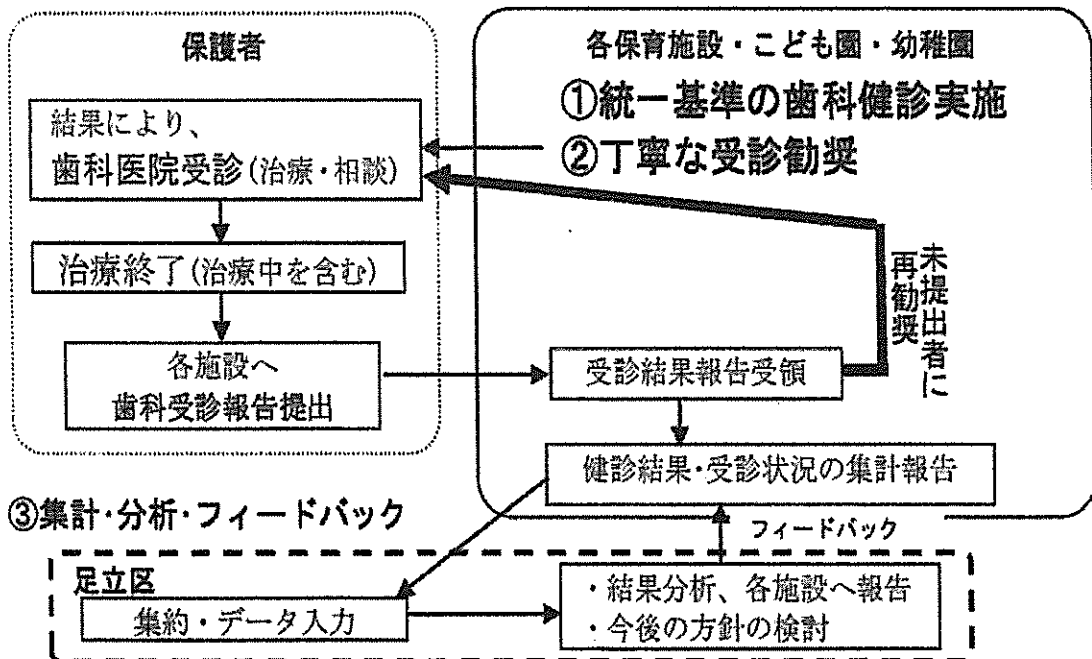
## あだちっ子歯科健診

平成26年度から「足立区糖尿病対策アクションプランー歯科口腔保健対策編ー」の一環として、むし歯が増えやすい4歳(年少児)～6歳(年長児)を対象に、(公社)東京都足立区歯科医師会、各保育施設、認定こども園、幼稚園等が連携、協調しながら、①統一基準の歯科健診、②丁寧な受診勧奨、③集計・分析・フィードバックをセットにした「あだちっ子歯科健診」を実施し、これまで以上に、未就学児のむし歯予防および早期の治療に繋がるよう、取り組みを進めています。

### 【あだちっ子歯科健診のポイント】

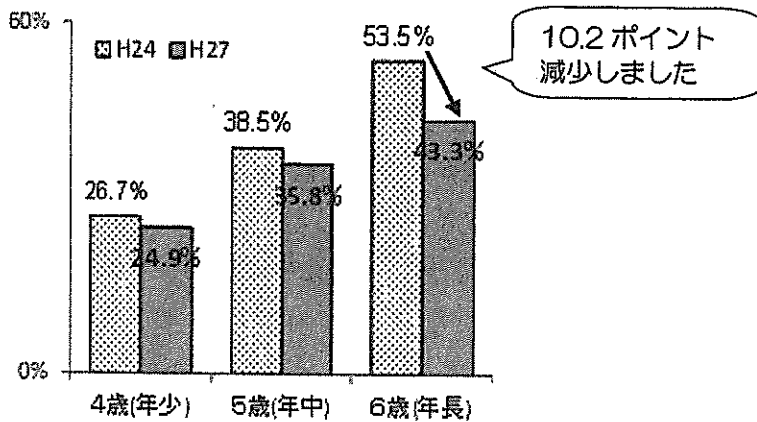
- ① 通園の有無に関わらず、すべての4～6歳児に統一基準(帳票、健診基準等)の歯科健診を実施
- ② 健診後、歯科受診が必要な子どもの保護者に丁寧な受診勧奨を実施
- ③ 歯科健診結果の集計・分析・フィードバックを実施

### (あだちっ子歯科健診の実施フロー図)



【むし歯がある子の割合(経年比)】

① 区立保育園の6歳児のむし歯がある子の割合は、3年間で約10ポイント減少しました。



② 小学1年生のむし歯がある子の割合が、2年間で6ポイント減少しました。

	足立区		特別区平均
H25	47.8%	23位	39.4%
H26	43.7%	22位	37.0%
H27	41.8%	22位	34.9%

(東京都の学校保健統計書)

特別区における順位は、平成26年度から22位に上昇しました。

平成28年度から、受診率アップへの試みの一つとして、英語、中国語、ハングル語版のご案内通知を作成しました。

【受診率アップに向けた取組み】

**Guide for a dental checkup (English)**  
**牙科健康检查通知 (中文)**  
**치과건강검진 안내 (한국어)**

English: Adachi City conducts the dental checkup targeting all children aged 4 to 6 years old and promoting the measures for preventing tooth cavity. Since the tooth cavity tend to occur in 4 to 6 years old period, please take the check on this occasion by all means.

Chinese: 足立区は4～6歳の児童を対象とした歯科検診を実施し、虫歯予防の取組を進めています。4～6歳の虫歯発症の割合が高くなるため、この機会に必ず検診を受けてください。

Korean: 여과자주시는 4~6세 어린이를 대상으로 충치예방을 실시하여 어린이 충치예방에 최선을 하고 있습니다. 4~6세는 충치가 가장 쉬운 시기이므로 예방 기회를 꼭 꼭꼭 활용하십시오.

1 (English) Make reservation at the dentist based on the leaflet.  
 (中文) 請向附頁牙科診所預約。  
 (한국어) 안내지에 기재된 치과병원을 예약하십시오.

2 (English) Bring documents ① and ②, go to the dentist you reserved and take a checkup.  
 (中文) 請帶①和②的表格，前往預約的牙科診所接受健康檢查。  
 (한국어) ①과②의 양식을 가지고 예약한 치과에 가서 검진을 받으십시오.

## 施策 1-2 就学前からの学びの基礎づくり

### 【現状と課題】

#### ◆新制度施行等に伴う就学前施設の多様化

乳幼児の入園等に関する状況は、新制度や共働き家庭の増加等に伴い就学前施設の多様化が進み、各家庭の状況によって、幼稚園・保育園等、子どもたちの過ごす場所は多岐に渡っています。加えて、喫緊の課題である待機児問題等への対応のため、新規施設は年々増えている状況です。

#### ◆質の高い保育・教育の充実

- ・乳幼児期は、生涯に渡る人格を形成するうえで重要な時期です。次代を担う子どもたちが健やかで心豊かに成長していくためには、質の高い保育・教育が求められており、各園の保育内容に対する保護者からの期待も高まっています。
- ・足立区では、多様化が進む様々な形態の就学前施設において、乳幼児期にふさわしい保育・教育を提供できるよう、各年齢の発達段階に応じた保育・教育の指導書として「すくすくガイド」を作成し、各施設へ配付しています。あわせて、5歳児の保育・教育に焦点を当てた「あだち5歳児プログラム」を策定し、就学を意識した指導の参考としています。

#### ◆幼保小連携活動の推進

- ・幼児教育から小学校教育へと子どもたちの発達と学びをつなげるために、幼保小連携ブロック会議や子ども同士・職員同士の交流活動等の「幼保小連携活動」に取り組み、幼稚園・保育園、小学校の関係者が、子どもたちの情報の共有や指導方法等の相互理解を深めています。
- ・幼稚園・保育園、小学校の関係者が連携し、子どもたちの基本的な生活習慣の習得と就学前からの学びの芽を小学校教育へとつなげていきます。

## 【施策の方向性】

- 就学前教育施設において、質の高い保育・教育の提供を図るため、保育者等の資質向上を図る研修の充実に努めます。
- 園と家庭が連携して、子どもたちに基本的な生活習慣を身につける取り組みを推進します。
- 幼保小連携活動を推進し、双方の保育・教育内容の相互理解を更に深めることで、子どもたちが戸惑うことなく就学し、意欲的に学習等に取り組める環境を整えます。

図 基礎学力を身につけている児童の割合（足立区小学校全体）

足立区小学校全体の基礎学力を身につけている児童の割合の推移をみると、国語、算数ともに平均正答率が目標値、全国値を各年ともに上回っています。また、国語、算数ともに通過率が年々向上しています。

	平成 25 年度				平成 26 年度				平成 27 年度			
	目標値	全国値	平均正答率	通過率	目標値	全国値	平均正答率	通過率	目標値	全国値	平均正答率	通過率
国語	70.6%	73.7%	75.6%	68.9%	70.5%	73.0%	76.1%	71.2%	71.2%	73.0%	78.2%	75.8%
算数	71.8%	74.9%	76.9%	70.3%	71.7%	74.7%	80.8%	77.7%	73.5%	75.7%	82.6%	79.5%

資料：足立区教育委員会「足立区基礎学力定着に関する総合調査（学習定着度調査）」

- ※・目標値：前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値（目標正答率）
- ・全国値：本調査と同一の調査を行った全国の対象者の平均値
- ・正答率：出題数中何問正解したかの割合（正答数÷出題数×100(%)）
- ・通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合（目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)）

**【主な事業】**

No	事業名	事業内容			担当課
1	保育者の資質向上	保育者の資質向上を図るため、幼児教育関係者が学ぶ機会を提供します			就学前教育推進課
		指標名	実績値 (H27)	目標値 (H31)	
2	幼保小連携活動	子どもたちが滑らかに小学校へ就学できるよう保育・教育内容の相互理解を深めます			就学前教育推進課
		指標名	実績値 (H27)	目標値 (H31)	
3	子ども同士の交流活動	園児が小学校の授業や給食などを体験することによって、小学校の様子を肌で感じ、入学への期待や意欲を高めます。			就学前教育推進課
		指標名	実績値 (H27)	目標値 (H31)	

## 施策1-3 発達支援児など子どもの状況に応じた支援の充実

### 【現状と課題】

#### ◆発達に特別な配慮を必要とする子どもへの早期支援

近年、子どもの発達に関する相談が増えています。発達に特別な配慮を必要とする子ども（以下「発達支援児」といいます）は、早い時期から発達段階に応じた一貫した支援を行っていくことが大切です。一人ひとりの個性と能力に応じた配慮を行うことで、本人の自信や自尊感情を育み、生きていくうえでの基礎力を育てることにつながります。今後も、一人ひとりの成長や生活環境に応じた適切な支援を行っていくとともに、早期発見・早期支援に努めていきます。

#### ◆発達支援児とその家族への支援

発達支援児が、住み慣れた地域で健やかに成長していくためには、子ども自身はもとより、家族にとっても地域での支えが不可欠です。地域全体に発達支援児への理解と対応、知識の浸透を図るとともに、子ども一人ひとりに応じた支援を早期から一貫して行っていくことが求められます。

### 【施策の方向性】

- 発達支援児及びその保護者が住みなれた地域で安心して共に生活できるよう、様々な子ども・子育て支援施策において子どもの成長段階や特性に応じた支援を行っていきます。
- 発達支援児一人ひとりの状況を的確に把握するとともに、保育施設での指導内容や指導方法の工夫を計画的に行い、健やかな発達を促していくため、職員研修を充実させるなどの支援体制を整備していきます。
- 発達支援児及びその保護者に対して、一貫して身近な地域で適切な支援を行うことができるよう、関係機関（保健センター・げんき・あしすと等）同士の連携を図り、総合的かつ切れ目のない相談・支援を行っていきます。



## 【主な事業】

No	事業名	事業内容	担当課	
1	発達支援児の早期発見・早期支援の取り組み	発達支援児を早期に発見し、身近な地域で一貫した適切な支援を行うため、関係機関との連携を図り子どもの発達を継続的に支援します。	保健予防課 中央本町地域・保健総合支援課 保健センター	
		指標名	実績値 (H27)	目標値 (H31)
2	乳幼児経過観察健康診査・乳幼児療育指導	乳幼児健康診査や訪問・相談などから心身の発育・発達などに不安のある乳幼児に対し、健康診査及び相談を行います。必要に応じ心理相談、発達評価専門医による療育相談を行います。家族を含め継続した支援を実施しています。	保健予防課 中央本町地域・保健総合支援課 保健センター	
		指標名	実績値 (H27)	目標値 (H31)
3	発達支援児の総合的な支援	発達支援児に関する相談に応じます。また、関係機関と連携し、住み慣れた地域で健やかに成長していくための支援を行います。	障がい福祉センター	
		指標名	実績値 (H27)	目標値 (H31)
4	発達支援委員会の開催・園巡回指導	発達支援委員会は、「(仮)発達支援委員会要綱」に基づき設置しています。園からの申請により行動観察等を基に認定された発達支援児に対し、児童にとって理解しやすいかわり方等を園に伝え、必要な援助を行っています。	こども支援センターげんき支援管理課	
		指標名	実績値 (H27)	目標値 (H31)
5	従事職員のスキルアップ研修	職員向け学習会を実施し統合保育の充実を図ります。発達支援コーディネーター研修・発達支援リーダー研修を実施し、統合保育の充実を図ります。	こども支援センターげんき支援管理課 障がい福祉センター	
		指標名	実績値 (H27)	目標値 (H31)

## 施策1-4 子ども・若者が社会と関わる力を育むための成長支援

### 【現状と課題】

#### ◆子ども・若者支援における地域社会の現状

- ・子ども・若者が育つ場である家庭においては、三世帯世帯の減少と、ひとり親世帯の増加などにより、家庭内において子育てを学び、助け合うことが難しくなっています。そのため、親が子育てに関して不安や負担を抱えやすく、社会全体で子育てを助け合う環境づくりが必要となっています。しかし、地域社会においても人間関係が希薄化し、地域社会が家庭を支えることも難しくなっています。
- ・かつての地域社会は、家庭や学校とは異なる人間関係や様々な体験を通じて、子どもたちが健やかに成長するという重要な役割がありましたが、地域社会の教育力が弱まり、地域における体験の場がなくなってきています。地域社会の教育力の回復には、地域における体験活動を支援する人材が必要ですが、育成の取り組みが進んでいません。

#### ◆情報化の進展に伴う子ども・若者を取り巻く新たな課題

子ども・若者の生活面においては、急速なスマートフォンの普及や新たな情報通信サービスの出現等により、情報通信環境は目まぐるしく変化し続けています。子ども・若者の知識やコミュニケーションの空間を格段に広げる可能性はあるものの、違法・有害情報の拡散やコミュニティサイトに起因する被害の増加など、負の影響も増加しています。また、ソーシャルネットワークサービスなどによるインターネット上の新たなコミュニティの拡大も、ネット上のいじめや、ネット依存の問題を引き起こしています。

#### ◆若者の地域参画の支援

足立区では、大学が複数設置され、区内で学ぶ若者が増えています。区内で育った若者も含めて、若者の地域参画が期待されるところですが、参画の機会はまだ限られています。

## 【施策の方向性】

子ども・若者が、健全に育ち、社会性を身につけるためには、大人の支援が必要です。

日常生活に関わる能力として、基本的な生活習慣の習得とコミュニケーション能力及び規範意識の習得への支援を行います。

それらの能力を身に付けるためには、家庭や地域において、様々な体験から学ぶことが重要です。そこで、以下の施策を推進します。

### ●家庭教育支援の強化

- ・子ども・若者が、基本的な生活習慣や、基礎的な力を身につける家庭の教育機能を高めるために、家庭教育支援に積極的に取り組みます。

### ●多様な体験活動機会と場の提供

- ・集団で遊び、体験する機会を提供するとともに、地域主体の多様な体験活動を支援します。
- ・放課後子ども教室や中高生の居場所など、放課後の居場所や活動の場を提供します。
- ・インターネットや情報機器を活用した国際交流などにより、異なる価値観に触れたり、世界の人々と継続的なコミュニケーションがとれるようになることを支援します。

### ●子ども・若者の社会形成・社会参加を支援

- ・社会の一員として自立し、社会に積極的に関わることができるよう社会参加の機会を提供します。
- ・ボランティア活動を通じて、地域社会へ参画する機会を支援します。
- ・国際交流活動を通して国際理解や異文化体験の機会を提供します。

### ●地域における担い手の育成

- ・子ども・若者を地域において育成する指導者の養成を進めます。
- ・子ども・若者自身が地域の新たな担い手となるよう、育成の機会を提供します。

## 【主な事業】

No	事業名	事業内容			担当課
1	ギャラクシティでの多様な体験プログラムの提供	子どもの体験活動の場として、幅広い区民と子ども自身の参画による多様なプログラムを提供します。			青少年課
		指標名	実績値 (H27)	目標値 (H31)	
2	あだち放課後子ども教室	地域の参画を得て、放課後の小学校の校庭や体育館、教室等を利用して、学習やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の機会を提供します。			教育政策課
		指標名	実績値 (H27)	目標値 (H31)	
3	ジュニアリーダーの育成	子ども会を中心とした地域活動のリーダーを育成します。 対象：小学校4年生から中学生			青少年課
		指標名	実績値 (H27)	目標値 (H31)	

## 施策群2 妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える

### 施策2-1 妊娠、出産、子育てへの切れ目ない支援の充実

#### 【現状と課題】

#### ◆妊娠、出産、子育て期における妊婦や保護者の現状

毎年、早期（満37週未満）に生まれた子どもの割合が約6.0%で推移しており、妊婦への規則正しい生活習慣、禁煙の指導等の支援により、正期産（満37週～満42週未満）に導くことが重要です。また、結婚年齢の上昇等に伴い、35歳以上の高年齢で妊娠・出産する方も増加しています。しかしながら、核家族化や地域のつながりの希薄化などにより、周りに相談相手がない、必要な情報が得られないなど、妊娠、出産、子育てに不安を抱える妊婦や保護者が増えているのが現状です。

図1 早期（満37週未満）に生まれた子どもの割合の推移

		平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
足立区	早期（満37週未満）に生まれた割合	6.0%	5.8%	5.5%	5.7%	6.0%
	総出生数	5,503	5,466	5,498	5,358	5,324
	早期出生数	328	318	300	306	319
東京都	早期（満37週未満）に生まれた割合	5.4%	5.5%	5.5%	5.4%	—
	総出生数	108,135	106,027	107,401	109,986	—
	早期出生数	5,875	5,821	5,938	5,930	—

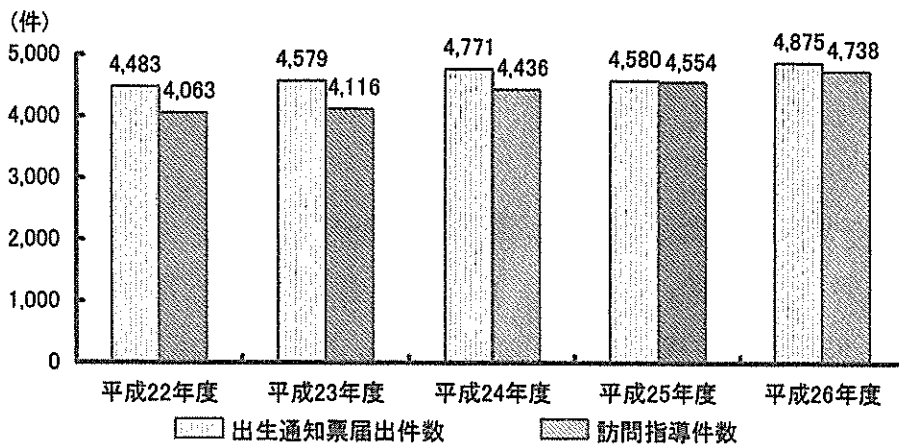
資料：衛生管理課

※平成26年は平成27年12月1日現在

#### ◆妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援

足立区では、「あだちスマイルママ&エンジェルプロジェクト(ASMAP)」を通じて、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行っています。生後3ヵ月までの乳児のいる家庭を助産師、保健師が訪問し、健康相談、育児アドバイスをを行い、母子保健の向上を図るとともに、1歳6か月児・3歳児健康診査の充実に努めています。さらに、「あだち子育てガイドブック」等により、妊娠時から出産・育児などの子育てに関する支援や各種保育サービス等に関する情報提供にも努めています。引き続き、各種健康診査や訪問指導を通じて、子育ての不安や悩みの相談に応じ、子育てに関する情報提供を行うなかで、支援が必要な家庭を適切なサービスにつなげることが重要です。

図2 こんにちは赤ちゃん訪問事業実施状況の推移



資料：数字で見る足立

図3 妊娠届出数及び妊婦・乳幼児健康診査実施状況の推移

	妊娠届出数	妊婦健康診査受診者数 (延人数)		乳幼児健康診査受診者数(人)				
		妊婦	産婦	3・4 か月児	6か月児	9か月児	1歳 6か月児	3歳児
平成 22年度	6,136	58,658	-	5,776	5,123	5,138	5,083	5,186
平成 23年度	6,142	58,398	-	5,510	5,151	5,031	5,151	5,309
平成 24年度	6,059	59,369	-	5,660	5,151	5,008	4,999	5,454
平成 25年度	5,881	57,981	-	5,465	5,226	5,007	5,055	5,218
平成 26年度	6,006	58,924	-	5,489	4,976	4,935	5,053	5,291

資料：数字で見る足立

◆子育てに関して身近で相談できる体制の充実

就学前児童の保護者へのアンケートでは、多くの保護者が子どもの食事などの生活習慣やしつけや教育について不安を感じています。住み慣れた地域の中で孤立感を感じることなく、安心して子育てできる環境を整えていくため、足立区では、子育てサロンを充実させるなど、子育てに関する不安の解消や孤立を防ぎ、安心して子育てができる環境の整備に努めています。

## 【施策の方向性】

- 安心して妊娠、出産を迎えられるよう、健康診査や健康相談、育児学級等の充実を図ります。また、母体又は胎児におけるリスクの高い妊婦の安全を図るため、関連施設との連携に努めます。
- 乳幼児の健康診査等により、発育・発達状況や疾病の有無等の確認及び相談を実施し、子どもの健やかな成長を支援するとともに、子育て不安の軽減を図ります。
- 子どもの心と身体の健やかな発達の促進と育児不安の解消のため、気軽に相談できる体制の充実や子育て情報の提供に努めます。また、親子で遊びを楽しんだりできる居場所づくりや同世代の子どもを持つ親たちの仲間づくりを支援します。

## 【主な事業】

No	事業名	事業内容			担当課
1	妊婦健康診査	妊婦健康診査の受診により、健康管理、流・早産の防止、妊産婦・乳幼児死亡率の低下、未熟児出生防止に努めています。			保健予防課 中央本町地域・保健総合支援課 保健センター
		指標名	実績値 (H27)	目標値 (H31)	
2	妊産婦家庭訪問事業	妊娠週数に応じた妊婦の健康管理を行い、胎児の良好な発達を促し、流・早産、妊娠高血圧症候群、低出生体重児等の発生を防止。			保健予防課 中央本町地域・保健総合支援課 保健センター
		指標名	実績値 (H27)	目標値 (H31)	
3	子育てホームヘルプサービス事業	産前産後の妊産婦がいる家庭を対象に、家事を支援するホームヘルパーを派遣します。(H28 新規事業)			こども支援センターげんき こども家庭支援課
		指標名	実績値 (H27)	目標値 (H31)	
4	母親学級・両親学級	妊婦及びその家族に対する健康教育の充実を図るとともに、父親も参加できる子育ての仲間づくりを行い、交流を図ります。			保健予防課 中央本町地域・保健総合支援課 保健センター
		指標名	実績値 (H27)	目標値 (H31)	

No	事業名	事業内容			担当課
5	こんにちは赤ちゃん訪問事業	保健師または助産師が訪問。育児不安の軽減、養育上必要な助言、指導、支援を行います。			保健予防課
		指標名	実績値 (H27)	目標値 (H31)	中央本町地域・保健総合支援課
					保健センター
6	乳幼児健康診査 (乳児、1歳6か月、3歳)	月例に応じた健康診査を行い、発育・発達状況や疾病の有無等の確認および相談を実施し、子育ての不安を軽減します。			保健予防課
		指標名	実績値 (H27)	目標値 (H31)	中央本町地域・保健総合支援課
					保健センター
7	子育て健康ひろば	保健総合センターを親子の健康づくり活動の拠点、地域の親子の交流の場とします。			保健予防課
		指標名	実績値 (H27)	目標値 (H31)	中央本町地域・保健総合支援課
					保健センター
8	子育てサロン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児の親子同士の交流と仲間づくりの場を提供します。</li> <li>・乳幼児の年齢・発達に合わせた親子での遊びを提供します。</li> </ul>			住区推進課
		指標名	実績値 (H27)	目標値 (H31)	



## あだちスマイルママ&エンジェルプロジェクト (ASMAP)

- ◆妊娠期から産後期の母子保健事業を充実することにより、養育困難や児童虐待を未然に防ぎ、健やかな親子の成長を支える仕組みを「あだちスマイルママ&エンジェルプロジェクト (ASMAP)」と総称します。
- ◆母子保健コーディネーターによる支援対象妊婦への訪問やケアプランに基づく支援を通じて、妊娠期から切れ目のない母子保健事業を推進していきます。

### 養育困難世帯の早期発見

妊娠期からの早期発見で適切な支援へ



妊娠期  
↓  
乳幼児期

#### 足立保健所

##### ●母子保健コーディネーターの配置【新規】

5名の母子保健コーディネーターが、妊娠届出時から特に支援を必要とする世帯を把握し、個別プランを作成など適切な支援を実施。

##### ●こんにちは赤ちゃん訪問【拡充】

育児不安が強い、生活環境の改善が必要な場合等に、複数回の訪問を実施。

1回 ⇒

家庭の状況に応じて  
2～3回訪問

##### ●乳幼児健康診査による再評価等

妊娠届などで把握している要支援世帯の再評価をするとともに、乳幼児健康診査時に新たに把握した世帯に必要な支援を実施。

産前産後養育支援連絡会議  
(保健所とこども支援センターげんき)

### 適切な支援につなぐ

適切な支援により育児困難や児童虐待を防ぐ

#### (関連事業) こども支援センターげんき

##### ●きかせて子育て訪問事業【新規】

サポーターの訪問傾聴で子育ての孤立感を解消。

##### ●子育てホームヘルプサービス事業【新規】

産前産後の妊産婦の家事を代行し、出産・育児を支援。

##### ●養育支援訪問【拡充】

専門相談員を増員し、養育困難家庭の訪問体制を強化。

##### ●こどもショートステイ事業【拡充】

施設受入人数を1日4名から8名に増やし、預かり養育を実施。

##### ●あだち・ほっとほーむ事業

有償ボランティアが育児・家庭援助、養育支援。

## 施策2-2 子育てと仕事の両立支援

### 【現状と課題】

#### ◆待機児童対策と多様化する保育ニーズへの的確な対応

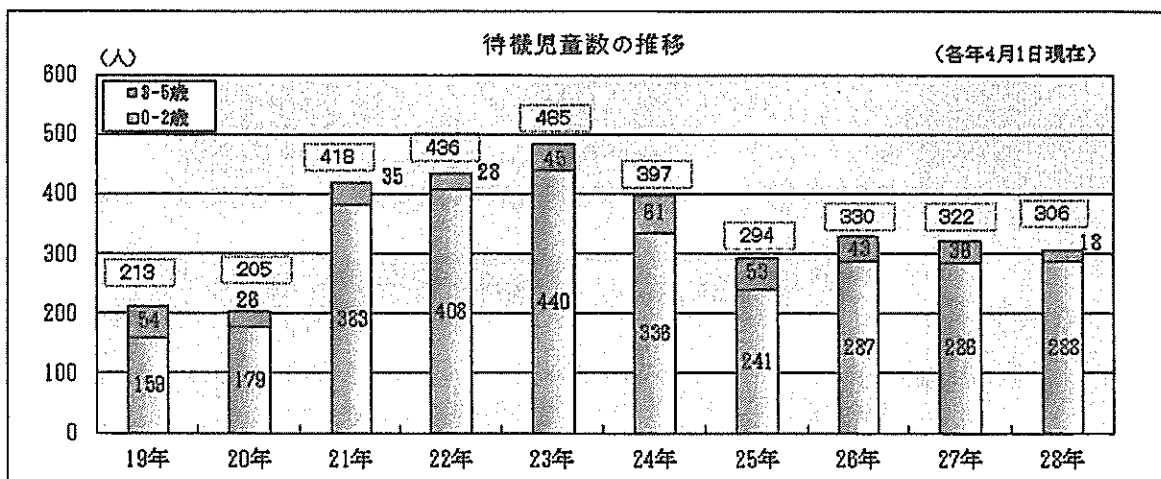
- ・足立区では、待機児童の解消と多様化する保育ニーズに的確に対応するため、待機児童解消アクション・プランを策定し、各地域の状況等を分析したうえで、施設整備や利用者支援などの取り組みを進めてきました。その結果、平成23～27年度の間、2,276人分の保育定員を拡大しました。
- ・女性の社会参画が進み、保育需要率（対象年齢人口に対する保育需要数の割合）が5.8%伸び、38.2%まで達するとともに、就学前児童の保護者へのアンケートでは就労していない母親の6割以上が、すぐに又は数年後までには就労を希望しているなど、今後も共働き家庭が増加していくことが予測されます。引き続き、こうした保育需要の増大に対応すべく、保育施設の整備等による保育の量的拡大が求められます。
- ・前出のアンケート結果によると、不規則な就労や日常生活の中での急用、病気やケガなどで一時的に保育が必要となるという場合があるとの声も多くあり、子育て家庭を支える様々な形態の保育サービスの充実も求められます。
- ・子育てガイドブック、Aメールの利用率が高い一方で、こども支援センターげんきの相談窓口、子ども政策課・子ども施設入園課の相談窓口の認知度が低いことがわかりました。子育てに関する相談窓口や子育て支援サービス等の情報提供を充実させ、子育て家庭へ広く周知を図るとともに、円滑な利用につなげられるよう利用者支援の体制を整える必要があります。

#### ◆ワーク・ライフ・バランスの推進

- ・共働き家庭の増加やライフスタイルの多様化が進む中、仕事と仕事以外の生活を調和・両立させることの難しさが課題となっています。さらに、（注1）晩婚化傾向による子育てと介護の同時期における対応（ダブルケア）を担う世帯もめずらしくない昨今です。

（注1）・国立社会保障・人口問題研究所「第14回出生動向基本調査」/2010年  
・厚生労働省

- ・仕事と仕事以外の生活を調和を図り、一人ひとりの毎日を充実させていくために、また地域や企業における子育て家庭への理解を深め環境整備を進めるには、「ワーク・ライフ・バランス」の啓発をさらに進め、企業はもとより社会全体で取り組みを促進する必要があります。



### 【施策の方向性】

- 各地域における待機児童の状況や保育需要の分析などから、保育需要が集中する地域に保育施設を整備します。また、保護者の多様な保育ニーズに応えるため、各地域における待機児童世帯の就労状況等の傾向や既存保育施設の配置状況等を踏まえ、需要の実態に合わせた保育施設等をバランスよく配置します。
- 家庭的保育（保育ママ）をはじめとする地域型保育事業や認証保育所などの認可外保育施設など、家庭の状況に応じた多様な保育施設の利用促進に取り組みます。
- 保育士就職相談会及び保育再就職セミナーの開催による就職支援を行うとともに、区内保育施設に就職した保育士等への経済的な支援を実施し、保育士の確保・定着及び保育の質の維持・向上を図ります。
- 3歳児からの受け入れ定員が不足する見込みの地域において、就学前までの持ち上がり可能な定員を確保できることなど、一定の条件を満たす認証保育所の認可化を支援していきます。
- ライフスタイルの多様化や女性の社会参画が進んだことなどから、すべての子育て家庭を対象に、安心して子育てができるよう延長保育、休日保育、一時預かり、病後児保育など多様な保育サービスを充実します。
- だれもが気軽に子育て情報を入手でき、必要な情報が必要な人に的確に伝わるよう情報提供体制の充実を図ります。
- 男女ともに自らの意思で多様な働き方を含めたライフスタイルの選択を可能にし、仕事と仕事以外の生活が両立できるよう、また夫婦間や地域、企業において子育てについての理解を深め、社会全体での「ワーク・ライフ・バランス」が進展するよう、着実に普及・啓発を行っていきます。

## 【主な事業】

No	事業名	事業内容	担当課		
1	保育施設等の整備	働きながら安心して子育てできる環境づくりを推進するため、さまざまな保育ニーズに合わせた保育施設等の整備をより一層進めていきます。	待機児ゼロ対策担当課		
		指標名	実績値 (H27)	目標値 (H31)	子ども施設整備課
2	保育士確保・定着対策	区内保育施設に就職した保育士等への経済的な支援や就職相談会・再就職セミナーの開催による就職支援を行うことで、保育士の確保・定着及び、保育の質の維持・向上を図ります。	子ども施設整備課		
		指標名	実績値 (H27)	目標値 (H31)	
3	認証保育所の認可化移行支援	3歳児からの受け入れ定員が不足する見込みの地域において、就学前までの持ち上がりが可能な定員を確保できることなど、一定の条件を満たす認証保育所の認可化を支援していきます。	待機児ゼロ対策担当課		
		指標名	実績値 (H27)	目標値 (H31)	子ども施設整備課
4	保育コンシェルジュ	保育施設の案内や預け先の相談に、専門の相談員がお応えします。保護者の希望やお子さまの様子などを伺いながら、保育施設や個別のニーズに合ったサービスをご案内します。	子ども施設入園課		
		指標名	実績値 (H27)	目標値 (H31)	
5	保育施設実地調査・運営支援	保育施設の現状を把握し相談・助言を行い、一貫した質の高い保育、運営支援を行います。	子ども施設整備課		
		指標名	実績値 (H27)	目標値 (H31)	子ども施設入園課
6	保育施設等への指導検査の実施(保育の質の向上)	児童福祉行政の適正かつ円滑な実施を確保するため、保育施設等への指導検査を実施します。	子ども施設運営課		
		指標名	実績値 (H27)	目標値 (H31)	子ども施設入園課

No	事業名	事業内容	担当課		
7	学童保育室の運営	保護者の就労や病気などにより放課後子どもを保育できない家庭の小学生を保育し、児童の健全育成を図ります。	住区推進課		
		指標名		実績値 (H27)	目標値 (H31)
8	ワーク・ライフ・バランス推進企業認定制度	ワーク・ライフ・バランスを推進する区内企業を認定し、様々なサービスを提供するとともに広報等でPRします。	区民参画推進課		
		指標名		実績値 (H27)	目標値 (H31)
9	ワーク・ライフ・バランス推進のための専門家派遣事業	労働条件の整備や業務改善を行い、ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組む企業に対して、社会保険労務士や経営コンサルタント等の専門家派遣による支援を行います。	区民参画推進課		
		指標名		実績値 (H27)	目標値 (H31)
10	男性セミナーの実施	男性が子育てを楽しみと思える機会を提供します。 「子育てするパパ」同士の緩やかな繋がりを育み、パパサークル等の構築支援を行います。	区民参画推進課		
		指標名		実績値 (H27)	目標値 (H31)

## 足立区待機児童解消アクション・プラン（平成28年度改訂版）の概要

足立区では、平成23～27年度の間、2,276人分の保育定員を拡大してきました。しかし、この間に保育需要も急速に伸びたことから、待機児童を解消するまでには至りませんでした。

平成28年8月に改定した「足立区待機児童解消アクション・プラン」（28年度～30年度）に基づき、平成30年4月までに待機児童を解消するとともに、平成30年度以降も待機児童ゼロを維持することを目指します。

改定後

【待機児童解消アクション・プラン（平成28年度改訂版）に基づく整備計画】

27年度(実績)	28年度整備	29年度整備	30年度整備
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認可保育所 5園</li> <li>・家庭的保育 14人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認可保育所 4園</li> <li>・認証保育所 2園</li> <li>・小規模保育 3園</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認可保育所 10園</li> <li>・認証保育所 3園</li> <li>・小規模保育 3園</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認可保育所 3園</li> </ul>
計 485人 (改定前比-128人)	計 550人 (改定前比+125人)	計 877人 (改定前比+452人)	計180人

1,912人 定員増 (H27～H29)

平成28・29年度は施設整備を重点的に行います！！



**449人の上乗せで**  
平成30年4月  
待機児童ゼロへ！

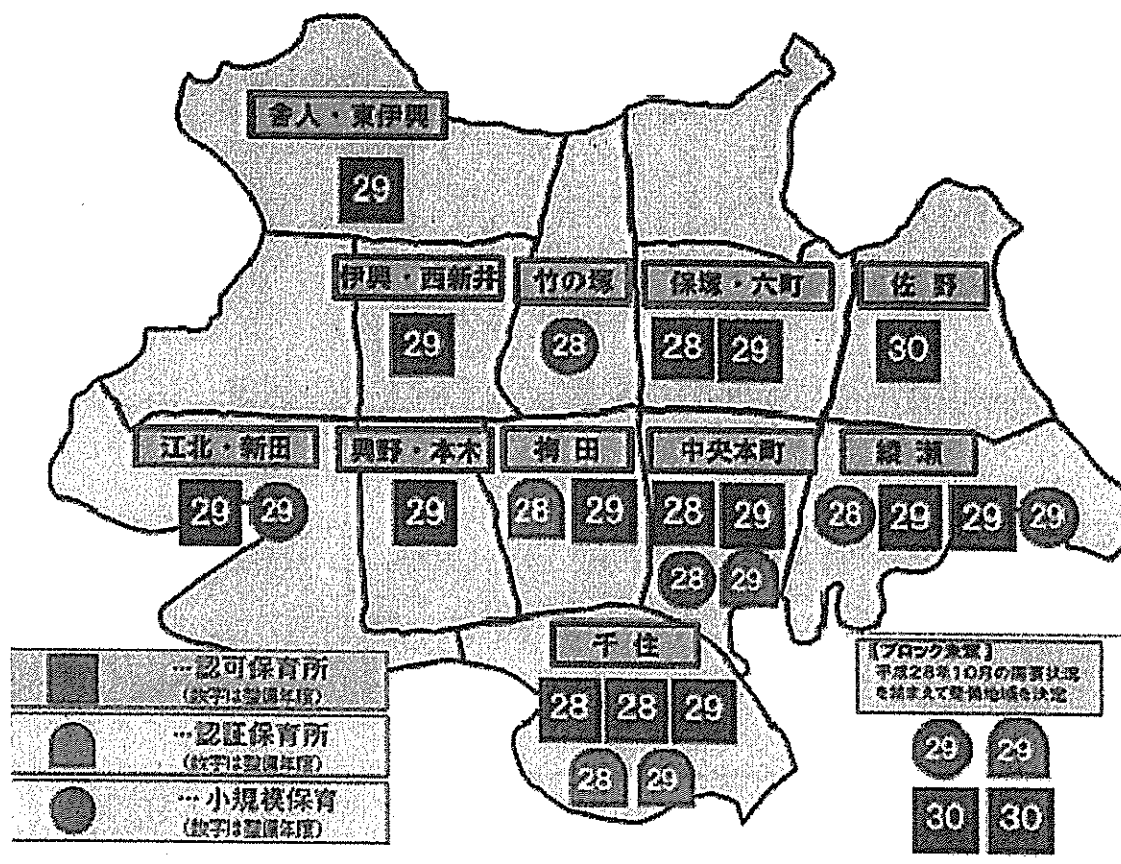
改定前

【待機児童解消アクション・プラン（平成27年度版）】

27年度整備	28年度整備	29年度整備
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認可保育所 5園</li> <li>・認証保育所 1園</li> <li>・小規模保育 2園</li> <li>・家庭的保育 15人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認可保育所 4園</li> <li>・認証保育所 1園</li> <li>・小規模保育 2園</li> <li>・家庭的保育 15人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認可保育所 4園</li> <li>・認証保育所 1園</li> <li>・小規模保育 2園</li> <li>・家庭的保育 15人</li> </ul>
計 613人	計 425人	計 425人

1,463人 定員増 (H27～H29)

【平成 28～30 年度の新規整備地域】



【待機児童ゼロに向けた取組み（施設整備以外の様々な取組み）】

1 保育士確保・定着対策

(1) 保育士奨学金返済支援

奨学金を利用して保育士資格を取得し、区内の私立保育施設に就職した保育士の方を対象に、奨学金の返済に要した金額の一部を補助します。補助額は、1年間に返済した額の2分の1にあたる金額（年間上限10万円）で、直接保育士の方が受給できます。

(2) 保育士等住居借り上げ支援

保育事業者が、足立区内の保育施設に勤務する、採用後5年未満の常勤の保育士・看護師のための住居として、足立区内に物件を借り上げている場合、借上げに要した費用（上限一戸あたり月額8万2,000円）の8分の7を補助する制度です。

※平成27年度実績：15園、26人、計352万円交付

(3) 保育再就職セミナー・保育就職相談会

足立区内の保育施設への就労を検討している保育士・看護師の資格を有する方を対象にセミナー等を開催。

#### (4) その他

- ・保育士確保・定着対策の案内チラシ「足立区ってスゴイ」の配布
- ・足立区公式アプリ「アダチさん」を活用した保育士求人情報の発信など



### 2 多様な保育施設の利用促進

保育施設のPRや保育コンシェルジュの活用を積極的に進め、小規模保育、家庭的保育を含めた多様な保育施設の利活用につなげます。また、利用者が3歳から就学前まで安心して預けられる仕組みの構築を検討していきます。

### 3 認証保育所の認可化移行支援

3歳児からの受け入れ定員が不足する見込みの地域において、就学前までの持ち上がりが可能な定員を確保できることなど、一定の条件を満たす認証保育所の認可化を支援していきます。

足立区待機児童解消アクション・プランは区HPからダウンロードできます。  
区のデータ・資料 > 区政運営 > 計画・報告 > 計画・指針 > 子育て・教育  
※スマホ・タブレットからは右の二次元バーコードからアクセス可能です。





### 【現状と課題】

#### ◆児童虐待の発生予防、早期発見、早期対応

- ・子育て家庭が抱える問題の背景には、保護者の状況、子どもの状況、養育環境など、複合的な要因があることが考えられ、子育て家庭の自己解決力だけでは問題を解決できず、放置すると虐待など養育困難な状態に陥る場合があります。足立区における児童虐待受理件数、児童虐待相談件数ともに年々増加傾向にあり、早急な防止対策が必要です。
- ・足立区では、養育困難改善事業として養育支援訪問や児童虐待防止啓発事業、こどもショートステイ事業を推し進めています。要支援家庭の抱える問題が複雑になるにつれて、1つの機関だけで支援を行うことが困難になります。児童虐待の防止と、早期発見を行うためには、各関係機関が持つ役割と専門性を活かしながら、必要な情報を交換し合うなど各機関が連携し、ネットワークにより児童及びその保護者等を支援していく必要があります。

#### ◆ひとり親家庭の自立支援

足立区では「未来へつなぐあだちプロジェクト」の一環で、ひとり親家庭の支援に力を入れています。ひとり親家庭は「子育て」と「生計の維持」という2つの役割を1人で担っているため、経済的に安定しない家庭も少なくありません。ひとり親家庭は、相対的貧困率が50%を超えるという調査結果もあります。ひとり親家庭が安心して子育てを行い、自立した生活が営めるよう、手当や医療費助成を含む経済的援助、就労状況の向上などひとり親家庭に必要な情報提供をはじめ、相談・サロン事業を充実させ仲間づくりや交流のきっかけにするなど、子どもの貧困対策と連携したきめ細やかな支援の推進に努めていきます。

## 【施策の方向】

- 児童虐待の発生予防、早期発見、早期対応等のため、関係機関との緊密な連携のもと、情報の収集及び共有化を図り、地域におけるきめ細かな対応ができる体制づくりを進めます。
- 子育ての問題を地域の課題として住民が共有し、地域全体で子どもを育てる意識のもとでネットワークにより支援を進めていきます。
- ひとり親家庭の自立を支援し、生活の安定と向上を図り、児童の健全な成長を確保するため、個々の家庭の状況に応じた子育てや生活支援、就業支援など、総合的な自立支援を行います。

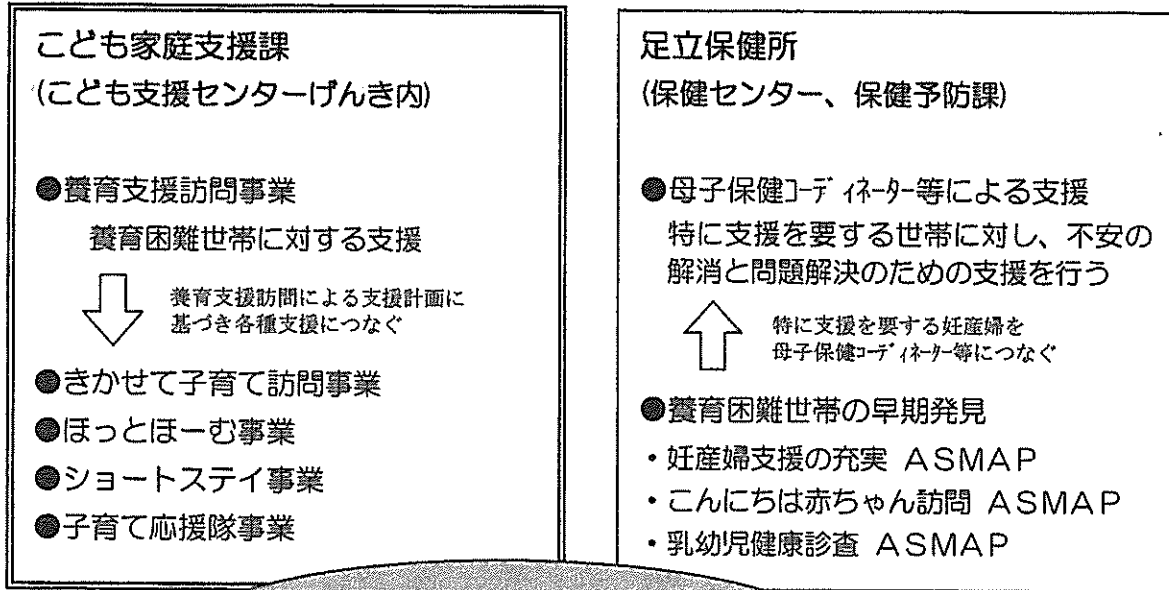
## 【主な事業】

No	事業名	事業内容	担当課		
1	きかせて子育て訪問	出産又は育児に対する孤立感や不安感を抱えた妊婦又は未就学児のいる保護者に対し、定期的に訪問し傾聴等の支援を行います。	こども支援センターげんき こども家庭支援課		
		指標名		実績値 (H27)	目標値 (H31)
2	メール配信事業「新米ママの子育てブログ(平成29年度から名称変更予定)」	初めて出産する母親が感じた子育ての悩みを、仮想の家庭のブログ調でメール配信し、育児不安への対処法や子どもの関わり方等を分かりやすく紹介します。	こども支援センターげんき こども家庭支援課		
		指標名		実績値 (H27)	目標値 (H31)
3	児童虐待対応	児童、地域住民及び関係機関からの虐待通報を受け迅速に対応します。	こども支援センターげんき こども家庭支援課		
		指標名		実績値 (H27)	目標値 (H31)
4	児童虐待予防講座等(子育て交流講座(NP講座)、怒鳴らない子育て講座)の実施	児童虐待予防講座等を実施することで、児童虐待の未然防止を推進します。	こども支援センターげんき こども家庭支援課		
		指標名		実績値 (H27)	目標値 (H31)

No	事業名	事業内容	担当課		
5	児童扶養手当	児童を養育しているひとり親等(家庭)に対して手当を支給します。	親子支援課		
		指標名		実績値 (H27)	目標値 (H31)
6	児童育成手当	児童を養育しているひとり親等(家庭)に対して手当を支給します。	親子支援課		
		指標名		実績値 (H27)	目標値 (H31)
7	ひとり親家庭等療費助成	児童を養育しているひとり親家庭等に対して、医療費を助成します。	親子支援課		
		指標名		実績値 (H27)	目標値 (H31)
8	ひとり親家庭へメールの配信	ひとり親家庭の方向けの手当や就職・転職に関するお知らせのほか、親子で楽しめるイベント情報など様々なお知らせをメールでお送りします。	親子支援課		
		指標名		実績値 (H27)	目標値 (H31)
9	就労のための資格取得支援	生活の自立に向けて、資格取得など就労に向けた支援を行います。	親子支援課		
		指標名		実績値 (H27)	目標値 (H31)

## 児童虐待防止対策の充実

全ての子育て家庭が、状況に応じて適切な支援を受けられるよう、妊娠期からのサービス拡充と切れ目ない支援体制の構築を図ります。



### 要保護児童対策地域協議会とは？

要保護児童の発見、支援、予防、保護と要支援児童やその保護者、特定妊婦への支援を連携により行うネットワーク。養育困難家庭や児童虐待を早期に発見し、各機関の連携と役割分担で子どもと家庭に早期の段階からの的確な支援を行うことを目指します。

【現状と課題】

◆ユニバーサルデザイン（バリアフリー）の推進

- ・子どもや子育て家庭が安心して気軽に出かけるためには、道路、公園、公共交通機関、公共建築物等において、段差の解消等のバリアフリー化を推進するとともに、授乳やオムツ替えスペースなどの設備の充実と周知が求められます。
- ・足立区では、多くの人が利用する道路、公園、公共建築物等の整備において、「足立区公共施設等整備基準」や「公共建築物整備基準」などを適用し、バリアフリー化だけでなく、すべての人が利用しやすいユニバーサルデザインの整備を進めています。また、不特定多数の人が利用する民間建築物等に関しても、「東京都福祉のまちづくり条例」や「足立区環境整備基準」等に基づき、ユニバーサルデザイン整備の適正な誘導を進めています。

◆パークイノベーションの取り組み

身近なところで安全に外遊びできる場や、自然と触れ合える場があるなど、子どもが生きる力を育むことのできる環境の整備も求められています。足立区では、公園施設の改良を計画的に進め、公園利用者の安全を確保するとともに、魅力ある地域の公園を整備していくため、パークイノベーションの取り組みを推進しています。

【施策の方向】

- 誰もが安心して外出できるよう、地域や企業等とも連携し、ユニバーサルデザインの視点に立ったまちづくりを進めるとともに、ハードだけでなく心のバリアフリーも推進していきます。
- 公園施設の適正配置や延命化により更新経費を縮減し、適切に施設を更新していくとともに、魅力ある地域の公園を整備していくため、パークイノベーションの取り組みを着実に推進していきます。

## 【主な事業】

No	事業名	事業内容			担当課
1	ユニバーサルデザイン(バリアフリー)の推進	子ども、子育て中の方等の移動や施設の利用における利便性、安全性の向上を図るため、ユニバーサルデザイン推進計画及びバリアフリー推進計画に基づき、ユニバーサルデザインのまちづくりを推進します。			ユニバーサルデザイン担当課
		指標名	実績値 (H27)	目標値 (H31)	
2	赤ちゃん休憩室	公私立の認可保育園等においてオムツ替えや授乳ができる場所を提供することで、気軽に外出しやすい環境をつくれます。			子ども政策課
		指標名	実績値 (H27)	目標値 (H31)	
3	公園等遊具の安全対策	遊具の劣化・摩耗等の物的ハザードによる事故を防ぐため、専門技術者による定期点検(年1回)、管理部署による日常点検(月1回)を実施します。			公園管理課 みどり推進課
		指標名	実績値 (H27)	目標値 (H31)	
4	パークイノベーションの取組みの推進	魅力ある地域の公園を整備していくため、パークイノベーションの取組みを推進します。			パークイノベーション担当課
		指標名	実績値 (H27)	目標値 (H31)	

平成27年度  
足立区生涯学習関連施設  
指定管理者業務評価資料

評価対象：平成27年4月1日～平成28年3月31日



足立区地域のちから推進部

地域文化課

スポーツ振興課

中央図書館

評価委員会名簿

委員会開催日・場所

平成28年8月23日（火） 梅田地域学習センター第2学習室  
 平成28年8月26日（金） 花畑地域学習センター第1学習室

指定管理者評価委員会 委員名簿

	所属	氏名	主な業績、活動
評価委員長 (外部・学識)	放送大学 教授	(イワガ マサ) 岩永 雅也	放送大学足立学習センター所長、足立区生涯学習振興公社理事などを歴任。主な著書に、「生涯学習論（現代社会と生涯学習）」、「大人のための『学問のススメ』」など多数。
評価委員 (外部・学識)	東京未来大学 教授	(シノヅキ マサユキ) 篠崎 雅春	マーケティングリサーチ、経営戦略、広告戦略などを専門。「札幌市環境力UP事業」等において学生プロジェクトを指導。
評価委員 (外部・区民)	NPO法人 「楽学の会」 前代表理事	(ハヤカ ヲヨ) 早坂 津夜子	区民大学塾の企画運営を担う学習支援ボランティアとして、学習センターを活用するなど足立区の生涯学習に長年携わっている。
評価委員 (区職員)	教育政策課長	(シノヅキ マサユキ) 杉岡 淳子	

事務局

地域のちから推進部長

地域のちから推進部 地域文化課

地域のちから推進部 スポーツ振興課

地域のちから推進部 中央図書館



## 生涯学習関連施設指定管理者評価資料目次

	ページ
生涯学習関連施設指定管理者の業務評価結果一覧表	2

### 学習施設

	ページ
興本地域学習センター	3
江北地域学習センター	5
舎人地域学習センター	7
梅田地域学習センター	9
佐野地域学習センター	11
鹿浜地域学習センター	13
中央本町地域学習センター	15
花畑地域学習センター	17
保塚地域学習センター	19
生涯学習センター	21
竹の塚地域学習センター	23
新田地域学習センター	25
東和地域学習センター	27
伊興地域学習センター	29

### スポーツ施設

	ページ
千寿本町小学校温水プール	31
東綾瀬公園温水プール	33
総合スポーツセンター	35
竹の塚温水プール・体育館（スィムスポーツセンター）	37
平野運動場	39

### 文化施設

	ページ
足立区文化芸術劇場（シアター1010）	41

チャレンジポイント一覧	43
-------------	----

生涯学習関連施設指定管理者の業務評価結果一覧表（評価対象：平成27年度）

1. 学習センター

施設名	該当施設の状態					業務評価の内容			総合評価 ※注2
	学習室 等	体育館	運動場	レクリエーション ホール	左記以外施設	配点	区評価	総合評価点 ※注1	
岡本センター	○	○	○	○		191	175	91	A
例)TMIカブライズ*	○	○	○	○		197	180	91	A
江北センター	○	○	○	○		188	172	91	A
例)TMIカブライズ*	○	○	○	○		191	172	90	A
倉人センター	○	○	○	○		191	172	90	A
例)TMIカブライズ*	○	○	○	○		191	172	90	A
藤原センター	○	○	○	○		191	173	90	A
例)TMIカブライズ*	○	○	○	○		191	172	90	A
中央本町センター	○	○	○	○		191	172	90	A
例)TMIカブライズ*	○	○	○	○		191	172	90	A
花畑センター	○	○	○	○		188	169	89	A
例)TMIカブライズ*	○	○	○	○		152	135	88	A
生涯学習センター	○	○	○	○		188	167	88	A
例)TMIカブライズ*	○	○	○	○		188	165	87	A
新田センター	○	○	○	○		191	164	85	A-
例)TMIカブライズ*	○	○	○	○		191	161	84	A-
東和センター	○	○	○	○					
例)TMIカブライズ*	○	○	○	○					
伊賀センター	○	○	○	○					
例)TMIカブライズ*	○	○	○	○					

注1) 総合評価点...1.00点満点とし  
(区評価) ÷ (配点) × 100で算定し、  
小数点以下は切り捨て。

注2) 総合評価点が  
95~100 A+  
86~94 A (優れている)  
80~85 A-  
75~79 B+  
66~74 B (適正である)  
61~65 B-  
60以下 (改善を要する)

全施設平均	89.4	A
-------	------	---

2. スポーツ施設

施設名	該当施設の状態					業務評価の内容			総合評価 ※注2
	体育館	運動場	レクリエーション ホール	左記以外施設	配点	区評価	総合評価点 ※注1		
指定管理者	○	○	○		143.5	134.5	93	A	
千寿本町小学校温水プール	○	○	○		143.5	132.5	92	A	
例)TMIカブライズ*	○	○	○		149.5	133.5	89	A	
東郷公園温水プール	○	○	○		146.5	128.5	87	A	
TM・アズビル共同事業体	○	○	○		132.5	115.0	86	A	
総合スポーツセンター	○	○	○						
例)TMIカブライズ*	○	○	○						
竹の原センター	○	○	○						
例)TMIカブライズ*	○	○	○						
平野運動場	○	○	○						
例)TMIカブライズ*	○	○	○						

3. 文化施設

施設名	該当施設の状態			業務評価の内容			総合評価 ※注2
	劇場	稽古場	ホール	配点	区評価	総合評価点 ※注1	
指定管理者	○	○	○	157	152	96	A+
足立区文化芸術劇場 (7/7-1010)	○	○	○				
例)TMIカブライズ*	○	○	○				

足立区生涯学習関連施設(学習センター)指定管理者総合評価シート

施設名：興本地域学習センター

指定管理者名：株式会社ティー・エム・エンタープライズ

評価項目	配点	自己評価 得点	評価委員会 得点
1. 運營業務の適正化とサービスの質の向上	30	30	30
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		2
2. 施設・設備の維持管理	15	15	14
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		0
3. 地域学習センターと地域体育館における事業	33	33	33
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	10		6
4. 図書館運営	33	32	31
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	10		6
5. 会計事務	6	6	6
6. 事業計画・提案書の達成度	12	11	11
7. 利用者の声に係る評価	18	18	18
利用者アンケート	20		18
<b>合計</b>	<b>191</b>		<b>175</b>

総合評価基準

A+	100～95点	優れている
A	94～86点	
A-	85～80点	
B+	79～75点	適正である
B	74～66点	
B-	65～61点	
C	60点以下	改善を要する

評価点(100点満点)  
(評価委員会得点合計÷  
配点合計 × 100)

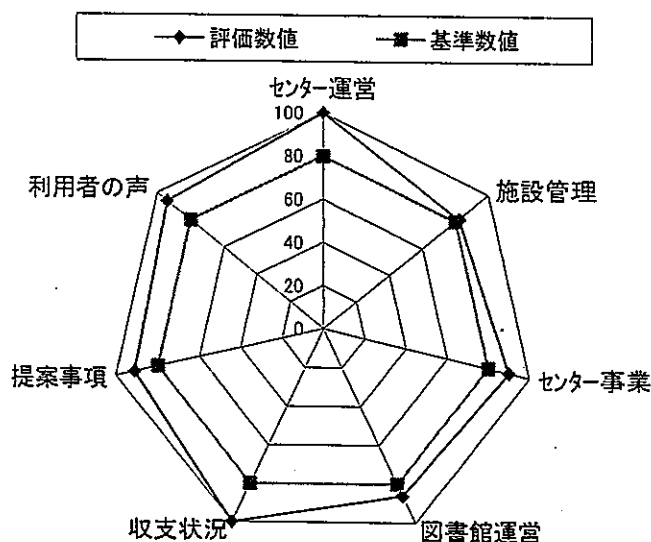
総合評価

91

A

総合評価レーダーチャート

指定管理者評価



評価対象期間 平成27年度 自己評価基準日 平成28年2月15日 区評価実施日 平成28年3月31日

## 足立区生涯学習関連施設(学習センター)指定管理者項目別評価表

施設名: 興本地域学習センター

項目	指定管理者自己評価		評価委員会評価
1. 運営業務の適正化とサービス 配点 30 [チャレンジポイント] 配点 2	【所見】 月毎の休館日は職員研修を行ない、スタッフのスキル向上を図っている。また、外部講師を招いて「接客マナー研修」を行なう等、公共施設としての接客対応意識を高め、お客様へのサービス向上に努めた。 総合受付システムの扱いについてはミスのないよう、丁寧に且つ正確な対応を心掛けるよう徹底している。	得点	【所見】 職員のスキルアップを通じ、センター全体としての接客水準も上がり、アンケート結果も好評価となっている。 情報発信についてはHPやSNSといったWEBでの情報発信にも今後精力的に取り組んでもらうよう期待したい。
		30	
2. 施設・設備の維持管理 配点 15 [チャレンジポイント] 配点 2	【所見】 カラスの巣の撤去、害虫駆除、低木の剪定、雪かき、外周清掃等を業者対応だけでなく、ガーデンサロンのボランティアの方や地域住民とセンター職員が一丸となって行うことで、お客様が快適に施設を利用できるような環境整備に努めた。	得点	【所見】 定期的に施設を点検し、巡回記録をつけて施設の維持管理に努めている。地域と連携した環境整備も良い取組みであるので継続して行ってほしい。
		15	
3. 地域学習センターと地域体育館における事業 配点 33 [チャレンジポイント] 配点 10	【所見】 今年度10月にホームページを創設、あだち広報に掲載しきれない開催講座、センターの催物などをネット上にアップすることで、幅広くお客様にセンターの情報を周知できるように努めている。 講座アンケートBOXを活用し、お客様のニーズに応える講座を数多く開催するように努めた。	得点	【所見】 世代別に応じて事業を行うことで、特定の世代に偏らない老若男女がセンターに足を運ぶことにつながっている。加えて講座アンケートを通じ、利用者のニーズを掴んだ事業展開に取り組んでいる。
		33	
4. 図書館運営 配点 33 [チャレンジポイント] 配点 10	【所見】 目新しい音楽お話し会やビブリオバトル、図書館ならではの古典講座、百人一首大会等各世代向けの事業を実施した。また近隣施設の出張お話し会を増やし、館内で多数の特集を組み読書推進に繋げている。国会図書館の派遣研修を行い、職員の能力向上に努めている。	得点	【所見】 小さなミスがあったが改善の努力が見られる。資料の引き抜きなど書架の管理や清掃は行き届いている。特集棚の工夫が見られ、多彩なイベント開催による集客の努力もあり新規登録者、貸出は伸びている。
		32	
5. 会計事務 配点 6	【所見】 回数券や学校開放利用券等の帳簿による管理や伝票等の一括管理等、環境の整備を行なうことでミス無く適正に管理することができた。また、小口出納帳や現金管理表も弊社独自の書式を使用することで適正な会計及び現金管理をすることができた。	得点	【所見】 会計事務は適正に処理されている。今後も経費節減のため、光熱水費の工夫や施設管理に職員で対応できる面を増やすなどの取り組みの継続を期待する。
		6	
6. 事業計画・提案書の達成度 配点 12	【所見】 再指定1年目のため、提案に掲げた内容が滞りなく遂行されているか、所管課とのモニタリングを通じて確認、業務運営を行うことでおおむね達成することができた。一部未達成の提案に関しては来年度以降、実施していくよう努める。	得点	【所見】 概ね達成できている。アンケート結果を通じて新規事業を行うなど利用者のニーズ把握に努めている点やフリースペース実施など地域学習センターとして学びの場や地域の人の交流の場所となっていることは評価できる。今後は区の重点推進事業についてもより積極的な展開を期待する。
		11	
7. 利用者の声に係る評価 配点 18 利用者アンケート 配点 20	【所見】 お客様の声を頂けるように、回収BOXの設置、ホームページからのメール、Facebookのコメント等で、受付している。お客様から頂いた声は、館内掲示板やミニコミ紙等で回答し、改善できるものは迅速な対応を心掛けている。	得点	【所見】 アンケート結果は全般的に高評価である。利用者からの声をアンケート等を通じて業務にフィードバックしており、現場運営に対して効果的な活用が図れている。
		18	
得点合計			175

足立区生涯学習関連施設(学習センター)指定管理者総合評価シート

施設名: 江北地域学習センター

指定管理者名: 株式会社 ティー・エム・エンタープライズ

評価項目	配点	自己評価 得点	評価委員会 得点
1. 運營業務の適正化とサービスの質の向上	30	30	30
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		0
2. 施設・設備の維持管理	15	14	14
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		0
3. 地域学習センターと地域体育館における事業	33	32	33
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	10		4
4. 図書館運営	39	38	38
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	10		8
5. 会計事務	6	6	6
6. 事業計画・提案書の達成度	12	10	11
7. 利用者の声に係る評価	18	18	18
利用者アンケート	20		18
<b>合計</b>	<b>197</b>		<b>180</b>

総合評価基準

A+	100~95点	優れている	
A	94~86点		
A-	85~80点		
B+	79~75点	適正である	
B	74~66点		
B-	65~61点		
C	C	60点以下	改善を要する

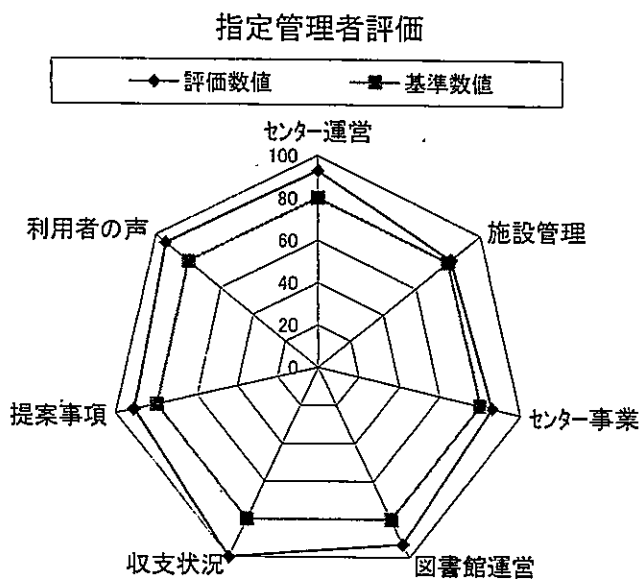
評価点(100点満点)  
(評価委員会得点合計 ÷  
配点合計 × 100)

**91**

総合評価

**A**

総合評価レーダーチャート



評価対象期間

平成27年度

自己評価基準日

平成28年2月15日

区評価実施日

平成28年3月31日

足立区生涯学習関連施設(学習センター)指定管理者項目別評価表

施設名: 江北地域学習センター

項目	指定管理者自己評価		評価委員会評価	
1. 運営業務の適正化とサービス 配点 30 [チャレンジポイント] 配点 2	【所見】 休館日を利用し、業務遂行能力や接客マナーの向上を意図した業務知識の理解度チェックテストや実践研修を行なうことで、課題の解決および随時の確認とし、区民サービスの向上に役立っています。 区民との協働の場としてセンター花壇の活用をさらに深めています。	得点 30	【所見】 前年度指摘したコンプライアンスについて、研修など社員教育に取り組んでいる。運営上のトラブルや苦情は少なく、良好な運営であった。 フォトフレームの取り組みなど、面白い取組みをしており、さらなる工夫を期待したい。	得点 30
				0
2. 施設・設備の維持管理 配点 15 [チャレンジポイント] 配点 2	【所見】 年間計画に基づき専門業者に点検・保全や清掃を依頼するだけでなく、スタッフ自らも常に保全・改善意識をもって業務に取り組んでいます。また巡回等で異常の早期発見を心がけ、迅速に対応を行っています。 施設設備保全の知識・意識の向上のみならず、想像力をもったの予防保全に注力します。	得点 14	【所見】 施設点検に関する日誌の整備が不十分であり施設点検業務でのトラブルや、駐車場点検確認不足から事故があったため減点とした。 施設点検に関するチェック表や日誌になるものを使いやすく、かつわかりやすく管理して、今後漏れのない施設点検を実施してほしい。	得点 14
				0
3. 地域学習センターと地域体育館における事業 配点 33 [チャレンジポイント] 配点 10	【所見】 講義、体験学習、文化芸術鑑賞、スポーツ・運動、サロン型など、多種多様な題材、形式で区民へ学びの機会を提供しています。 特にスポーツ・運動系の事業に関しては、地域需要も高く、足立区の抱える糖尿病罹患患者数への解決アプローチともなるため重点的に実施しています。	得点 32	【所見】 休館予定であるが「ふれあいまつり」開催の声があるなど利用者と良好な関係を築いている。これまで開催していなかった成果発表会など、新たな取組みにも積極的である。 花壇サロンボランティアのアウトリーチ活動の支援などは評価できる。	得点 33
				4
4. 図書館運営 配点 39 [チャレンジポイント] 配点 10	【所見】 地域とのつながりを意識した事業に力を入れました。一般向けには、地域の方が図書館に集う「ひとたな図書館」や、図書館を拠点として地域に拡がる「まちかど図書館」を実施しました。児童向けには、地少協と連携し地域親交イベントでお話会を行いました。また、中学校との連携も積極的に進めています。	得点 38	【所見】 書架整理、清掃が行き届いており、館内表示も分かりやすく利用者への配慮がある。様々な利用者への配布資料も多彩である。書評対決や特集などの館内の展示も工夫がなされている。貸出、入館者ともに増えている。新規登録者やお話し会などの参加者も増加している。	得点 38
				8
5. 会計事務 配点 6	【所見】 消費電力量の節減によるコストカットや、控えめな空調温度設定の宣言・明示による省エネ意識の啓発・向上、裏紙の積極活用による紙リサイクルの推進、また相見積りによる物品購入時の適正価格の見極め、社内申請制度による適正な在庫管理に取り組んでいます。	得点 6	【所見】 経費の節約に積極的に取り組んでいる。 収支は、プラスであり、良好な会計状況である。	得点 6
				6
6. 事業計画・提案書の達成度 配点 12	【所見】 お客様への接客マナー、適切な施設管理による安全な空間の提供、講座のラインナップと内容の充実特に力を入れて運営を行っており、はじめてご利用のお客様にも定期的なご利用のお客様にも高い満足度を提供できています。 地域との協働事業を豊かに、また事故ゼロの施設を目指して取り組みます。	得点 10	【所見】 安全管理の面から駐車場の管理に関する提案があるが、駐車場の管理不十分から事故が発生している点で減点とした。 町会へのアウトリーチや中庭イベントなど未達成はあるものの、提案内容は、概ね達成できている。	得点 11
				11
7. 利用者の声に係る評価 配点 18 利用者アンケート 配点 20	【所見】 「お客様の声」ポストと投稿用紙、職員からの回答を掲示するインフォメーションボードを活用し、なかなか会話の機会を持つことのできないお客様からもご意見を承れる仕組みを構築、機能しています。 本年度はいただいた声から、配布用チラシスペースを見直しました。 10月に開設したHPからのお問い合わせやご意見が予想されます。真摯に対応して参ります。	得点 18	【所見】 利用者懇談会や「お客様の声ボックス」などで利用者の意見に耳を傾ける工夫をしている。 意見には、可能な範囲で適正に対応しており、大きな苦情もない。	得点 18
				18
			得点合計	180

足立区生涯学習関連施設(学習センター)指定管理者総合評価シート

施設名: 舎人地域学習センター

指定管理者名: ヤオキン商事株式会社

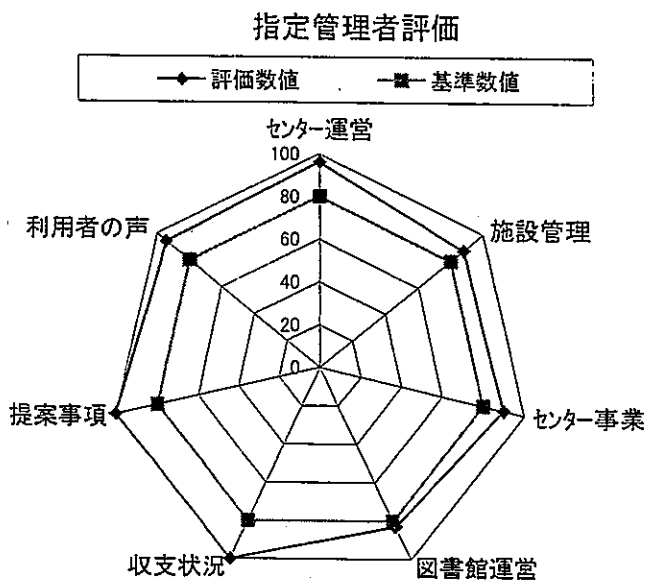
評価項目	配点	自己評価 得点	評価委員会 得点
1. 運営業務の適正化とサービスの質の向上	30	30	29
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		2
2. 施設・設備の維持管理	15	14	15
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		0
3. 地域学習センターと地域体育館における事業	30	29	30
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	10		6
4. 図書館運営	33	33	30
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	10		6
5. 会計事務	6	6	6
6. 事業計画・提案書の達成度	12	12	12
7. 利用者の声に係る評価	18	18	18
利用者アンケート	20		18
<b>合計</b>	<b>188</b>		<b>172</b>

総合評価基準

A+	100～95点	優れている
A	94～86点	
A-	85～80点	
B+	79～75点	適正である
B	74～66点	
B-	65～61点	
C	60点以下	改善を要する

評価点(100点満点) (評価委員会得点合計÷ 配点合計 × 100)	総合評価
91	A

総合評価レーダーチャート



評価対象期間	平成27年度	自己評価基準日	平成28年2月15日	区評価実施日	平成28年3月31日
--------	--------	---------	------------	--------	------------

足立区生涯学習関連施設(学習センター)指定管理者項目別評価表

施設名: 舎人地域学習センター

項目	指定管理者自己評価		評価委員会評価	
	内容	得点	内容	得点
1. 運営業務の適正化とサービス 配点 30 [チャレンジポイント] 配点 2	【所見】 1階エントランスを大幅にレイアウト変更しました。広くなった空間を活用し、イベントの開催や積極的な情報提供に努めています。 また同居施設(区民事務所・住区センター)と連絡を密にし、電話や館内でお声がけがあった際にワンストップサービスで迅速に対応できるようにしています。	30	【所見】 コンプライアンスに関して、モニタリング調査時に管理職員が自社の体制を理解していないなど、コンプライアンスへの意識が不十分であったため減点とする。1階エントランスのレイアウト変更によりイベントへのスペース活用やチラシ等の配架も見やすく手取りやすくなった。	29 2
2. 施設・設備の維持管理 配点 15 [チャレンジポイント] 配点 2	【所見】 常駐の設備担当者がいないため、巡回時には機械室の中も確認して、安全管理に努めています。 錆止め、ドアの修理等の軽微な修繕は自前で行うのは勿論のこと、本来専門業者に頼むような、駐車場ライン引き、体育用具の修繕、低木剪定等も自分達で行っています。	14	【所見】 施設の維持に関しては適切に管理されている。防災訓練の際にそれぞれの役割を理解し、実施することにより、実際の緊急対応にもスムーズに対応できている。 電気使用料は前年度より増加しているが、22年度比マイナス15%という目標を達成している。引き続き節電に努めていただきたい。	15 0
3. 地域学習センターと地域体育館における事業 配点 30 [チャレンジポイント] 配点 10	【所見】 舎人地域の歴史、POPコンテスト等、ミニコミ紙に数年に渡って掲載していた人気企画が数多くあり、その企画を各分野別にまとめ、冊子にして配布しました。 また、複数の団体をコーディネートし、幅広い世代の方が共に近隣の公園で花壇の手入れをするアウトリーチ活動を行いました。	29	【所見】 様々な企画を用意し、利用者のニーズに合った事業・講座を実施している。新規利用者獲得のための工夫も見られ、積極的に取り組んでいる。利用率については部屋ごとでは下がっているところもあるが、全体の利用率は去年と同率であるため減点しない。	30 6
4. 図書館運営 配点 33 [チャレンジポイント] 配点 10	【所見】 前年度の継続と「地名の由来辞典」冊子版の発行、ビブリオバトル、読書感想文書き方教室など新たな取り組みを実施し、地域文化の発信や新規利用の参加に繋がりました。 職員教育に引き続き努め、日々の業務の確実な運用に取り組んでまいります。	33	【所見】 リニューアルオープン2年目を迎え図書館運営も安定してきたと思われる。「業務のびき」に関わる初歩的なミスが何件かあったので、マニュアル研修を繰り返し内容の周知徹底を図ってほしい。入口に特集コーナーを移動して利用者に見立つようにしたのは良かった。利用者に対する取り組みは今後も継続してほしい。	30 6
5. 会計事務 配点 6	【所見】 センター・図書館と消耗品の管理を一元化することで経費削減を図っています。 帳簿の収支は毎月本社に報告、経理担当者と公認会計士のチェックを受けております。	6	【所見】 会計について適正に管理されている。 小さな不具合の修繕や調整を職員でやっていたことで大きな故障や事故を未然に防ぐことができ、修繕費の圧縮にもつながると期待します。今後も経費削減を積極的に実施していただきたい。	6 6
6. 事業計画・提案書の達成度 配点 12	【所見】 生まれて間もない赤ちゃんから高齢者まで幅広い世代にご利用いただけるようさまざまな提案をし、その多くに取り組んでいます。また、地域の行事に積極的に参加させていただき、近隣町会・自治会と良好な関係作りを積極的に行っています。	12	【所見】 提案内容については概ね実施できている。 近隣町会・自治会との良好な関係が築けており、連携事業も行っている。	12 12
7. 利用者の声に係る評価 配点 18 利用者アンケート 配点 20	【所見】 お客様の声ボックスを2階記載台、3階ロビーに設置し、回収したご意見や質問とその回答を踊り場に掲示し対応しています。お客様のご意見を把握することを今後も継続し、対応してまいります。	18	【所見】 利用者の意見を取り入れ、見直しを行うことでよりよい講座運営となった。今後も利用者に対し、適切な対応をしていただきたい。	18 18
得点合計				172



足立区生涯学習関連施設(学習センター)指定管理者総合評価シート

施設名: 梅田地域学習センター

指定管理者名: ヤオキン商事株式会社

評価項目	配点	自己評価 得点	評価委員会 得点
1. 運營業務の適正化とサービスの質の向上	30	28	30
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		0
2. 施設・設備の維持管理	15	15	14
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		2
3. 地域学習センターと地域体育館における事業	33	32	32
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	10		6
4. 図書館運営	33	33	30
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	10		6
5. 会計事務	6	6	6
6. 事業計画・提案書の達成度	12	12	12
7. 利用者の声に係る評価	18	18	18
利用者アンケート	20		16
<b>合計</b>	<b>191</b>		<b>172</b>

総合評価基準

A+	100~95点	優れている
A	94~86点	
A-	85~80点	
B+	79~75点	適正である
B	74~66点	
B-	65~61点	
C	60点以下	改善を要する

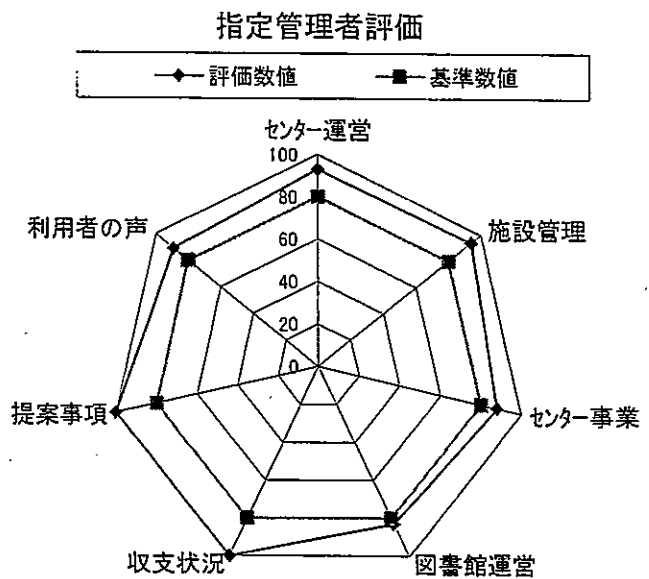
評価点(100点満点)  
(評価委員会得点合計÷  
配点合計 × 100)

総合評価  
(A・B・C)

90

A

総合評価レーダーチャート



評価対象期間	平成27年度	自己評価基準日	平成28年2月15日	区評価実施日	平成28年3月31日
--------	--------	---------	------------	--------	------------

足立区生涯学習関連施設(学習センター)指定管理者項目別評価表

施設名: 梅田地域学習センター

項目	指定管理者自己評価	評価委員会評価
1. 運営業務の適正化とサービス 配点 30 【チャレンジポイント】 配点 2	【所見】鍵の貸し出しの際、鍵貸与者の連絡先聴取方法を用紙を使用した方法へと見直した。個人情報取り扱いに十分配慮した取り組みであることを理解していただき運用を継続している。年度当初は、新人職員が多くスキルに不安があったが、接遇および事務処理の定期的な研修を行い、公平・公正かつ円滑に運営できるようになった。	【所見】職員に対する研修が充実している。また、個人情報の対応やコンプライアンスの体制もしっかりしている。今年度は人員的にも落ち着いており、安定した運営をしているといえる。 チャレンジポイントの鍵の取り組みについては、好ましい取り組みであるが、鍵の管理徹底は、通常業務の範囲であり、加点には至らない。
2. 施設・設備の維持管理 配点 15 【チャレンジポイント】 配点 2	【所見】管理運営当初より鍵の貸与者の連絡先聴取を行い、トラブルがあってもすぐに連絡できる体制をとり、トラブルを回避している。また、館の外周美化に対する清掃や駐輪場整備は高水準を維持し、特に駐輪場管理において、朝の違法駐輪自転車が無い状態が10年続いている。	【所見】不具合対応の中で、状況を十分に把握できていない面が見受けられたため減点とした。 センター外回りの美化や違法駐輪に対する取り組みなど長きに渡り取り組んでおり成果を上げている。施設担当職員の配置や警備員の配置など安全対策も十分取られていると感じる。
3. 地域学習センターと地域体育館における事業 配点 33 【チャレンジポイント】 配点 10	【所見】多様な団体と連携して行うことに力を入れた。今年度の実績は、企業(5企業)、地域(2町会、1商店街)、西新井警察、NPO(3団体)、地域包括センター、小学校(9校)、中学校(1校)高校(6校)等がある。利用団体の継続的活動支援として、利用者懇談会で登録団体の支援事業開催の情報提供や、ミニコミ紙での紹介や会員募集を行った。	【所見】広報作成研修の実施後もミスが続いたため、減点とした。 質の高い講座を多く実施している。特に連携事業の取り組みは充実しており、商店街や高校、企業など良好な関係を築いている。 「貧困家庭支援の取り組み」「独居高齢者見守り支援活動」は今後の発展に期待したい。
4. 図書館運営 配点 33 【チャレンジポイント】 配点 10	【所見】昨年に引き続き花の絶えない明るい雰囲気を保ち区民に親しんで頂いている。本年度より、「日生梅島保育園ひびき」での出張おはなし会を毎月開催している。また、男女参画プラザと連携し「親子サロン」での乳幼児向けおはなし会も新たに実施した。さらに梅田地域学習センターとの共催で講座を開催するなど、関連施設と連携して読書支援、図書館の利用促進を図った。	【所見】基本業務に処理の誤りが散見されたが、利用の多い館の管理運営への努力は認められる。 従来の事業の継続や展開に加え、管轄小学校の読書旬間に給食室と連携しメニューに困った本の紹介をするなどして児童の関心を集め貸出につなげたことやビブリオバトルの紹介と開催も大変評価できる。
5. 会計事務 配点 6	【所見】昨年はダンス大会での経費が掛かりマイナスが出てしまったが、今年は運営での利益も得ることができ、経費を最小限に抑えることができたため、事業数を減らしたが大きなマイナスにはならなかった。また、事務用消耗品などを抑えたこともあり、全体の収支はプラスになった。また、昨年に比べ職員を多く入れたことで、賃金が多くなかった。	【所見】事業収入については前年より減ったものの、プラス収支であり、全体としてもプラス収支となっているなど、良好な会計となっている。
6. 事業計画・提案書の達成度 配点 12	【所見】梅センガイドは、利用者から発刊の催促を受ける程定着。ミニコミ紙はデザインを一新し読者からも好評で広報活動の強化に繋がっている。 積極的な情報収集や体験取材をすることで、町会自治会と親密な関係ができ、地元の方への講師依頼や、あった会の活動の参加につながった。	【所見】提案内容は、概ね実施している。 今後も引き続き安定運営に努めていただきたい。
7. 利用者の声に係る評価 配点 18 利用者アンケート 配点 20	【所見】館内にご意見用紙、ご意見箱を設置し、意見を出しやすい体制をとっている。さらに利用者全てにアンケート用紙を配布し回収をしている。ご意見・苦情は、スタッフミーティングや、利用者懇談会、L・ソフィア会議等で解決策を検討し、解決できないことについては、地域文化課に相談の上回答している。ご意見と回答は、共に受付横掲示板に貼りだしている。ご意見より、鍵の受け渡し用紙・陶芸釜利用報告書の変更、ジャンボスリッパの設置等を行った。	【所見】利用者からの意見や相談などに耳を傾け、可能な範囲で要望にも応えている、大きな苦情などもなく、適切に利用者対応している。
得点合計		172

足立区生涯学習関連施設(学習センター)指定管理者総合評価シート

施設名：佐野地域学習センター

指定管理者名：株式会社グランディオサービス

評価項目	配点	自己評価 得点	評価委員会 得点
1. 運營業務の適正化とサービスの質の向上	30	30	30
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		0
2. 施設・設備の維持管理	15	14	14
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		0
3. 地域学習センターと地域体育館における事業	33	33	33
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	10		4
4. 図書館運営	33	33	32
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	10		6
5. 会計事務	6	6	6
6. 事業計画・提案書の達成度	12	11	11
7. 利用者の声に係る評価	18	18	18
利用者アンケート	20		18
<b>合計</b>	<b>191</b>		<b>172</b>

総合評価基準

A+	100～95点	優れている
A	94～86点	
A-	85～80点	
B+	79～75点	適正である
B	74～66点	
B-	65～61点	
C	60点以下	改善を要する

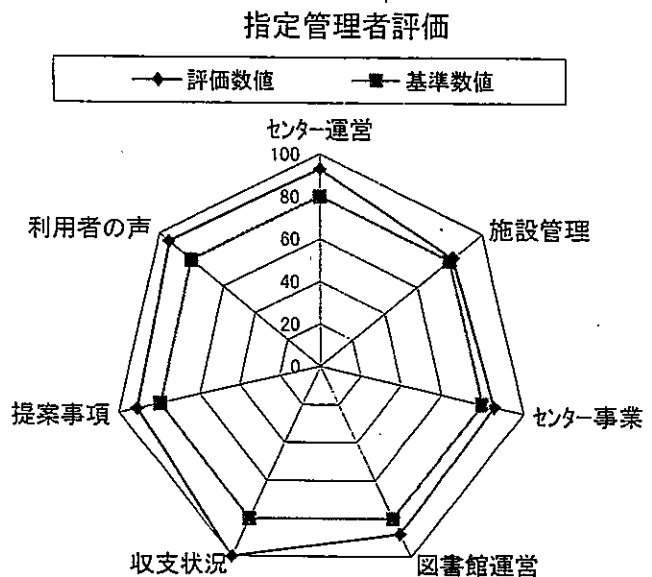
評価点(100点満点)  
(評価委員会得点合計÷  
配点合計×100)

**90**

総合評価

**A**

総合評価レーダーチャート



評価対象期間 平成27年度 自己評価基準日 平成28年2月15日 区評価実施日 平成28年3月31日

# 足立区生涯学習関連施設(学習センター)指定管理者項目別評価表

施設名: 佐野地域学習センター

項目	指定管理者自己評価		評価委員会評価	
1. 運営業務の適正化とサービス 配点 30 [チャレンジポイント] 配点 2	【所見】 業務別責任者制による役割分担や管理職社員と若手社員が協力しバランスの取れた施設運営を目指した。お客様目線での運営を心がけ、町会へ学習センターの事業や施設運営状況を紹介。地域コミュニティの中心施設としての役割を担えるよう、近隣町会、小学校、利用者様との積極的なコミュニケーションに努めた。	得点 30	【所見】 東和センターの大規模改修に備え、相談カードを作り情報共有、対応を行った。他センターに比べてミスが少ないセンターの一つであり、きめ細やかで堅実な管理運営を行っている。ミニコミ誌の町会配布は今後さらなる拡充を期待したい。	得点 30 0
	2. 施設・設備の維持管理 配点 15 [チャレンジポイント] 配点 2	【所見】 安心・安全を第一として施設管理を行っている。定時巡回や担当者制による日常点検を実施。今年度は体育館天井工事が実施され工事業者と協力し、クレーン車の稼働日は事前の館内周知など安全管理に努めた。利用者懇談会においても修繕の状況や点検・管理状況を説明し、より大切に使うよう、ご協力をお願いした。	得点 14	【所見】 工事業者との確認不足から誤解が生じ、追加工事となった事象が発生したため減点とした。施設ごとに担当者を決めて点検を行ったり、本社社員を活用するなど管理に工夫が見られる。利用者懇談会では施設点検や修繕状況の報告を行うなど、積極的な情報公開を行い、理解を求めている。
3. 地域学習センターと地域体育館における事業 配点 33 [チャレンジポイント] 配点 10	【所見】 気軽にセンターに立ち寄れる当日受付のサロン事業を多く展開し、地域交流の場を積極的に提供。文学・歴史関連講座では座学に限定することなく実際に町を散策することで足立の魅力を再発見していただく機会とした。また企業や近隣施設との連携事業も広く開催し、年間を通じて年代・内容ともに片寄らないよう事業を展開した。	得点 33	【所見】 概ね適切に実施されている。ハート&ハートは、抽選会の景品で障がい者施設のPRをするなど新たな取り組みも見られる。質の高いサロン開催の多くは例年同様であるため加点には至らなかった。	得点 33 4
	4. 図書館運営 配点 33 [チャレンジポイント] 配点 10	【所見】 基本運営業務を確実に遂行することを基軸に、新規事業を含め多彩な事業を展開。独自のキャラクターを使った企画は児童が図書館に来館する楽しさを、中学生にはビブリオバトル体験を、一般の方には癒しの朗読やポップ美術館など、あらゆる世代にアプローチした。また、運営向上に活かすべく積極的に研修や講座に参加した。	得点 33	【所見】 昨年からはまった「ポップ美術館」は、今年度展示方法を変え新しい展開をした。カウンター業務にも力を入れ作業表などを使用し、偏りのない能力アップに繋がった。書架は清潔できれいだが引き抜きに足りない棚もあり、利用者が使いやすい書架づくりを検討したい。
5. 会計事務 配点 6	【所見】 金銭管理については本社では経理担当者による厳重な管理、センターでは担当者を決め、最小限の現金の取扱いとしている。経費削減についてはワークライフバランスによる人件費の把握による適切な人材配置を行っている。また事務用品の本社一括購入によるボリュームディスカウントなどで経費削減に努めている。	得点 6	【所見】 適正な会計処理が行われている。今後も適正な会計処理に努められたい。	得点 6
6. 事業計画・提案書の達成度 配点 12	【所見】 27年度は受託初年度であった。豊富な運営実績からも即時着手出来た事項も多いが、未着手の事項も残されている。未達成な事項については次年度以降に計画的に実施し誠実に履行していきたい。豊富なサロン事業の提供とともにプロリーグに講師を依頼したスポーツ自主事業も大変好評であった。	得点 11	【所見】 未実施の事業が複数あったため減点とした。イベント出展での講座体験会や地域住民との協働事業など準備に時間を要する提案もあることから、計画的な着手が望まれる。運営業務・施設維持管理に関しては概ね実施できている。	得点 11
7. 利用者の声に係る評価 配点 18 利用者アンケート 配点 20	【所見】 ご意見箱を設置し、お寄せいただいたご意見にはスタッフ全員で対応策を考え、回答を公表、掲示している。しかしご意見箱での要望は少なく、窓口でお申し付けくださるお客様が多いのが実情。ご意見を待つばかりでなく、お客様にスタッフが積極的に声掛けするよう指導し、来館目的や講座の希望、施設の要望などをお伺いするようにしている。小さなご意見をもらさず記録しセンター運営の向上につなげていきたい。	得点 18	【所見】 利用者アンケートの結果では9割以上の利用者が職員の対応に満足している。ミニコミ誌への利用者参加や多彩なサロン開催等、利用者との交流を大切にする姿勢は評価に値する。	得点 18 18
	得点合計		172	

足立区生涯学習関連施設(学習センター)指定管理者総合評価シート

施設名: 鹿浜地域学習センター

指定管理者名: ヤオキン商事株式会社

評価項目	配点	自己評価 得点	評価委員会 得点
1. 運營業務の適正化とサービスの質の向上	30	30	30
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		2
2. 施設・設備の維持管理	15	14	14
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		2
3. 地域学習センターと地域体育館における事業	33	33	33
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	10		8
4. 図書館運営	33	31	30
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	10		4
5. 会計事務	6	6	6
6. 事業計画・提案書の達成度	12	12	12
7. 利用者の声に係る評価	18	18	18
利用者アンケート	20		14
<b>合計</b>	<b>191</b>		<b>173</b>

総合評価基準

A+	100~95点	優れている
A	94~86点	
A-	85~80点	
B+	79~75点	適正である
B	74~66点	
B-	65~61点	
C	60点以下	改善を要する

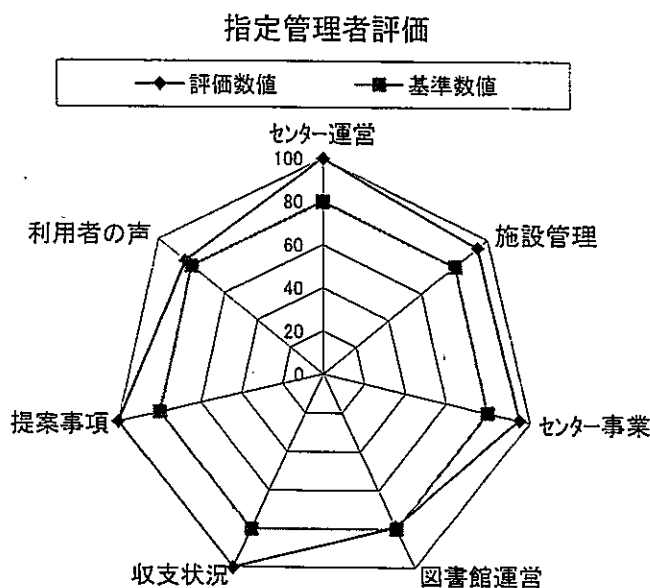
評価点(100点満点)  
(評価委員会得点合計 ÷  
配点合計 × 100)

**90**

総合評価

**A**

総合評価レーダーチャート



評価対象期間

平成27年度

自己評価基準日

平成28年2月15日

区評価実施日

平成28年3月31日

足立区生涯学習関連施設(学習センター)指定管理者項目別評価表

施設名: 鹿浜地域学習センター

項目	指定管理者自己評価	評価委員会評価
1. 運営業務の適正化とサービス 配点 30 [チャレンジポイント] 配点 2	【所見】朝・夕礼を毎日行い、職員間の情報共有を図っています。OJTやミニ研修、ヒヤリハット会議を行い、職員のスキルアップや自己啓発に取り組みサービス向上に繋がりました。活動中のサークル等の見学が気軽にでき、参加、入会しやすいようにホールに案内掲示板を設置。見学者が増え、利用者、サークル入会者が増えました。	【所見】接客サービスについては、「accostコンシェルジュ」を掲げ、積極的に声をかける接客ができています。受付周りの整理のため、朝10分の「すっきりタイム」を設け、整理整頓に努めている。研修の頻度も多く、毎月1回、テーマを変えながら実施している。
2. 施設・設備の維持管理 配点 15 [チャレンジポイント] 配点 2	【所見】巡回は、利用者様の目線に立ち配慮に努めています。点検時、気づいたときに即対応できるものは即修繕。経過や方法などを記録し、職員全員が把握しています。独自の避難誘導研修を行い、朝夕礼で各自、誘導担当を決め、有事の際に備え直ちに動けるように努めております。	【所見】保守管理について、一部計画的な修繕ができなかった。次年度以降は、優先順位に応じた修繕を計画、実施してほしい。エネルギー消費の削減については、常に併設施設への協力を呼びかけるなど、電気使用料の削減に努めている。
3. 地域学習センターと地域体育館における事業 配点 33 [チャレンジポイント] 配点 10	【所見】家族や親子で参加できる事業や「鹿浜メンズクラブ」など、男性限定の事業も多く企画実施。ふれあいまつりなどのイベントでは家族で参加が増えました。(前年度比30%増)障がい者スポーツ「車いすバスケットボール体験」を実施し今後も普及、振興を進めます。	【所見】事業については適切に計画、実施されている。事業の見直しについても、講座ごとにアンケートをとり、適切に見直しが行われている。さらには、講座全体のアンケート集計、分析を行い、よりよい事業立案に活かしてほしい。
4. 図書館運営 配点 33 [チャレンジポイント] 配点 10	【所見】利用していただいたリピーターの方だけでなく、初めての方にも使いやすい居心地のよい空間づくりを目指し、「ブックサロンかたらい」や利用目的に合わせ館内の配置を一新。「オールドブックフェスタ」「ビブリオバトル」などの新規事業を行う事で、初めて図書館を利用する方が増え、貸出冊数にも繋がる工夫をしています。	【所見】返却資料の点検もれ、都立図書館への返却処理の誤りがあったがイベントの開催による新規利用者の獲得にむけての努力が見られる。特集も多数行いそれぞれ工夫があり利用者へアピールしている。図書館の本来の役割を理解した上での新規利用者獲得、貸出増につながる様期待する。
5. 会計事務 配点 6	【所見】公認会計士によりチェックを受け、本社の経理担当が帳簿関係書類を整備。節電につとめ、勤務ローテーションを調整し人件費を抑え、必要な物品も安価なものを使用し、経費削減に職員全員で取り組んでいる。収支は誰が見てもわかるように仕分計上に努めています。	【所見】会計事務は適正に処理されている。
6. 事業計画・提案書の達成度 配点 12	【所見】概ね事業計画、提案書の通り事業を実施することができました。「高校受験生応援団」など今まで行ってきた事業を更に進化させ、参加していただきました。館外事業も取り入れ、リクエストが多かった料理講座も多く実施いたしました。また地域の商店にも協力いただき子どもの体験学習も行いました。	【所見】提案事業については概ね実施されている。「ふれあいまつり見学・体験ツアー」「夏の暑い体育館を利用したホットヨガ」などの自主事業も概ね実施できている。今後は、「こどもに聞く！大人のなんでも相談室」など実施が難しい自主事業についても、次年度以降実施してほしい。
7. 利用者の声に係る評価 配点 18 利用者アンケート 配点 20	【所見】1階ホールに「お客様の声コーナー」を設置し、利用者様のご意見・ご要望にお応えしています。ホームページ、Facebook、携帯サイトによるSNSを使用し情報を発信。「家族で参加できる講座を増やしてほしい」というお声にも応えてまいりました。	【所見】利用者の声については、施設入り口に「お客様の声コーナー」を設置して、利用者意見を受け付けやすい環境を整備している。現在、ミニコミ紙の中でも利用者意見を受け付けるコーナーを準備中であり、様々な形で意見を受け付ける努力をしている。また、受け付けた利用者意見については適切に回答し、回答を公表している。
得点合計		173

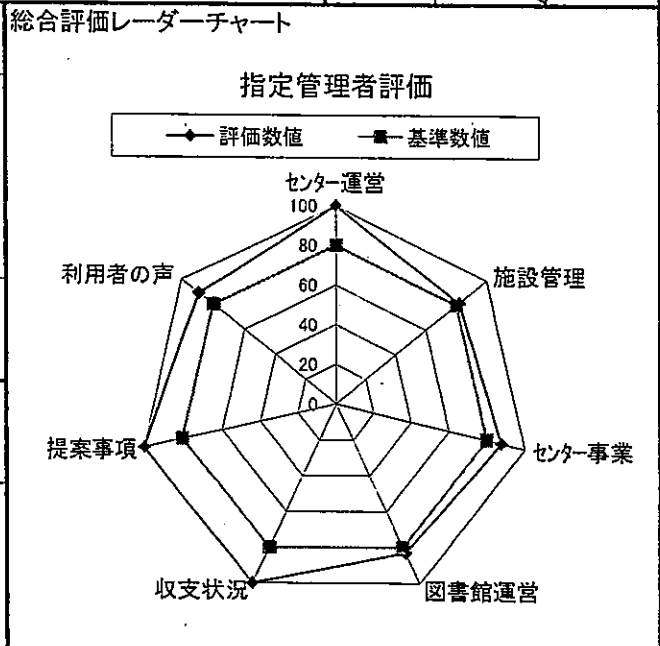
足立区生涯学習関連施設(学習センター)指定管理者総合評価シート

施設名: 中央本町地域学習センター

指定管理者名: ヤオキン商事株式会社

評価項目	配点	自己評価 得点	評価委員会 得点
1. 運營業務の適正化とサービスの質の向上	30	30	30
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		2
2. 施設・設備の維持管理	15	14	14
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		0
3. 地域学習センターと地域体育館における事業	33	32	32
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	10		6
4. 図書館運営	33	33	30
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	10		6
5. 会計事務	6	6	6
6. 事業計画・提案書の達成度	12	11	12
7. 利用者の声に係る評価	18	18	18
利用者アンケート	20		16
<b>合計</b>	<b>191</b>		<b>172</b>

総合評価基準		
A+	100~95点	優れている
A	94~86点	
A-	85~80点	
B+	79~75点	適正である
B	74~66点	
B-	65~61点	
C	60点以下	改善を要する
評価点(100点満点) (評価委員会得点合計÷ 配点合計×100)	総合評価	
<b>90</b>	<b>A</b>	



評価対象期間	平成27年度	自己評価基準日	平成28年2月15日	区評価実施日	平成28年3月31日
--------	--------	---------	------------	--------	------------

足立区生涯学習関連施設(学習センター)指定管理者項目別評価表

施設名:中央本町地域学習センター

項目	指定管理者自己評価		評価委員会評価	
	【所見】	得点	【所見】	得点
1. 運営業務の適正化とサービス 配点 30 【チャレンジポイント】 配点 2	【所見】 職員への階層別研修を行うとともに、臨時職員を含めた労働安全衛生・個人情報管理・接客対応についての研修を行った。また設備関連の事故を受けて設備管理業務改善を進めている。日常清掃や施設内外の美化、利用者マナー向上への呼びかけを続けている。	30	【所見】 センターとしてスローガンを掲げ、それをベースに利用者に対する明るい接客を心掛けており、センター全体として人でのぎわっている。行った研修に対するフォローアップ研修を行うなど職員のスキルアップを図れている。 また広報活動としてLINEスタンプ等のWEB媒体を用いてセンターの認知度を高める努力をしており、評価できる。	30 2
2. 施設・設備の維持管理 配点 15 【チャレンジポイント】 配点 2	【所見】 施設老朽化に伴い、設備関連の事故が頻発した。その際、お客様や事故現場対応に遅れや不備があったこともあり、職員全体で設備業務を見直すこととなった。事故発生時の対応もさることながら、事故に至らない日常点検の強化に今後努める。	14	【所見】 施設、設備の維持管理については概ね適切に行われている。 設備関連の事故は定期的なチェックを行っていても突発的に発生することがあるため、どのような時でも迅速に対応することができる職員体制作りを期待したい。	14 0
3. 地域学習センターと地域体育館における事業 配点 33 【チャレンジポイント】 配点 10	【所見】 商店街や地域団体、学校との連携を引き続き強化しており、来年度以降の未達成事業取り組みへの足掛かりとなっている。また他施設と比較してSNSを利用した広報は群を抜いており、引き続き配信を進めるとともに、若年層への施設・指定管理者のPRを実施する。障がい者施設含めアウトリーチ数は計61本。	32	【所見】 地域との連携事業、アウトリーチ活動、サロン活動において精力的に事業展開を行っている。五反野駅前商店街でのイベントは地域を巻き込んだ大きなイベントに発展しており、また商店街での体験型事業など利用者や地域の交流発展に貢献している。アウトリーチ活動についても他センターと較べても多く行っており、生涯学習の機会の提供に寄与している。	32 6
4. 図書館運営 配点 33 【チャレンジポイント】 配点 10	【所見】 従来の取組みの更なる充実を図るとともに、キャラクターを活用した広報・イベントを行い、来館や貸出につながった。毎月のビブリオバトルでは、利用者自身が発表者として参加するとともに、バトル終了後も利用者同士の交流が見られ、サードプレイスとしての機能も果たしている。	33	【所見】 前任者の布石の上に新たな試みを展開している。今年度は各種イベント、お話し会でキャラクターを活用し図書館の利用につながった。また、複数の特集コーナーの設置により利用者へ様々な情報発信が来ている。「ビブリオバトル」においては今後、利用者が継続して参加し楽しんでもらえるような工夫が期待される。	30 6
5. 会計事務 配点 6	【所見】 事業収入は減少傾向を見せる一方、事業経費の一端を占めていたアウトリーチ活動については付添職員数を削減し効率化に努めた。今後は効率的運営に取り組みながらも、サービス向上と利用者満足向上に努める。	6	【所見】 会計事務は適切に処理されている。 アウトリーチ活動や館外での地域連携事業については人件費の見直しに取り組み、昨年度よりも効率的な運営を行っている点を評価したい。	6
6. 事業計画・提案書の達成度 配点 12	【所見】 未達成項目については次年度以降、計画的な達成を目指し準備・取り組みを進める。商店街・地域団体・学校などと交流を深め、更なる連携と発展に努める。	11	【所見】 事業計画と提案書については概ね達成できている。今後の課題としては提案書で挙げている「こども商店街 チュオテラス」のような実現に至るまで複数年かかる事業について、計画的に進めていくことが求められる。多くの課題があると思うが、実現を期待したい。	12
7. 利用者の声に係る評価 配点 18 利用者アンケート 配点 20	【所見】 備品不備や環境面、利用者マナーについてのご意見が多数を占める。利用者アンケートや施設利用報告書、また直接いただいたご意見等は出来る限り速やかに対応し、結果を掲示公表している。お客様ご自身のご協力をいただく事柄に関しては利用者懇談会や日々のお声掛けで説明を行っている。	18	【所見】 利用者の声についてはアンケート等を通じ、適切に要望をヒアリングしている。利用者アンケートでも高評価が多数を占め、センター全体としての接客や事業等の取り組みが評価されている。引き続き、利用者の声を聞き、運営に活かして欲しい。	18 16
得点合計			172	



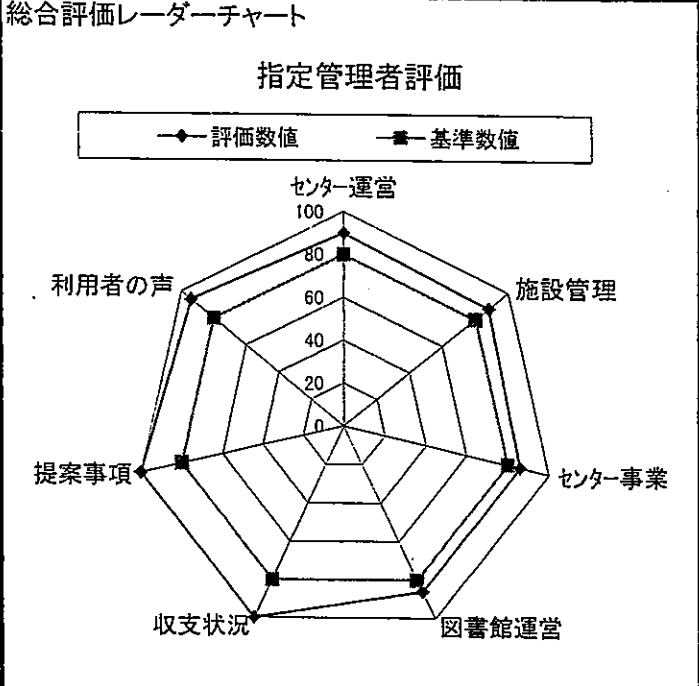
足立区生涯学習関連施設(学習センター)指定管理者総合評価シート

施設名: 花畑地域学習センター

指定管理者名: TM・アズビル共同事業体

評価項目	配点	自己評価 得点	評価委員会 得点
1. 運営業務の適正化とサービスの質の向上	30	29	29
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		0
2. 施設・設備の維持管理	15	15	15
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		0
3. 地域学習センターと地域体育館における事業	33	33	33
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	10		4
4. 図書館運営	33	33	31
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	10		6
5. 会計事務	6	6	6
6. 事業計画・提案書の達成度	12	12	12
7. 利用者の声に係る評価	18	18	18
利用者アンケート	20		18
<b>合計</b>	<b>191</b>		<b>172</b>

総合評価基準		
A+	100～95点	優れている
A	94～86点	
A-	85～80点	
B+	79～75点	適正である
B	74～66点	
B-	65～61点	
C	60点以下	改善を要する



評価点(100点満点) (評価委員会得点合計÷ 配点合計 × 100)	総合評価
90	A

評価対象期間	平成27年度	自己評価基準日	平成28年2月15日	区評価実施日	平成28年3月31日
--------	--------	---------	------------	--------	------------

足立区生涯学習関連施設(学習センター)指定管理者項目別評価表

施設名:花畑地域学習センター

項目	指定管理者自己評価	評価委員会評価
1. 運営業務の適正化とサービス 配点 30 【チャレンジポイント】 配点 2	【所見】年度当初に、指導的立場のスタッフ減少により総合受付窓口業務等におけるミスが多発したが休館日に教育訓練を繰り返し「笑顔でお迎え」というスローガンに沿った窓口サービスがより円滑に提供できた。また下半期には、派遣講師による接客研修を実施し、利用者アンケートの結果からも、早期に一定のサービス水準に達することができたと考えています。	【所見】アンケートでも接客における良い意見が多く、概ね適正な業務を行っているといえる。研修においても、受付ミス以降類型別に受付のシミュレーションを継続して実施することで、業務内容の改善も行っている点で評価できる。
	得点 29	得点 29
		0
2. 施設・設備の維持管理 配点 15 【チャレンジポイント】 配点 2	【所見】施設管理全般について、共同事業体の構成企業であるアズビル株式会社による24時間の遠隔監視のサポートと緊急時の迅速な技術者の巡回点検もあり運営に支障を来すことはありませんでした。当社スタッフに対しても研修を実施したり、警ら巡回や避難訓練を行ったりと、お客様の『安全』を最優先に取り組んでいます。	【所見】照明などを中心に、施設の老朽化により修繕が必要な箇所が増加しているが、区と密な連絡を行い、修繕を進めている点で評価できる。
	得点 15	得点 15
		0
3. 地域学習センターと地域体育館における事業 配点 33 【チャレンジポイント】 配点 10	【所見】活動内容が同じサークルが合併し4団体が2団体となったり、解散をしたサークルが1団体あったりと、3団体の減となったが、結成にも成功しプラスマイナスゼロで年度末を迎えることができた。体育館が3ヶ月工事のために使用できない期間がありましたが、学校開放事業の体育施設や近隣市体育館を紹介しサポートできた。	【所見】利用者団体により実施されるふれあいまつり20周年記念行事等を積極的にサポートし、サークル団体等の活性化にも成果が見られるものとして評価できる。利用者懇談会についても、利用者主体の運営に努めている点で評価できる。
	得点 33	得点 33
		4
4. 図書館運営 配点 33 【チャレンジポイント】 配点 10	【所見】今年のスローガン「好奇心を発見する図書館」を目指し、新たに「ジャケットライブラリー」の開催、「中高生ボランティア」「大人の絵本サロン」「おすすめ本対決」を定期的に開催した。スタッフ全員で書架の大清掃と所蔵本のチェックを行ない、居心地の良い図書館づくりの結果、来館数・貸出数の増加につながりました。	【所見】基本業務の認識不足と処理の誤りが見受けられたが、研修を重ね改善されており、職員の定着率と連携も良く大事には至っていない。図書館運営に対する問題意識が高く、常に新しい企画を考え、事業展開している事は大変評価できる。
	得点 33	得点 31
		6
5. 会計事務 配点 6	【所見】経理事務は本部が一括で行い定期的に公認会計士によるチェックを受け適性です。効率的な人員配置等、経費削減の取り組みを行っておりますが、25～26年度と比較すると本年度は人件費が増加しております。今後も事業や日々の業務の中で、効率化を行ってまいります。	【所見】会計処理は、公認会計士の管理の下、適切に行われている。エネルギー削減については、ここ数年削減のための取組による光熱水費の削減が見られる。
	得点 6	得点 6
6. 事業計画・提案書の達成度 配点 12	【所見】指定管理3年目となりますが、公募時に提案した項目は、概ね達成していると考えております。区の方針に沿った施策を運営に反映させることを、取り組むべき課題として、実状に合わない項目は、固執せず改善し計画を変更しております。	【所見】事業については、個人だけでなく、官公庁や地域団体、企業なども連携し、非常に多彩な事業を展開しており、評価ができる。一方で、講座の参加率については低いものも多く見受けられたため、質の向上も図っていくよう、既存の講座について見直し・改善を進めていただきたい。
	得点 12	得点 12
7. 利用者の声に係る評価 配点 18 利用者アンケート 配点 20	【所見】今回のアンケート調査の結果、概ね満足したという良好な回答をいただくことができました。また年度当初に窓口業務に伴う連続ミスに対しても、改善が行えた結果が表れていると感じています。ミニコミ紙や教室の内容について、やや評価を得られていない点については、職員一同真摯に受けとめ、見直すよう検討してまいります。	【所見】利用者の声については入口すぐ側に掲示板がありわかりやすく、いただいた意見について適切な対応を行っている。受付ミス等による苦情が入るケースもあるが、改善を図っていく姿勢が見受けられる。
	得点 18	得点 18
		18
		得点合計 172

足立区生涯学習関連施設(学習センター)指定管理者総合評価シート

施設名: 保塚地域学習センター

指定管理者名: 株式会社 グランディオサービス

評価項目	配点	自己評価 得点	評価委員会 得点
1. 運營業務の適正化とサービスの質の向上	30	30	30
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		0
2. 施設・設備の維持管理	15	15	15
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		0
3. 地域学習センターと地域体育館における事業	30	30	30
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	10		4
4. 図書館運営	33	33	32
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	10		4
5. 会計事務	6	6	6
6. 事業計画・提案書の達成度	12	12	12
7. 利用者の声に係る評価	18	18	18
利用者アンケート	20		18
<b>合計</b>	<b>188</b>		<b>169</b>

総合評価基準

A+	100~95点	優れている
A	94~86点	
A-	85~80点	
B+	79~75点	適正である
B	74~66点	
B-	65~61点	
C	60点以下	改善を要する

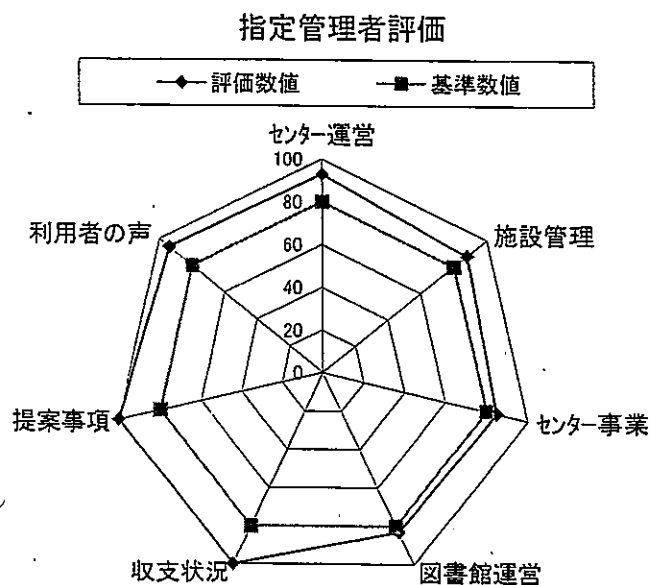
評価点(100点満点)  
(評価委員会得点合計 ÷  
配点合計 × 100)

**89**

総合評価

**A**

総合評価レーダーチャート



評価対象期間	平成27年度	自己評価基準日	平成28年2月15日	区評価実施日	平成28年3月31日
--------	--------	---------	------------	--------	------------

足立区生涯学習関連施設(学習センター)指定管理者項目別評価表

施設名:保塚地域学習センター

項目	指定管理者自己評価		評価委員会評価	
1. 運営業務の適正化とサービス 配点 30 [チャレンジポイント] 配点 2	【所見】 現状に満足することなく高い水準でサービスが提供できるよう、スタッフ一同高い志をもって業務に向き合い、システム事故・クレームのない安定した運営が行えるよう努めている。 また、複合館との連携を密にして、事故及び災害発生時には迅速にセンター全体として取り組める体制を整えている。	得点 30	【所見】 窓口受付業務については窓口の整理整頓、スタッフ間の情報共有など適切に対応している。複合館ということで区民事務所、住区センターとの調整があるかと思うが、連絡を密にすることでスムーズな運営につなげている。	得点 30 0
2. 施設・設備の維持管理 配点 15 [チャレンジポイント] 配点 2	【所見】 施設の老朽化に伴って随所に経年劣化がみられるものの、全スタッフが危機管理意識高く業務にあたることで設備の異変を敏感に察知し、迅速に対応することで安全かつ安心して利用できる環境を整えている。さらに施設全体として美化に気を配り、気持ちよくセンターをご利用いただける環境作りにも注力している。	得点 15	【所見】 不具合が生じた箇所について迅速な報告と小破修繕に対応できるものについて適切に対応している。駐車場については台数も少なく、複合館で利用者も多いと思われるが定期的な見回りを通じて適切な管理を行っている。	得点 15 0
3. 地域学習センターと地域体育館における事業 配点 30 [チャレンジポイント] 配点 10	【所見】 「子どもの居場所づくり」や「ボランティア活用」を充実させるために、地域住民との連携を強めていくことに注力した一年であった。結果、多くのボランティアの協力で子ども達に様々な学びや体験の機会を提供でき、地域との絆も深めることができた。今後は地域を愛する心を育てるような地域密着型の事業を展開していきたい。	得点 30	【所見】 事業についてはフリースペースや体験型講座、出張講座などを行っており、適切に計画・実施されている。ボランティアの活用も徐々に実を結んでおり、今後も積極的な活用と育成を期待する。継続して行っている「赤ちゃん＆キッズのクリスマスイベントワールド」は来場者の声をうまく反映させることで、前年度よりも満足度の高いイベントになっている。	得点 30 4
4. 図書館運営 配点 33 [チャレンジポイント] 配点 10	【所見】 「保塚寄席」や「おはなしキャラバン」などで、多くの来場者を得られた。館内の椅子の配置や、こまめな声かけなどで館内環境の向上に努力している。ビブリオバトルなど、新たな取り組みを通じて、読書推進活動を一層進めることができた。今後も、この方向を継続し、より良い地域の情報拠点として価値を高めていきたい。	得点 33	【所見】 年間を通して安定した業務運営がなされていた。職員の定着とスキルアップの結果と認められる。都立図書館主催の児童研修に不参加であったが、受講は必要である。 文学サロンの一環として開催された「保塚寄席」と、「ビブリオバトル」は利用者の増加とティーンズ層の掘り起こしにおいて評価できる。	得点 32 4
5. 会計事務 配点 6	【所見】 学習センター・図書館の経理担当が本社経理担当との連携を密に行い、適正に処理している。出納簿へのこまめな記入・確認をおこない、さらには複数人によるチェック体制を確立し、迅速かつミスや漏れのない的確な会計処理が行えている。さらに光熱水費の使用量も昨年度より減少することができ経費節減となった。	得点 6	【所見】 会計事務について適切に処理されている。今後も光熱水費削減のための工夫、ミスのないチェック体制作りなどに注力してもらいたい。	得点 6
6. 事業計画・提案書の達成度 配点 12	【所見】 すでに達成できた項目は引き続き維持できしており、提案書の内容を安定して遂行できている。今後、未達成の項目を着実に実行していくとともに、利用者のニーズに応えられるよう、創意工夫をして、魅力あるセンター運営を行っていきたい。	得点 12	【所見】 事業計画・提案書共に概ね達成できている。未達成項目については実現できるよう計画していくことを期待する。	得点 12
7. 利用者の声に係る評価 配点 18 利用者アンケート 配点 20	【所見】 講座毎に実施するアンケートや「意見箱」に寄せられた声にとどまらず、受付等に寄せられた些細な声も記録に残している。それらを参考に改善を行うなどしてセンター運営に役立っていることが、利用者の方の満足度を上げることにつながっていると考える。 講座の満足度も97%と高い評価を得ており、多くの利用者に支持されている。	得点 18	【所見】 利用者アンケートの満足度も非常に高く、センターとして魅力的な事業企画、施設運営に取り組んでいる。引き続き利用者のニーズをうまく取り入れながら、より多くの方が利用できるような環境づくりを期待する。	得点 18 18
			得点合計	169

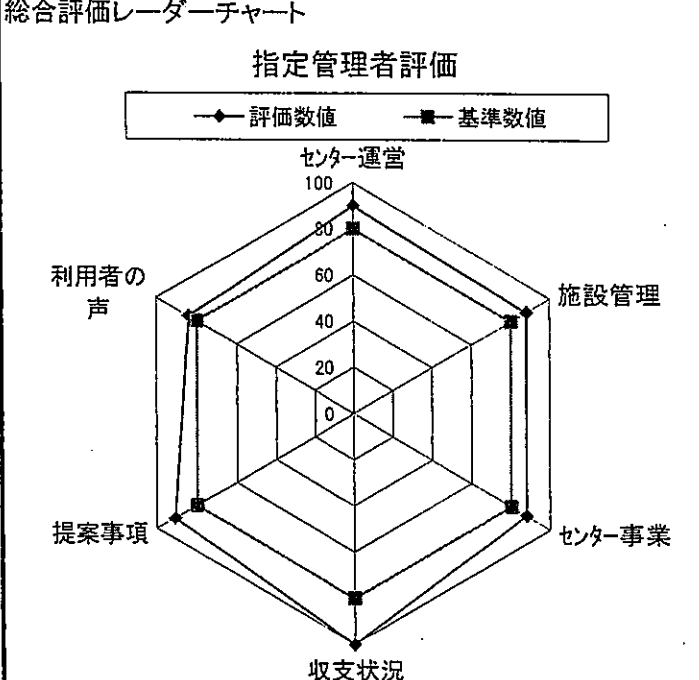
足立区生涯学習関連施設(学習センター)指定管理者総合評価シート

施設名：生涯学習センター

指定管理者名：あだち学びときずな創造事業体

評価項目	配点	自己評価 得点	評価委員会 得点
1. 運營業務の適正化とサービスの質の向上	30	29	29
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		0
2. 施設・設備の維持管理	15	15	15
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		0
3. 生涯学習センターにおける事業	42	41	40
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	10		6
4. 会計事務	6	6	6
5. 事業計画・提案書の達成度	12	11	11
6. 利用者の声に係る評価	18	18	16
利用者アンケート	15		12
<b>合計</b>	<b>152</b>		<b>135</b>

総合評価基準			
A+	100～95点	優れている	
A	94～86点		
A-	85～80点		
B+	79～75点	適正である	
B	74～66点		
B-	65～61点		
C	C	60点以下	改善を要する



評価点(100点満点) (評価委員会得点合計÷ 配点合計 × 100)	総合評価
88	A

評価対象期間	平成27年度	自己評価基準日	平成28年2月15日	区評価実施日	平成28年3月31日
--------	--------	---------	------------	--------	------------

足立区生涯学習関連施設(学習センター)指定管理者項目別評価表

施設名:生涯学習センター

項目	指定管理者自己評価		評価委員会評価	
		得点		得点
1. 運営業務の適正化とサービス 配点 30 【チャレンジポイント】 配点 2	【所見】お客様へ不適切な対応をした事例がありました。改めてお客様の立場に立った接客をするように再教育をいたしました。殺風景になりがちな1階ロビーや4階など、入館された方々に季節を少しでも感じていただけるよう、装飾、顔出し看板などを設置。来館された方が、その目的以外でも和める工夫をしています。	29	【所見】職員の接客に関する利用者からのクレームがあった。常に利用者目線に立った接客を心がけ、再発防止に努めてほしい。事故対策について、「事件・事故発生チャート」を作成し、事務室内に掲示している。その他、個人情報保護、コンプライアンス等についても適切な対策が講じられている。	29 0
2. 施設・設備の維持管理 配点 15 【チャレンジポイント】 配点 2	【所見】竣工後15年を経過し、施設の劣化などがみられますが、効率面等も考慮しながら、日常的に点検し、故障前の適時交換や補修を実施していきたいと思います。適時、河川敷のゴミ拾いを行っており、ゴミを放置させないことにより、河川敷斜面のたばこの吸い殻が減少しました。電気使用量を空調等の細かい調節により、前年度比マイナスを達成することが出来ました。	15	【所見】エネルギー消費の削減について、空調・換気設備を自動運転ではなく手動でこまめに運転させるなど、電気使用料を削減する工夫を行い、節電をしている。その他の施設維持管理業務についても適切に実施している。	15 0
3. 生涯学習センターにおける事業 配点 42 【チャレンジポイント】 配点 10	【所見】東京オリンピックを見据えた事業、高校との連携事業、夜間講座の定期開催など、新規、拡充事業を実施しました。また、数年前よりこどもの貧困対策として学習支援のタダゼミ(5年目)、居場所づくりの「小中学生のびのび広場」を継続実施しています。この2事業は重点事業の一つとして位置づけ、今後も実施していきます。	41	【所見】「あだち広報」の校正ミスが多くみられた。校正の方法を見直すなど、ミスを減らすための対策を講じてほしい。地域との交流について、一部の町会にとどまり、充分交流が出来ていなかった。事業の実施については、集客が難しい夜間にも積極的に事業を実施し、定員に近い参加者を集めている。	40 6
4. 会計事務 配点 6	【所見】経費については、必要な場合のみ執行するように稟議書等を活用して無駄を省いています。なお、本年度は夜の臨時職員が就職などのため離職したが、その補てんを結果的にしなかったこと(職員でカバーできている)、残業も前年に比べ微減していることから、人件費が大幅に減少したことにより、収支額の増加につながることができました。	6	【所見】会計事務は適正に処理されている。事業収入が大きく、黒字となっている。良質な講座の安定供給につないでいただきたい。	6
5. 事業計画・提案書の達成度 配点 12	【所見】提案はおおむね実施出来ていると思います。しかし、外部との連携や、実施に時間のかかるものを中心に未実施が残っています。関係づくりを含めて、地域をはじめとした外部との交流をすすめて、実施に努めたいと考えています。	11	【所見】職員研修に関する提案(特に基幹施設研修、外部研修)に未達成が多くみられた。次年度以降、可能なものから計画的に実施するようにしてほしい。また、施設のPR事業としての「出張広報活動」「商業施設との連携」などの提案についても未着手である。	11
6. 利用者の声に係る評価 配点 18 利用者アンケート 配点 15	【所見】コンシェルジュに加え、先取り情報コーナーにおいて、お客様のご意見や、要望等をお伺い出来る機会を設けています。実際には直接的にご意見を頂戴することは稀ですが、1階に在ること、お客様の動向を伺え、ニーズ等の把握に役立っています。	18	【所見】利用者からの苦情に対して適切に対応できず、問題を長期化させる事案があった。1階入口にコンシェルジュを配置し、4階ロビーにはご意見箱を設置して、利用者意見を受け付けやすい環境を整備している。ご意見箱への投函が少ないため、今後より多くの意見を収集できるよう工夫してほしい。	16 12
			得点合計	135

足立区生涯学習関連施設(学習センター)指定管理者総合評価シート

施設名: 竹の塚地域学習センター

指定管理者名: ヤオキン商事株式会社

評価項目	配点	自己評価 得点	評価委員会 得点
1. 運營業務の適正化とサービスの質の向上	30	30	29
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		2
2. 施設・設備の維持管理	15	14	13
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		2
3. 地域学習センターと地域体育館における事業	30	30	30
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	10		4
4. 図書館運営	33	33	30
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	10		6
5. 会計事務	6	6	6
6. 事業計画・提案書の達成度	12	11	11
7. 利用者の声に係る評価	18	18	18
利用者アンケート	20		16
<b>合計</b>	<b>188</b>		<b>167</b>

総合評価基準

A+	100~95点	優れている	
A	94~86点		
A-	85~80点		
B+	79~75点	適正である	
B	74~66点		
B-	65~61点		
C	C	60点以下	改善を要する

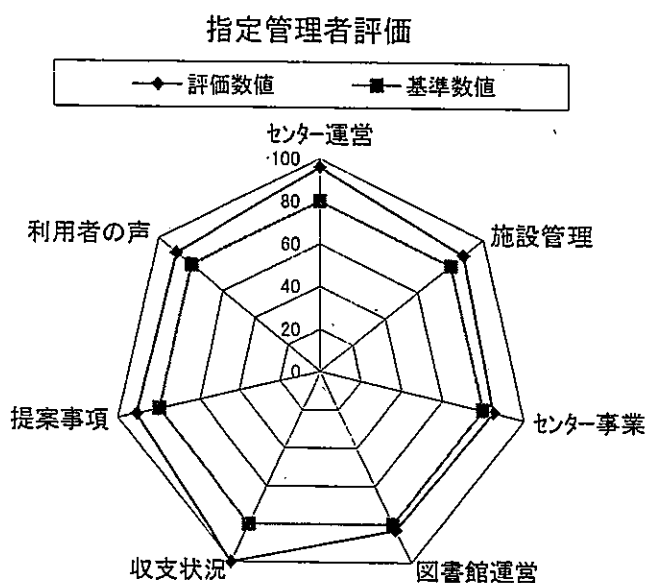
評価点(100点満点)  
(評価委員会得点合計 ÷  
配点合計 × 100)

**88**

総合評価

**A**

総合評価レーダーチャート



評価対象期間

平成27年度

自己評価基準日

平成28年2月15日

区評価実施日

平成28年3月31日

## 足立区生涯学習関連施設(学習センター)指定管理者項目別評価表

施設名:竹の塚地域学習センター

項目	指定管理者自己評価		評価委員会評価
1. 運營業務の適正化とサービス 配点 30 【チャレンジポイント】 配点 2	【所見】 指定管理者変更にもとない、サービスの質を低下させないことを主眼におき、まずはコンプライアンス強化を図り、仕様書・各種法令遵守のもと運営をスタートしました。新たにSNS(FB、twitter、LINE、HP)を立ち上げ、指定管理者の浸透および事業紹介により、積極的にサービス向上をPRしています。	得点	【所見】 コンプライアンスの知識について曖昧な部分があったため減点とした。 指定管理者交代の初年度であったが、経験者を活かした人員配置等の対応策を講じ、大きな苦情・トラブルもなく適切な管理運営を行った。テニスコートに隣接することから受付業務が多いが、入出金等のミスも少ない。
		30	得点 29 2
2. 施設・設備の維持管理 配点 15 【チャレンジポイント】 配点 2	【所見】 「安全・安心・快適空間」をモットーに、人的強化を図りました。竹の塚警察官OBを招聘し、安全面の強化と職員への警備対処法伝授。清掃員を増員し、駐車場管理職員同様に、適正配置と勤務時間を夕方まで延伸。壁面装飾や読書席の備品刷新とレイアウト変更により子どもや女性の来館者が増員しました。	得点	【所見】 駐車場の職員配置が仕様書通りでなかったことや、電気使用量が前年比11.7%増となったため減点とした。 設備専任職員を配置し、適切に管理を行うとともに館内環境の改善にも積極的に努めている。放置自転車や違法駐輪対策に次年度以降は積極的に取り組んで欲しい。
		14	得点 13 2
3. 地域学習センターと地域体育館における事業 配点 30 【チャレンジポイント】 配点 10	【所見】 高齢者の利用者が多い特性を考慮しながら、さらに子どもから成人まで多世代に向けた事業・イベントを大幅に実施してきました。73%の高い利用率の中、空いている時間帯や郊外事業も積極的に展開しました。●実績 学習室利用率73.3%(±0) センター利用者数125,239人+郊外349人(前年10,957人増)	得点	【所見】 ホールを活かした事業を多く開催し、音楽に触れる機会を積極的に提供した。学習室の利用率が高く確保が難しいことから、課外事業を増やす等の工夫もみられる。防災ウォーキングについては興味深い取り組みであるが、講師がセンター職員であり参加者数も伸びなかったため、今後の発展に期待したい。
		30	得点 30 4
4. 図書館運営 配点 33 【チャレンジポイント】 配点 10	【所見】 初年度ということで館内外のイメージの改善に注力した。階段を明るくし、閲覧席を一新、滞っていた除籍を進めて書架の見直しを行い、見通しがよく安全な図書館を目指した。特集棚を2→15に増やし、赤ちゃんから高齢の方までの読書推進を図った。ブックフェスタ、ビブリオバトルの実施を通して地域のお客様との交流を促進した。	得点	【所見】 館内のイメージ改善を提案し、閲覧席を一新した結果、新しい利用者層の開拓に結びついた。また、適切な除籍と購入希望により、書架の見直しにも積極的である。特集棚も多く、幅広い年齢層に対する読書推進にも熱心である。
		33	得点 30 6
5. 会計事務 配点 6	【所見】 本社経理担当者と連動した会計処理を実施し、定期的に公認会計士のチェックを受けております。指定管理初年度につき、制服代・消耗品の準備で経費がかかっております。節電・節水など省エネ対策も複合施設や利用者呼びかけ、全館あげて取り組んでいます。	得点	【所見】 指定管理初年度ということで経費がかかったものの、適切に管理されている。
		6	得点 6
6. 事業計画・提案書の達成度 配点 12	【所見】 提案事業は積極的に実施しております。「子ども商店街」「ブックフェア」「演劇コンクール」など多数の集客が見込めるイベント開催に向けての土台作りをしています。地域性も見えてきましたので、見合った事業の定番化と新規利用者(世代別)向け事業と、バランスよく開催していきます。	得点	【所見】 未実施の事業が複数あったため減点とした。商店街との取り組み等、準備に時間を要する提案もあることから、28年度は是非未達成の部分に取り組んでいただきたい。運營業務・施設維持管理に関しては概ね達成できている。
		11	得点 11
7. 利用者の声に係る評価 配点 18 利用者アンケート 配点 20	【所見】 日頃いただきますご意見・苦情内容から、地域特性が把握できました。複合施設と密に連携して、センター間の共有対処事例をバックボーンに、職員一同、誠意ある対応と毅然とした態度で臨んでいます。登録団体連合会役員会および利用者懇談会も貴重な提議の場として、一方的な説明に終始しないよう心がけております。	得点	【所見】 大きな苦情やトラブルもなく、適切に対応をしている。大規模複合施設であるため苦慮する点も多いが、今後も関係機関と連携して対応をお願いしたい。
		18	得点 18 16
得点合計			167



足立区生涯学習関連施設(学習センター)指定管理者総合評価シート

施設名: 新田地域学習センター

指定管理者名: 株式会社グランディオサービス

評価項目	配点	自己評価 得点	評価委員会 得点
1. 運営業務の適正化とサービスの質の向上	30	29	30
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		2
2. 施設・設備の維持管理	15	14	15
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		2
3. 地域学習センターと地域体育館における事業	30	29	29
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	10		2
4. 図書館運営	33	32	32
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	10		2
5. 会計事務	6	6	6
6. 事業計画・提案書の達成度	12	11	11
7. 利用者の声に係る評価	18	18	18
利用者アンケート	20		16
<b>合計</b>	<b>188</b>		<b>165</b>

総合評価基準

A+	100～95点	優れている
A	94～86点	
A-	85～80点	
B+	79～75点	適正である
B	74～66点	
B-	65～61点	
C	60点以下	改善を要する

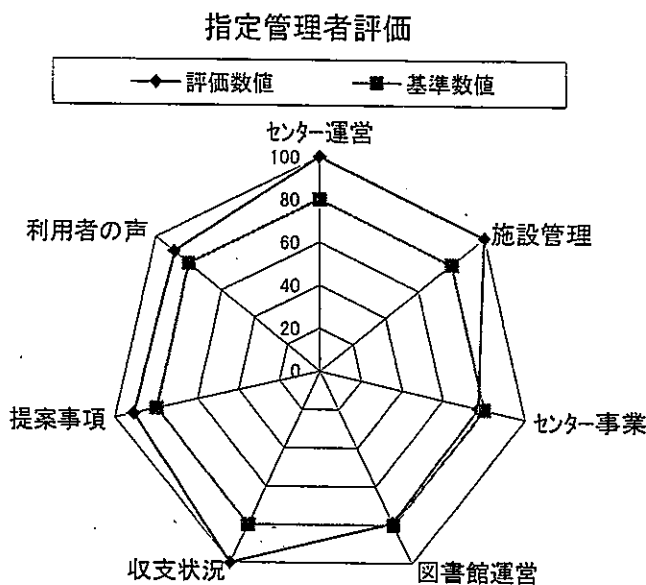
評価点(100点満点)  
(評価委員会得点合計÷  
配点合計×100)

**87**

総合評価

**A**

総合評価レーダーチャート



評価対象期間

平成27年度

自己評価基準日

平成28年2月15日

区評価実施日

平成28年3月31日

足立区生涯学習関連施設(学習センター)指定管理者項目別評価表

施設名:新田地域学習センター

項目	指定管理者自己評価		評価委員会評価	
	内容	得点	内容	得点
1. 運営業務の適正化とサービス 配点 30 [チャレンジポイント] 配点 2	【所見】 指定管理初年度にあたり、経験豊富な職員を配置し、運営の根幹となる基本業務の遂行を第一としました。館内の生涯学習情報の提供や総合受付案内、接遇など目に見える部分はもちろんのこと、内部的にも個人情報保護対策やコンプライアンス遵守を強化し、より一層のサービス向上と適正化に取り組みました。	29	【所見】 予定していた研修が実施できなかったという点はあるが、研修への意識は高いと判断した。外部講師を招いて接遇の研修を行っており今後職員のスキルアップに期待したい。事務室内の改善によりセンターと図書館の連携強化が図れたこと、ロビーの改善によりセンター全体が明るい雰囲気になり利用者同士の交流の場ができた。	30 2
2. 施設・設備の維持管理 配点 15 [チャレンジポイント] 配点 2	【所見】 清掃シフトの工夫や清掃箇所の見直し、区民との合同清掃など、今あるリソースを最大限に有効活用することで無用な費用をかけることなく館内・外の美化を推進しました。 鍵の取扱いにあたっては運用を正してこれまでになく厳重に管理しています。	14	【所見】 施設管理に関しては大きな事故もなく適切に管理されている。都営住宅に住む住民とセンター隣接部を清掃する「合同清掃隊」については、センターと最も近い住民と協力でき、また幅広い年齢層の方が参加していて今後のセンターへの利用につなげていただきたい。	15 2
3. 地域学習センターと地域体育館における事業 配点 30 [チャレンジポイント] 配点 10	【所見】 レクホールの高いニーズと、子どもたちが多く住む地域柄に特長のあるセンターです。bjリーグアカデミーによる低学年向け運動講座や夏休み学習スペース開放などを新規実施し、本数は多くないながらも有効な事業を提供できました。もう一つの特長である料理室の利用については内容・本数ともに継続的発展が望まれます。	29	【所見】 利用率、利用人数ともに昨年度より減少しているため減点とした。サークルに対してチラシ作りの手伝いをしたり、支援講座を開催したりと積極的に関わりが見られた。また、商店街との連携事業を継続して行い、良好な関係を築いている。今後も継続していただきたい。	29 2
4. 図書館運営 配点 33 [チャレンジポイント] 配点 10	【所見】 今年度は、館の状況把握、近隣との関係づくり重点を置きました。 読書推進事業は乳幼児から年配者まで幅広く、古文書講座やビブリオバトルのように多岐にわたり展開できました。次年度はさらに多くの皆さまにご満足いただけるように運営していきたい。	32	【所見】 古文書解説講座をはじめ、各年齢層に対する読書推進活動に一定の成果を得ている。今後は、必要に応じた除籍や積極的な買い替えをすすめることで資料管理に努めてほしい。	32 2
5. 会計事務 配点 6	【所見】 会計においては本社での厳重管理を基本とし、適正な会計事務を行っています。 事業では出来高払い制を取り入れたことで、ほぼ全ての講座において参加しやすい料金設定を行いながら収益確保を同時に図りました。消耗品の一括管理による経費削減にも努めています。	6	【所見】 適正な会計処理が行われている。 今後も経費削減に努めていただきたい。 人気のある黒字講座の収入で地域還元事業や利用者開拓事業などに充当できるようになるとよい。	6
6. 事業計画・提案書の達成度 配点 12	【所見】 学習センター事業に関する提案で未達成が複数ありました。受託1年目ということで一つずつ事業を積み重ねてきましたが、規模の大きな提案もあり順次取り掛かってまいります。 また地域や各団体との関係づくりを重点的に進め、連携事業も実施できました。次年度以降はさらなる新規事業の上乗せに取り組めます。	11	【所見】 指定管理初年度ということもあり、未達成の事業が見受けられた。今後実施に向けての取り組みに期待したい。大型の事業などは複数年の準備計画を立てるなどして実現に向けて取り組んでいただきたい。近隣との関係づくりに注力した結果、清掃隊結成などの実績をあげることができたと考えられる。	11
7. 利用者の声に係る評価 配点 18 利用者アンケート 配点 20	【所見】 窓口にお寄せいただいた利用者からの問い合わせの内訳は講座開催の要望が4割を占め、次点では団体・講師の紹介希望があわせて5割となっています。 その場で回答できるものを除いては記録簿に処理経過を取ってサービス向上のための材料としています。備品の不備に関する意見には速やかに対応しています。	18	【所見】 利用者からの意見・要望に対し、適切に対応されている。また、問い合わせ記録簿を整備し、アフターフォローや今後役に立っている。	18 16
得点合計				165

足立区生涯学習関連施設(学習センター)指定管理者総合評価シート

施設名：東和地域学習センター

指定管理者名：ヤオキン・ASCC共同事業体

評価項目	配点	自己評価 得点	評価委員会 得点
1. 運營業務の適正化とサービスの質の向上	30	29	29
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		2
2. 施設・設備の維持管理	15	15	15
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		0
3. 地域学習センターと地域体育館における事業	33	33	33
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	10		4
4. 図書館運営	33	33	30
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	10		2
5. 会計事務	6	6	6
6. 事業計画・提案書の達成度	12	11	11
7. 利用者の声に係る評価	18	18	18
利用者アンケート	20		14
合計	191		164

総合評価基準

A+	100～95点	優れている
A	94～86点	
A-	85～80点	
B+	79～75点	適正である
B	74～66点	
B-	65～61点	
C	60点以下	改善を要する

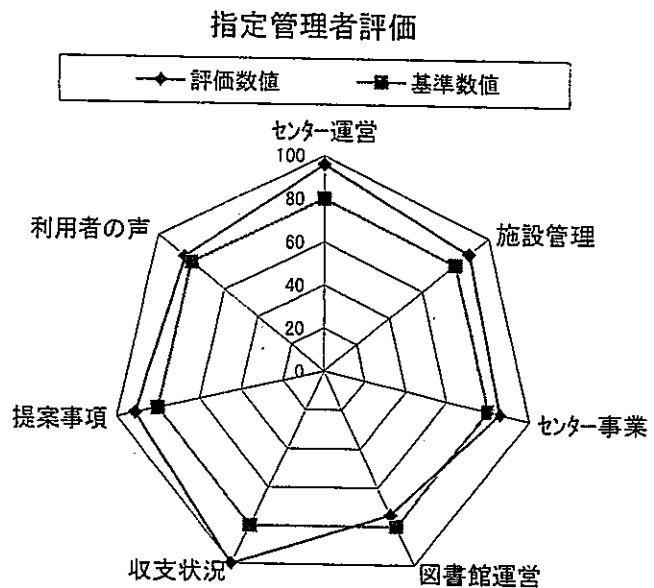
評価点(100点満点)  
(評価委員会得点合計÷  
配点合計×100)

85

総合評価

A-

総合評価レーダーチャート



評価対象期間

平成27年度

自己評価基準日

平成28年2月15日

区評価実施日

平成28年3月31日

足立区生涯学習関連施設(学習センター)指定管理者項目別評価表

施設名: 東和地域学習センター

項目	指定管理者自己評価		評価委員会評価	
1. 運営業務の適正化とサービス 配点 30 [チャレンジポイント] 配点 2	【所見】 全職員の情報を連絡ノートで共有しています。また、各種研修と本社においての階層別研修・各分野別研修を行って職員のスキルアップを図っております。特に個人情報の取り扱いについては、見直しを行い管理の徹底を図りました。	得点 29	【所見】 施設受付の件数は比較的多いものの、事務的な大きなミスはなく業務を行うことができている。改修工事に伴う予期せぬ対応についても、積極的な対応、利用者周知を行っている点について評価ができる。	得点 29 2
2. 施設・設備の維持管理 配点 15 [チャレンジポイント] 配点 2	【所見】 第1期改修工事が始まりました。開館しながらの工事ですので、利用者様の安全確保と工事中でもご利用しやすいように職員一同心掛けております。特に施設設備に関しては経年劣化が激しいので、設備員・職員の巡回等で破損や不具合などないか毎時間チェックしており、発見した場合は迅速な対応を適切にしております。	得点 15	【所見】 施設の老朽化により、難しいリスクマネジメントを行っていく必要があるが、必要に応じた対応を行うことができていた。	得点 15 0
3. 地域学習センターと地域体育館における事業 配点 33 [チャレンジポイント] 配点 10	【所見】 アンケートで親子事業の要望が多く、親子料理教室など親子の絆作り事業に取り組んでいます。さらに、広いロビーを利用した子ども事業と将棋を中心とした高齢者の絆作り事業にも取り組んでおります。また毎年、語学講座からのサークル化を目指しており、今年度もサークルとして活動をはじめました。	得点 33	【所見】 地域の人材活用にも積極的であり、区民講師の要望にも応えつつ、講座実施に繋げている点について評価できる。 事業については、子育て関係や高齢者向けの講座が好評であり、フリースペースを有効に活用した事業も展開している。	得点 33 4
4. 図書館運営 配点 33 [チャレンジポイント] 配点 10	【所見】改修工事に関する諸々の準備が今年度最大の課題である。書架の重量に対する床の耐久性や書架間の広さなどを考慮し移設可能な書架を配置した。同時に、新規開館を想定し、当館裏の芸大寮の学生の利用増を狙い、7門大型の資料について新たに選書をお願いしている。また、利用者用インターネット端末の移設により苦情がほぼ皆無になった。	得点 33	【所見】 利用者に向けた館内の特集コーナーの取り組み(テーマの決め方、ディスプレイの方法)をもっと工夫し、積極的な情報発信をして貸出に繋げたい。学校出張お話しは昨年比で活発であった。また、掃除の頻度が少ないため、書架の後ろに埃がたまりやすい。リニューアルオープン後は綺麗な図書館を維持してほしい。	得点 30 2
5. 会計事務 配点 6	【所見】 帳簿の収支は毎月本社に報告、経理担当者が管理、公認会計士のチェックを受けて適正な管理を行っています。	得点 6	【所見】 本社経理担当の下、会計事務は適切に行われている。 昨年度は収支がマイナスとなっていたが、運営の効率化などにより収支の改善がみられた。	得点 6
6. 事業計画・提案書の達成度 配点 12	【所見】 提案書の自主事業に関しまして、未達成のものがあります。改修工事に入りますが、改修後すぐに達成できる体制を作っていきます。	得点 11	【所見】 提案された自主事業についてはいくつか見受けられたが、「スポーツマネジメント入門」については実現された。改修終了後に向けて事業の計画を進めていただきたい。	得点 11
7. 利用者の声に係る評価 配点 18 利用者アンケート 配点 20	【所見】 利用者懇談会、受付窓口、1階ホールの「ご意見ボックス」で利用者様の声を寄せやすい環境を整えております。また、ホームページからの問い合わせが多く寄せられており、迅速に対応しております。	得点 18	【所見】 施設の老朽化に伴う備品要望が多く寄せられており、使用に耐えられないものについては、随時対応を行っている。 また、近隣住民からも含め、改修に伴う今後の施設の営業等に関する問合せも多く、利用者への周知などを積極的に行っている。	得点 18 14
			得点合計	164

足立区生涯学習関連施設(学習センター)指定管理者総合評価シート

施設名：伊興地域学習センター

指定管理者名：株式会社グランディオサービス

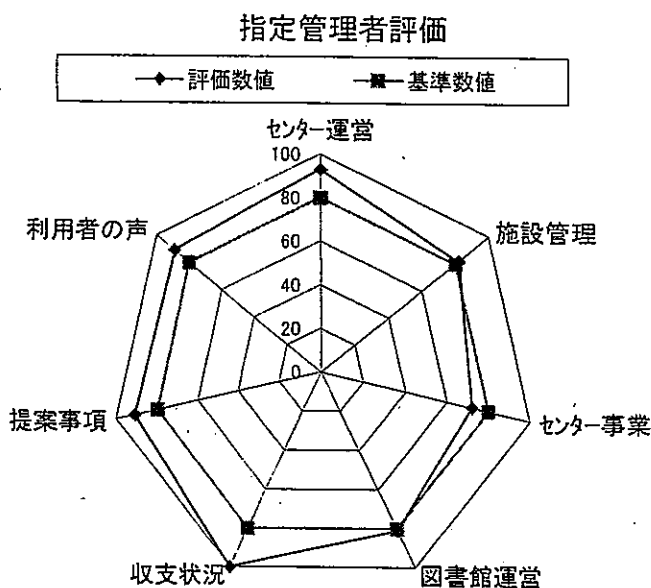
評価項目	配点	自己評価 得点	評価委員会 得点
1. 運営業務の適正化とサービスの質の向上	30	30	30
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		0
2. 施設・設備の維持管理	15	14	14
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		0
3. 地域学習センターと地域体育館における事業	33	31	31
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	10		0
4. 図書館運営	33	32	31
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	10		4
5. 会計事務	6	6	6
6. 事業計画・提案書の達成度	12	11	11
7. 利用者の声に係る評価	18	18	18
利用者アンケート	20		16
合計	191		161

総合評価基準

A+	100～95点	優れている
A	94～86点	
A-	85～80点	
B+	79～75点	適正である
B	74～66点	
B-	65～61点	
C	60点以下	改善を要する

評価点(100点満点) (評価委員会得点合計÷ 配点合計 × 100)	総合評価
<b>84</b>	<b>A-</b>

総合評価レーダーチャート



評価対象期間	平成27年度	自己評価基準日	平成28年2月15日	区評価実施日	平成28年3月31日
--------	--------	---------	------------	--------	------------

## 足立区生涯学習関連施設(学習センター)指定管理者項目別評価表

施設名:伊興地域学習センター

項目	指定管理者自己評価		評価委員会評価
1. 運営業務の適正化とサービス 配点 30 [チャレンジポイント] 配点 2	【所見】 昨年度の研修はOJT中心であったが、今年度は外部講師を招いての接遇研修も行い、伊興からは地域学習センターと図書館合わせて17名が参加した。今後も並行してOJTも行い、職員の意識向上に力を入れていきたい。	得点	【所見】 職員研修に関しては外部講師を招き、多くの職員が参加するなど積極的な姿勢が伺えた。また、現在は回覧のみとなっている他センターでの事故事例を職員討議に使うなど、積極的に活用してほしい。 ミニコミ紙のリニューアルに伴い、更なる内容の充実にも努めていただきたい。
		30	得点 30
2. 施設・設備の維持管理 配点 15 [チャレンジポイント] 配点 2	【所見】 7月以降の水道使用量はここ2、3年と比較しても少ない量で推移している。屋外の外灯が不点灯の箇所があったが、LEDの外灯に交換していただいたので明るくなり、消費電力も抑えられるようになった。電力も使用量が削減されている。	得点	【所見】 エレベーター機械室への漏水によりエレベーターが数日停止した。水道使用料の推移の観察等により早期発見や防止の可能性もあったため減点とした。上記の事故を受け、水道メーターの確認や巡回の強化をし、施設管理の意識を全職員共通で高めている。継続して適切な施設管理に努めていただきたい。
		14	得点 14
3. 地域学習センターと地域体育館における事業 配点 33 [チャレンジポイント] 配点 10	【所見】 体育館ではスポーツカーニバルでビーチボールバレーに取り組んだり、バスケットボールの講座を行うなど伊興では行ったことのないスポーツ講座に取り組んだ。 学習室でできる料理講座や館外で行う料理講座は、今後も継続して行っていきたい。	得点	【所見】 登録団体が2団体減ったことや一般団体の利用も減ったことが利用率減の原因と考えられる。特に夜の利用率が低いこと、対策を検討していただきたい。
		31	得点 31
4. 図書館運営 配点 33 [チャレンジポイント] 配点 10	【所見】 お客様にとって、より便利に、また魅力ある書架作りのため、所蔵資料の点検整備及び見出し等の見直しを重点的に行った。また、安心してご利用頂けるための業務改善として、環境整備、音響整備、より実践的な研修の実施等を行った。今後も業務向上に取り組んでいきたい。	得点	【所見】 年度当初、基本業務処理の不手際が散見された。利用者より接遇面の苦情、ご指摘もいただいた。その後、館の業務・接遇研修を重ね改善されつつある。 開催事業については、各世代へのアプローチを意識した取り組みが評価できる。
		32	得点 31
5. 会計事務 配点 6	【所見】 会計事務の軽減のため、地域学習センターと図書館の小口現金を統合した。出納簿にはこまめに入力している。センターで入力後、本社経理担当者が確認をしている。連絡も定期的に行うことによってミスのないよう適正に処理している。	得点	【所見】 会計管理は適正に処理されている。今後も経費削減のため工夫を積極的に行ってほしい。
		6	得点 6
6. 事業計画・提案書の達成度 配点 12	【所見】 非常時に簡易トイレとして利用できるコーナーチェアをエレベーター内に設置した。ソーシャルネットワークを利用した、広報活動を開始した。読書さんの参加者の安定化、レビュー合戦も定着しつつある様子が伺え、今後大人向け事業の拡大も視野に入れ検討していきたい。	得点	【所見】 指定管理初年度ということもあり、事業に関する提案については未達成のものも見られた。今後確実に実施するため準備を早々に始めていただきたい。
		11	得点 11
7. 利用者の声に係る評価 配点 18 利用者アンケート 配点 20	【所見】 高齢者が対象の講座は午前中に行うことが多かったが、病院に行くなどの理由で午後の方がいいと言うご意見を踏まえて、高齢者向け講座午後に行った所、定員を超える応募があった。	得点	【所見】 大きな苦情もなく、適正な対応をしている。高齢者向け事業を午後に設定して成功したことは、利用者の生の声をうまくとらえることの好例と考えられる。今後も柔軟な対応をお願いしたい。
		18	得点 18
			16
得点合計			161

足立区生涯学習関連施設(スポーツ施設)指定管理者総合評価シート

施設名: 千寿本町小学校温水プール

指定管理者名: フクシ・高橋工業プール管理共同体

評価項目	配点	自己評価 得点	評価委員会 得点
1. 運營業務の適正化とサービスの質の向上	30	30	30
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		0
2. 施設・設備の維持管理	15	15	15
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		2
3. スポーツ施設における事業	27	27	27
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	10		8
4. プール施設の管理運営	9	9	9
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		0
5. 会計事務	6	6	6
6. 事業計画・提案書の達成度	12	12	12
7. 利用者の声に係る評価	13.5	13.5	13.5
利用者アンケート	15		12
<b>合計</b>	<b>143.5</b>		<b>134.5</b>

総合評価基準

A+	100~95点	優れている	
A	94~86点		
A-	85~80点		
B+	79~75点	適正である	
B	74~66点		
B-	65~61点		
C	C	60点以下	改善を要する

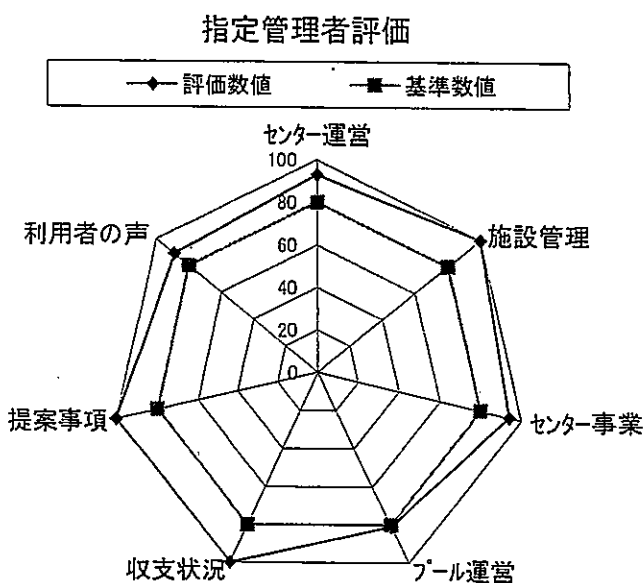
評価点(100点満点)  
(評価委員会得点合計÷  
配点合計×100)

93

総合評価

A

総合評価レイザーチャート



評価対象期間

平成27年度

自己評価基準日

平成28年3月31日

区評価実施日

平成28年3月31日

足立区生涯学習関連施設(スポーツ施設)指定管理者項目別評価表

施設名:千寿本町小学校温水プール

項目	指定管理者自己評価		評価委員会評価	
		得点		得点
1. 運営業務の適正化とサービスの質の向上 配点 30 (チャレンジポイント) 配点 2	【所見】 「安全を守る」ための啓発活動を毎回のミーティングで話し、職員の意識を高めた。 安全な水泳教室を実施するため事前安全教育を行ったり参加者数に合わせた指導員数を確保して運営しています。	30	【所見】 ミーティング・朝礼や終礼時を活用し、スタッフが施設の管理運営・サービスの向上等に意識を高めている。	30  0
2. 施設・設備の維持管理 配点 15 (チャレンジポイント) 配点 2	【所見】 館内の安全ばかりでなく今回より館外周辺の安全や衛生にも注意を払うよう職員に啓発活動や実践をおこなった。	15	【所見】 警備員資格・救助員資格の取得者を増やし、施設の維持管理に積極的に取り組んでいる。(現在、警備員資格者8名)	15  2
3. スポーツ施設における事業 配点 27 (チャレンジポイント) 配点 10	【所見】 足立区の障がい者スポーツ月間の取組みにちなみ千住温水プールでも障がい者を3日間おこなった。 指導をおこなった千寿本町小が区内小学校水泳大会で総合優勝をした。	27	【所見】 お客さまのニーズに応えるよう事業の追加等柔軟に対応している。 施設利用者の拡大として、夜間時間帯の新事業を実施している。	27  8
4. プール施設の管理運営 配点 9 (チャレンジポイント) 配点 2	【所見】 館内巡回点検を繁忙日等15～30分に1回行い、安全確認を行っている。 盗難件数0件を継続しています。 プールで水質維持のため機械室員と監視員の連携を強化しきれいな水を提供している。	9	【所見】 快適に利用できるよう、日常や定期的に検査等が行われ、水質の管理が行き届いている。 プールの監視員など適正な人員が配置され、安全に利用できるよう体制が組まれている。	9  0
5. 会計事務 配点 6	【所見】 ゴミ分別の徹底や量を減らすことでゴミ処理費用を3割低減できました。またトイレットペーパーを再生紙に変更したりパンフレット印刷を安価な業者にしたり経費削減に努めました。	6	【所見】 会計事務処理について適切に行われている。	6
6. 事業計画・提案書の達成度 配点 12	【所見】 足立区が力を入れている障がい者スポーツ月間に千住温水プールでも水泳教室を展開した。 オリンピックにちなみ、競技をめざす水泳教室の展開も計画中です。	12	【所見】 事業計画、達成度ともに達成されている。	12
7. 利用者の声に係る評価 配点 13.5 利用者アンケート 配点 15	【所見】 ご意見に対する回答と改善策の段取りを常に迅速に行っている。 お客様から賞賛もいただいている。	13.5	【所見】 意見・苦情等の対応手順が明確になっており、スピーディーに対応している。 利用者アンケートでは、基本項目(5項目)がすべて90%以上の満足度となっている。	13.5  12
得点合計				134.5



足立区生涯学習関連施設(スポーツ施設)指定管理者総合評価シート

施設名: 東綾瀬公園温水プール

指定管理者名: TM・アズビル共同事業体

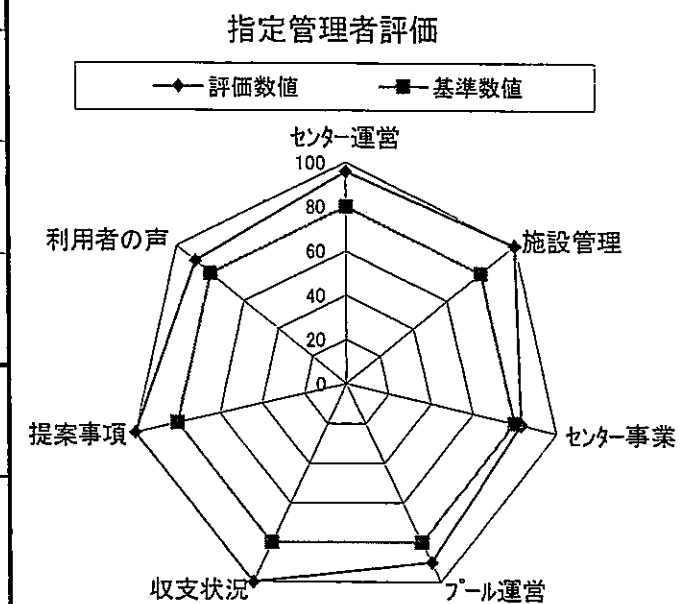
評価項目	配点	自己評価 得点	評価委員会 得点
1. 運營業務の適正化とサービスの質の向上	30	30	29
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		2
2. 施設・設備の維持管理	15	15	15
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		2
3. スポーツ施設における事業	27	27	27
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	10		4
4. プール施設の管理運営	9	9	8
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		2
5. 会計事務	6	6	6
6. 事業計画・提案書の達成度	12	12	12
7. 利用者の声に係る評価	13.5	13.5	13.5
利用者アンケート	15		12
<b>合計</b>	<b>143.5</b>		<b>132.5</b>

総合評価基準

A+	100~95点	優れている
A	94~86点	
A-	85~80点	
B+	79~75点	適正である
B	74~66点	
B-	65~61点	
C	60点以下	改善を要する

評価点(100点満点) (評価委員会得点合計÷ 配点合計×100)	総合評価 (A・B・C)
<b>92</b>	<b>A</b>

総合評価レイザーチャート



評価対象期間	平成27年度	自己評価基準日	平成28年3月31日	区評価実施日	平成28年3月31日
--------	--------	---------	------------	--------	------------

足立区生涯学習関連施設(スポーツ施設)指定管理者項目別評価表

施設名: 東綾瀬公園温水プール

項目	指定管理者自己評価		評価委員会評価	
	内容	得点	内容	得点
1. 運営業務の適正化とサービスの質の向上 配点 30  (チャレンジポイント) 配点 2	【所見】 運営方針とスローガンはミニコミ紙や館内掲示にて周知し、朝礼・終礼時等には唱和し認識を高め、社内研修や全体ミーティングでは、より良いサービスを提供するために情報を共有し、課題や解決策に全員が積極的に取り組んでいます。 また利用者のニーズに応じた多様なサービスや事業を展開し、利用者数やサービスの向上に努めました。本年度はホームページも立ち上げました。	30	【所見】 ・事務分担が明確で、二重チェック機能がされており、スムーズに事務処理が行われている。 ・定期的なスタッフミーティングの開催、日々の連絡ノート等での情報共有化が図れ、スタッフの接客・スキルアップ・コンプライアンスの研修等も行っているが、プール監視員の所作等について、苦情があったことは残念である	29  2
2. 施設・設備の維持管理 配点 15  (チャレンジポイント) 配点 2	【所見】 保守点検は仕様書に沿い、実施計画表に基づき実施しています。日常点検では定期巡回点検を強化し、不審者や不具合等を早期発見、早期対応し、職員への通達を行い必要な対応を行っています。また所管には常に迅速に報告を行い、良好な設備環境と安全性を確保しています。	15	【所見】 ・施設の日常及び定期的な清掃、点検等は適切に行われている。また、防火対策も管理計画の基、整備されている。 ・来館者の多い時期については、駐輪場整備員を配置し、安全性を高めている。	15  2
3. スポーツ施設における事業 配点 27  (チャレンジポイント) 配点 10	【所見】 スポーツ振興計画や事業計画に沿い、子どもから高齢者までの幅広い層が参加できる事業を実践しております。また、アンケートによるニーズや要望等を反映しながら、参加者の顧客満足度を高められるように努めています。プール事業に拘らず、2Fフロアや公園周辺を活用した事業や催事イベント、障がいのある方への支援活動・地域の絆づくり事業にも取り組みました。	27	【所見】 ・地域連携、大学連携等の事業実施、障がい者スポーツの推進に積極的に取り組んでいる。 ・事業PRのチラシ作成で、色使いやレイアウトが統一されており、とても見やすく工夫されている。	27  4
4. プール施設の管理運営 配点 9  (チャレンジポイント) 配点 2	【所見】 プール水質管理は水質判定基準値の保持に努め、安全第一を最優先とし、事故防止や緊急時を想定した訓練等も行い安全対策に努めています。全職員は職務に精通しており、利用者の立場に立って、常に安全・安心・快適な施設の空間づくりに努力しています。	9	【所見】 ・利用者が快適に利用できるよう日常及び定期的な点検・水質管理が行われている。また、適正なスタッフが配置され、監視・巡回等の対策を講じているが、ロッカー荒しが起きたことは残念である。	8  2
5. 会計事務 配点 6	【所見】 帳簿や領収書類は整理・管理を徹底し不透明なところがないようにしています。定期的に公認会計士等の専門家に会計事務のチェックを受け、間違いがないようにしています。2社以上の見積もり実施と共同購入。柔軟なシフト制による人件費の削減。また現場では、事業管理表や1日の売上げは、複数でチェックを行い、間違いのないようにしています。収入は必ず金庫で保管し入金日には再確認し、銀行に入金しています。	6	【所見】 会計事務処理については適正に行なわれている。	6
6. 事業計画・提案書の達成度 配点 12	【所見】 事業計画や提案書に沿って、子ども向けから高齢者向けまでライフステージ別に計画的に実施できています。多くの教室事業や催事イベント、障がいのある方の支援活動、ノルディックウォーキング教室などは参加者からご好評を得ております。施設は分かりやすくを念頭に、利用者の立場で安全・安心・快適な施設づくりに心がけ運営管理を行っています。	12	【所見】 ・事業計画、提案書ともにほぼ達成している。未実施部分の提案等は今後に期待する。	12
7. 利用者の声に係る評価 配点 13.5  利用者アンケート 配点 15	【所見】 ご意見箱を設置し、常に利用者からの要望や意見・苦情をくみ取り、迅速に対応し、寄せられた苦情や意見には前向きに耳を傾け、真摯に受け止めて、できるものから順に改善に努めています。教室開催後には、アンケート調査を行い、参加者の要望や意見をくみ取り、ニーズに合った、より良いものを提供できるようにしています。	13.5	【所見】 ・苦情対応のマニュアルが整備され、迅速な対応に心がけている。 ・利用者アンケートで施設の整理整頓・道具の不備・案内掲示についての満足度が、80%以下である。施設の老朽化もあるが、努力を期待する。	13.5  12
得点合計				132.5

足立区生涯学習関連施設(スポーツ施設)指定管理者総合評価シート

施設名: 総合スポーツセンター

指定管理者名: ミズノ・日立ビスシステム・ウエルネスサプライグループ

評価項目	配点	自己評価 得点	評価委員会 得点
1. 運営業務の適正化とサービスの質の向上	30	30	29
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		2
2. 施設・設備の維持管理	15	15	15
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		0
3. 全区スポーツ施設における事業	33	32	32
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	10		6
4. プール施設の管理運営	9	9	9
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		0
5. 会計事務	6	6	6
6. 事業計画・提案書の達成度	12	12	12
7. 利用者の声に係る評価	13.5	12	10.5
利用者アンケート	15		12.0
<b>合計</b>	<b>149.5</b>		<b>133.5</b>

総合評価基準

A+	100~95点	優れている
A	94~86点	
A-	85~80点	
B+	79~75点	適正である
B	74~66点	
B-	65~61点	
C	60点以下	改善を要する

評価点(100点満点)  
(評価委員会得点合計 ÷  
配点合計 × 100)

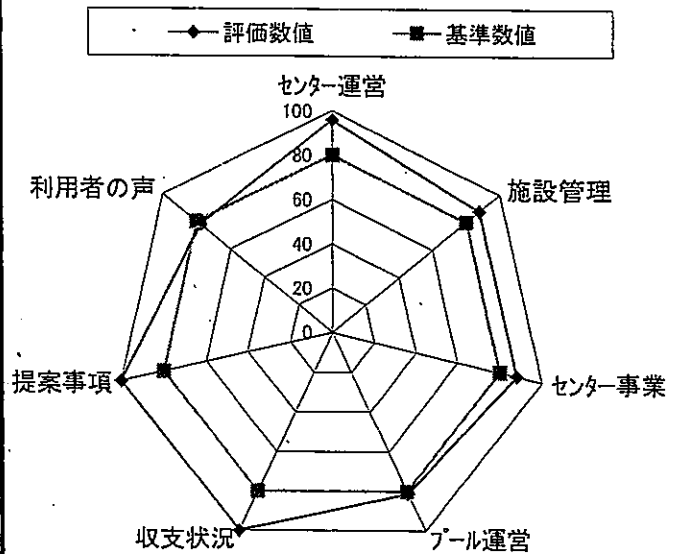
**89**

総合評価

**A**

総合評価レイザーチャート

指定管理者評価



評価対象期間

平成27年度

自己評価基準日

平成28年3月31日

区評価実施日

平成28年3月31日

足立区生涯学習関連施設(スポーツ施設)指定管理者項目別評価表

施設名:総合スポーツセンター

項目	指定管理者自己評価	評価委員会評価	
1. 運営業務の適正化とサービスの質の向上 配点 30  (チャレンジポイント) 配点 2	【所見】 ・6月の休館日はスタッフ全員出勤で、防災訓練と全体教育をおこないました。防災訓練には、登録団体9団体22名様にも参加していただき、通常使用されている施設からの避難経路の確認と避難訓練を体験していただきました。日立ビルシステムの講師とした消火器の操作体験、アスレームスタッフ職員によるAEDの講習にも参加いただき有意義な訓練ができました。	【所見】 ・全スタッフが受付業務、電話応対、スポーツ用品売店の簡単な用品説明ができるようにOJT教育を行っている点を評価する。 ・施設内のポスター掲載担当を設けることにより、施設全体のポスター掲示のバランスがとれて、見やすくなるとともに状態等の管理が行き届いている ・広域(5箇所の住区センター)にわたり、事業に関するチラシを配布するなど、積極的な広報活動を評価する。	
	得点	得点	
	30	29	
2. 施設・設備の維持管理 配点 15  (チャレンジポイント) 配点 2	【所見】 ・近隣住民の方より、総合スポーツセンター周辺の道路上での煙草の喫煙、ポイ捨てや施設内樹木の落葉による排水口の詰まりなどの問題提起があり、対応策として、グランドシルバースタッフによる周辺道路の毎日清掃の実施と、運営スタッフによる土、日、祝日の施設周辺道路への巡回を行い、煙草のポイ捨て禁止の注意喚起や、ゴミ拾いを実施し環境美化に努めました。	【所見】 ・ジャングルジムの破損箇所をすみやかに発見し、事故を未然に防止したことを評価する。 ・施設駐輪場出入口の閉鎖時期について、施設の営業時間が終了後に行うことを徹底していただきたい。 ・悪質な悪戯について警察に通報し、当事者が学生の場合は学校と連携を図ること。 ・施設周辺の歩行通路の定期的な清掃、喫煙者の注意などを継続していただきたい。	
	得点	得点	
	15	15	
3. 全区スポーツ施設における事業 配点 33  (チャレンジポイント) 配点 10	【所見】 ・平成26年度に初めて開催したテニス教室を、3期開催と増やし、内容も初心者、ステップアップの2コースとして開催しました。受講生もすぐに定員に達する人気教室となり、好評でした。秋には、受講生が、テニス協会へ団体登録をすることになりました。	【所見】 ・子どもスポーツフェスティバルを開催し、子どもたちの運動に対する関心度を高めることができた。 ・話題性の高い種目であるテニス教室をクラス別に開催。定員に達したことを評価する。 ・施設情報誌に豆知識を豊富に盛り込んでいることを評価する。 ・全スタッフがお客様に適切なアドバイスができるように商品知識の習熟に努めていることを評価する。	
	得点	得点	
	32	32	
4. プール施設の管理運営 配点 9  (チャレンジポイント) 配点 2	【所見】 ・安全を最優先事項ととらえ、プール運営をしています。運営スタッフ、監視員全員がプール開業前の2日間でCPR、一次救命処置のプール実技、監視法についてOJT研修・教育を受講し事故なく運営できました。	【所見】 ・プールサイドの床が日差しで熱くなる前に散水を行っていただきたい。 ・プールにゴミ箱を設置することにより、ゴミ投棄が減少し、プール施設内の衛生環境を維持することができた。	
	得点	得点	
	9	9	
5. 会計事務 配点 6	【所見】 ・収入面では、自主事業は昨年同様の結果でした。講座の種類、回数などを増やす事はほぼ限界にきており、参加者数、参加率の増加を目指していきます。売店では、シューズ、ウェアの試履、試着のイベントが好評で売上増に貢献できました。光熱水費は委託料以内で運営できました。	【所見】 ・収支について、適切な会計処理が行われている。 ・可能な限り、自主事業を開催していただきたい。 ・売店での試履、試着、試飲などの企業努力をおこない、利用者のニーズに合った商品供給を継続して行っていただきたい。 ・利用者に支障がない程度で節水、節電に継続して取り組んでいただきたい。	
	得点	得点	
	6	6	
6. 事業計画・提案書の達成度 配点 12	【所見】 ・昨年度、実施できなかった「個人情報の保護」「コンプライアンス」「利用者も参加しての防災訓練」などを実施できました。昨年度に引き続き実施できずにある案件については、次年度の課題として取り組んでいきます。	【所見】 ・利用可能な空きスペースにて事業実施を行い、施設運営の効率化を図っている点を評価する。 ・水泳教室については今後も需要に応じて開催日数を増やしていただきたい。 ・レベル別のテニス教室を開催するなど、工夫を凝らし、利用者のニーズに応えたことを評価する。 ・利用者を含めた防災訓練のほかにAED講習を行ったことについて評価する。	
	得点	得点	
	12	12	
7. 利用者の声に係る評価 配点 13.5 利用者アンケート 配点 15	【所見】 ・利用者からのご意見・ご要望に対しては出来る限りのスピード感も持って対応するように心掛けしました。また、近隣住民へのご意見にも配慮し、スポーツ振興課と共同し対応しました。	【所見】 ・施設内にある樹木の早期剪定、早朝夜間のボール蹴りの禁止などの近隣住民からのクレーム、トレーニングルームの運用方法など、施設運営に関する課題について、所管課と協議のうえ、適切な対応を随時行なっていることを評価する。	
	得点	得点	
	12	10.5	
		得点合計	133.5

足立区生涯学習関連施設(スポーツ施設)指定管理者総合評価シート

施設名: 竹の塚温水プール・体育館

指定管理者名: TM・アズビル共同事業体

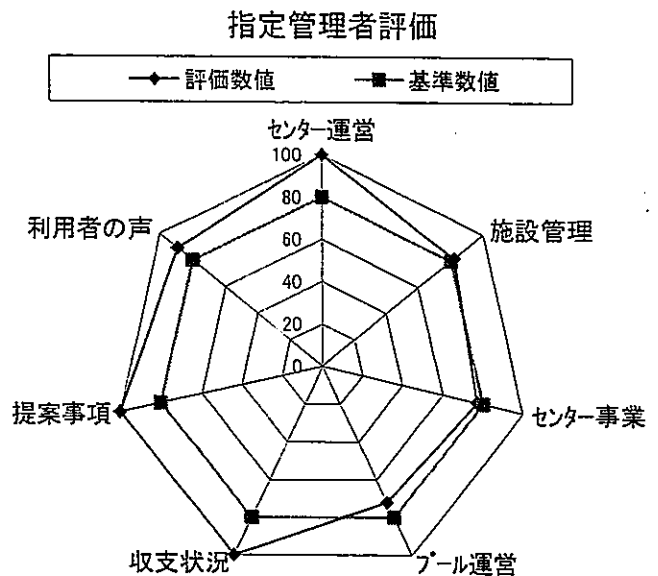
評価項目	配点	自己評価 得点	評価委員会 得点
1. 運營業務の適正化とサービスの質の向上	30	30	30
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		2
2. 施設・設備の維持管理	15	15	14
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		0
3. スポーツ施設における事業	30	30	29
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	10		2
4. プール施設の管理運営	9	9	8
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		0
5. 会計事務	6	6	6
6. 事業計画・提案書の達成度	12	12	12
7. 利用者の声に係る評価	13.5	13.5	12
利用者アンケート	15		13.5
<b>合計</b>	<b>146.5</b>		<b>128.5</b>

総合評価基準

A+	100~95点	優れている
A	94~86点	
A-	85~80点	
B+	79~75点	適正である
B	74~66点	
B-	65~61点	
C	60点以下	改善を要する

評価点(100点満点) (評価委員会得点合計÷ 配点合計 × 100)	総合評価
<b>87</b>	<b>A</b>

総合評価レイザーチャート



評価対象期間	平成27年度	自己評価基準日	平成28年3月31日	区評価実施日	平成28年3月31日
--------	--------	---------	------------	--------	------------

足立区生涯学習関連施設(スポーツ施設)指定管理者項目別評価表

施設名:竹の塚温水プール・体育館

項目		指定管理者自己評価		評価委員会評価	
1. 運営業務の適正化とサービスの質の向上 配点 30	(チャレンジポイント) 配点 2	【所見】「安全・清潔・コミュニケーション」という3ポリシーを基本方針とし、運営管理や業務を行い、安全かつ安心してご利用いただける施設として日々努めています。その成果として年間を通し、大きな事故等はありませんでした。また、お客様の声やご要望等を基により良い環境づくりに努めています。	30	【所見】 日々のAED訓練や他センターと合同で接客研修を行うなど、事故防止、利用者サービス、業務レベルの向上を積極的に図っている。	得点
					30
2. 施設・設備の維持管理 配点 15	(チャレンジポイント) 配点 2	【所見】日常点検だけでなく、設備とのミーティングを行い、機械設備の情報を確認し不具合箇所の早期発見、対応に努めています。その他、備品等の清掃点検、修理などをセクションごとに行い、修理、交換を早い段階で実施しています。これによりお客様が快適に施設を利用されるように心掛けています。	15	【所見】 日常及び定期的な清掃、点検等が行われているが、施設の老朽化による機械設備の不具合が発生している。今年度は、6日間の営業中止となるボイラーの故障が発生した。今後は、更なる徹底的な点検や整備が必要である。	得点
					14
3. スポーツ施設における事業 配点 30	(チャレンジポイント) 配点 10	【所見】昨年に引き続き、恒例の自治会まつりへの参加協力の他に講師派遣。子ども体力向上、スキルアップ事業や中高年へは話題の骨盤を中心とした事業を新たに開催しました。また、トップアスリート招聘事業として卓球元全日本代表によるクリニックを開催し100名の参加がありました。	30	【所見】 トレーニングルームを活用した事業(パーソナルトレーニング)において、利用者の苦情につながった。開催曜日・時間帯などを見直しを検討すべきである。体育館、トレーニングルームの利用者数は前年度より増加したが、プール利用者が2万人弱減少している。(千住温水プールが営業していたH25と比較しても1.5万人程度減少)	得点
					29
4. プール施設の管理運営 配点 9	(チャレンジポイント) 配点 2	【所見】施設の経年劣化を視野に入れ、中央監視室とプール監視室との連携および巡回点検による早期発見、報告、対応の徹底。ダミー人形でのCPR訓練を業務開始前に実施することを徹底し、事故対応レベル向上に努めています。その結果、有事の際にも早い対応で大事に至りませんでした。	9	【所見】 利用者が快適に利用できるよう日常及び定期的な点検・水質管理が行われている。また、定期的な監視・巡回体制が確立しているものの、プール更衣室でのロッカー盗難が起きたことは残念である。	得点
					8
5. 会計事務 配点 6		【所見】引き続き、本部経理担当者による指導のもと入出金管理は必ず、2人体制、2重チェックを徹底し毎日4回、時間帯ごとに仮締め処理を行っています。また、他館のシステム事故報告を参考にシステム研修を取り入れ、事故防止に努めています。定期的に公認会計士、税理士からのチェックを受け、ミスの無い会計処理を行っております。	6	【所見】 会計事務処理について適切に行なわれている。	得点
					6
6. 事業計画・提案書の達成度 配点 12		【所見】以前より継続している年代別の事業の他、新規事業はおおよそ実施できました。(緊急工事や指導員の都合による中止以外)アウトリーチ事業、トップアスリート招聘イベント、絆づくり事業についても予定通り実施できました。	12	【所見】 事業計画、提案書ともにほぼ達成している。未実施部分の提案等は今後に期待する。	得点
					12
7. 利用者の声に係る評価 配点 13.5	利用者アンケート 配点 15	【所見】利用者アンケート結果の掲示および、各セクションへの回覧により、ミーティングでの課題とし問題解決に最大限努力しています。また、常時、ロビーにご意見箱を設置し、即時対応、回答するように心掛けています。その他、施設のことに関するご要望については即時対応できないものは区管轄へ報告、相談を行い、検討してもらっています。	13.5	【所見】 利用者アンケートで施設の整理整頓・道具の不備・案内掲示についての満足度が、80%以下である。施設の老朽化もあるが、努力を期待する。	得点
					12
得点合計					128.5

足立区生涯学習関連施設(スポーツ施設)指定管理者総合評価シート

施設名: 平野運動場

指定管理者名: ヤオキン商事株式会社

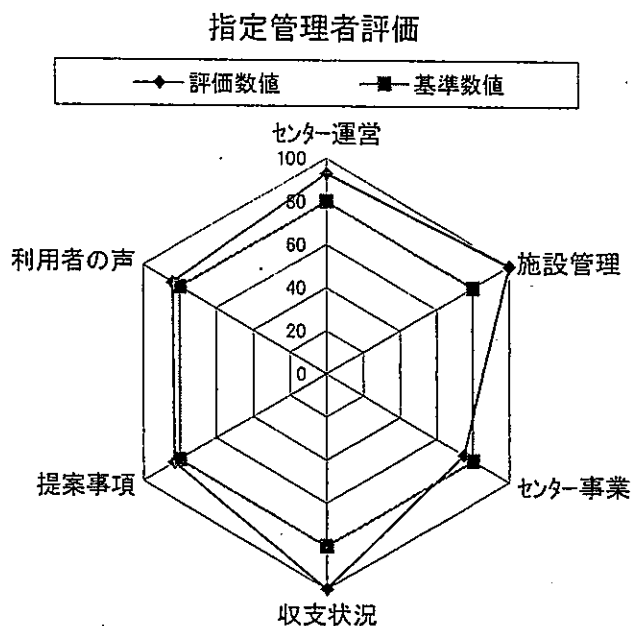
評価項目	配点	自己評価 得点	評価委員会 得点
1. 運營業務の適正化とサービスの質の向上	30	30	30
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		0
2. 施設・設備の維持管理	15	15	15
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		2
3. スポーツ施設の管理運営	27	26	26
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	10		2
4. 会計事務	6	6	6
5. 事業計画・提案書の達成度	12	10	10
6. 利用者の声に係る評価	13.5	13.5	13.5
利用者アンケート	15		10.5
<b>合計</b>	<b>132.5</b>		<b>115</b>

総合評価基準

A+	100~95点	優れている
A	94~86点	
A-	85~80点	
B+	79~75点	適正である
B	74~66点	
B-	65~61点	
C	60点以下	改善を要する

評価点(100点満点) (評価委員会得点合計÷ 配点合計 × 100)	総合評価
<b>86</b>	<b>A</b>

総合評価レイザーチャート



評価対象期間	平成27年度	自己評価基準日	平成28年3月31日	区評価実施日	平成28年3月31日
--------	--------	---------	------------	--------	------------

足立区生涯学習関連施設(スポーツ施設)指定管理者項目別評価表

施設名:平野運動場

項目	指定管理者自己評価		評価委員会評価	
	【所見】	得点	【所見】	得点
1. 運營業務の適正化とサービスの質と向上 配点 30  (チャレンジポイント) 配点 2	【所見】 一時集合場所として、誘導訓練だけでなく消火訓練を施設利用者と共に行いました。工事する場合にはすぐに事務所・テニスコート・野球場に掲示を行い、利用者に周知を行いました。	30	【所見】 ・近隣の高校生や特別支援学級の生徒の職場体験などを積極的に受け入れており、青少年健全育成の取り組みを今後も継続して欲しい。 ・施設工事日程の周知などを迅速に行い、施設と利用者のトラブルを防止できたことについて評価する。 ・避難訓練、消火訓練だけではなく、AED講習などを利用者を行い、身につくようにして欲しい。	30  0
2. 施設・設備の維持管理 配点 15  (チャレンジポイント) 配点 2	【所見】 コンクリート補修工事や施設内看板塗装といったスタッフで出来る範囲の物を行い、経費削減へと繋げています。 水道の水漏れの有無を調べるために、毎日水道メーターを確認しています。	15	【所見】 ・職人経験のあるシルバースタッフを活用して、施設の塗装補修、コンクリート舗装を最少の経費で行ったことを評価する。 ・冬場の数ヶ月、グラウンドに飛来するカモのフンを毎日、早朝に清掃するなど施設の衛生管理維持を今後も継続して対応していただきたい。 ・屋外施設の管理では特に熱中症やデング熱の予防対策を徹底願いたい。	15  2
3. スポーツ施設における事業 配点 27  (チャレンジポイント) 配点 10	【所見】 足立区グラウンドゴルフ協会と連携し、講座を開催しました。 また、障がい者スポーツ指導員の資格を取得しました。障がい者スポーツ指導についても視野を入れて、講座企画を行います。	26	【所見】 ・利用者数向上に向け、他の施設と差別化を図った事業展開実施を期待する。 ・障がい者スポーツ指導員資格を活かした事業展開を期待する。 ・屋外施設を活かし、オリンピック・パラリンピックの啓発の機会となる事業を展開することを期待する。	26  2
4. 会計事務 配点 6	【所見】 帳簿関係書類は、毎月本社経理に提出。公認会計士のチェックを受けております。施設の特性を考慮し、時期に応じてシフトを工夫しながら、人件費削減に努めています。	6	【所見】 適正に会計処理が行われている。	6
5. 事業計画・提案書の達成度 配点 12	【所見】 グラウンドゴルフ協会とのつながりが今年度できた為、次年度などより強く連携を行ってまいります。 スポーツカーニバルが開催となり、ジャイアンツアカデミーや足立区軟式野球連盟とのつながりもできた為、今後の事業の際に協力をお願いするつもりです。	10	【所見】 ・実現可能な事業提案(一流プレーを見て応援して楽しむ)について、27年度も達成することができなかった。次年度、実現することを期待する。 ・指定管理者2年目として平野運動場での初めてのスポーツカーニバル経験を通し、野球関係者や地元の企業、スポーツ団体と連携をとることができた。これを活かし、野球グラウンドなどを効率的に活用していただきたい。	10
6. 利用者の声に係る評価 配点 13.5 利用者アンケート 配点 15	【所見】 テニスコートネット修理やベース金具交換はお客様のご意見から実施させていただきました。 女子・男子トイレの修繕についても所管課に相談し、実施していただいたのでお客様から好評の声を頂いています。	13.5	【所見】 ・利用者の要望を適確に捉え、快適な施設運営を行ったことを評価する。 ・苦情対応のマニュアルが整備され、迅速な対応をこころがけている。	13.5  10.5
得点合計				115.0



足立区生涯学習関連施設指定管理者総合評価シート

施設名：足立区文化芸術劇場(シアター1010)

指定管理者名：共立・キョードー東京・大星ビル管理共同事業体

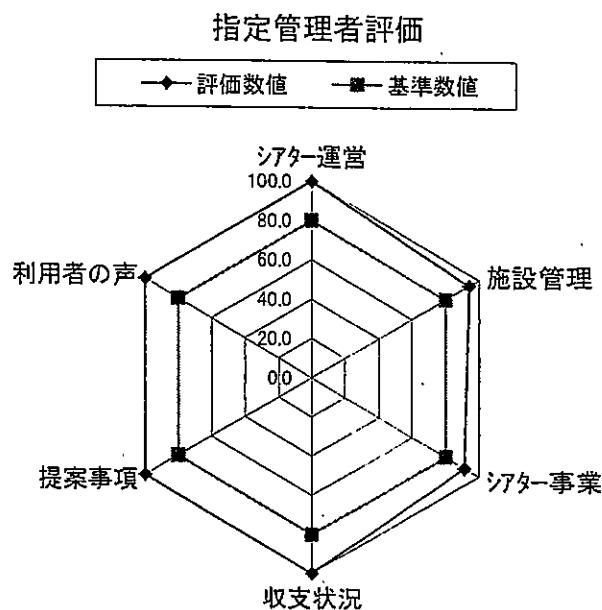
評価項目	配点	自己評価 得点	評価委員会 得点
1. 運營業務の適正化とサービスの質の向上	30	30	30
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		2
2. 施設・設備の維持管理	15	15	14
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	2		2
3. 文化芸術劇場における事業	36	36	34
チャレンジポイント(特に優れた取り組み等)	10		8
4. 会計事務	12	12	12
5. 事業計画・提案書の達成度	12	12	12
6. 利用者の声に係る評価	18	18	18
利用者アンケート	20		20
<b>合計</b>	<b>157</b>		<b>152</b>

総合評価基準

A+	100～95点	優れている
A	94～86点	
A-	85～80点	
B+	79～75点	適正である
B	74～66点	
B-	65～61点	
C	60点以下	改善を要する

評価点(100点満点) (評価委員会得点合計÷ 配点合計 × 100)	総合評価 (A・B・C)
96	A+

総合評価レーダーチャート



評価対象期間	平成27年度	自己評価基準日	平成28年2月12日	区評価実施日	平成28年3月31日
--------	--------	---------	------------	--------	------------

足立区生涯学習関連施設指定管理者項目別評価表

施設名：足立区文化芸術劇場(シアター1010)

項目	指定管理者自己評価		評価委員会評価	
1. 運営業務の適正化とサービス 配点 30 【チャレンジポイント】 配点 2	【所見】 27年度行動方針「&MoreSynergy27・協働でシナジー効果を上げよう」を職員に徹底。施設の運営のみならず、千住ミルディスを核にした北千住駅前活性化企画や、区と連携した文化振興を支援・協力。新しい形の運営・サービスを一歩進められたと自己評価いたします。	得点 30	【所見】 ギャラリー、アトリエが約2ヶ月の改修で休館期間があったため、年間の利用者数は前年比約5000人減となったが、ギャラリー、アトリエの月平均利用者数分(約10,000人)を鑑みると、前年並み以上の推移であったといえる。他施設の貸出では、稽古場1の利用率が前年比11%増となるなど、全体での補完ができています。	得点 30 2
	2. 施設・設備の維持管理 配点 15 【チャレンジポイント】 配点 2	【所見】 美観、省エネ、安全対策ともに今年度も実施。また広い意味での安全対策と云う観点で、災害時の避難経路マップも作成。3年後の大改修までの施設維持を、着実に進めていると自己評価いたします。	得点 15	【所見】 業者による電気錠操作盤の点検作業後に、施設内の一部で開錠が発見された。被害が発生しなかった事例ではあったが、作業後の確認がされず、開錠を防止できなかった点を減点とした。
3. 文化芸術劇場における事業 配点 36 【チャレンジポイント】 配点 10	【所見】 今年度も、新しい企画の公演を数々実施。レギュラー化している一流演者出演の公演と併せ、クオリティの高い公演をラインナップ出来たと思います。それにより会員数も大幅にアップ。劇場ブランディングにも寄与出来たと自己評価いたします。	得点 34	【所見】 一流の演者による演目、集客に話題性のある演目を選定し、実施しているものと評価するが、劇場利用者数および文化事業入場者数は前年比減のため減点とした。 友の会会員数が過去最多となったことは評価できるが、前年度、会費値下げによる会員増を評価したため、今年度は点数を計上しない。	得点 34 8
	4. 会計事務 配点 12	【所見】 消費税への更なる対応策。またギャラリー・アトリエの改修工事による2ヶ月以上の貸し出し停止と、収入に影響する幾つかの事態が有りましたが、何とか今年度も黒字決算。安定的な会計事務を進めていると自己評価いたします。	得点 12	【所見】 適切な事務処理がされている。また、会計関係の書類も適切に管理されている。 今年度はギャラリー、アトリエの約2ヶ月の休館により、施設利用料は1000万円以上の減ではあったが、プラス収支となった。年度当初に全体の収支を想定し、経費削減を行うなど経営努力によるものと評価する。
5. 事業計画・提案書の達成度 配点 12	【所見】 事業計画・提案書内容は勿論達成しておりますが、他に各公演元やご利用者からの、施設利用のご要望も大幅にアップ。ここ数年に渡り実施している、ブランドプロモーション効果が着実に上がっていると自己評価いたします。	得点 12	【所見】 シアター1010のニーズと動向にあわせてさまざまに展開している。特に、区の文化振興施策への協力として、えんチャレ登録アーティストへの支援は、指定管理者ならではのネットワークを活かし、施設外での運営にも力を入れたものである。次年度以降のさらなる連携が期待できる	得点 12
	6. 利用者の声に係る評価 配点 18 利用者アンケート 配点 20	【所見】 ご利用者の声は、通常のアンケートに留まらず、懇話会や各公演元からの声も集約。また本社サイドでの業界情報も加味して各企画に利用。今年度も早い対応が出来たと自己評価いたします。	得点 18	苦情が発生した場合の内部での対応体制が整っている。利用者からの意見に対し、内部での問題意識が共有され、ホームページ上での回答公表など外部への発信ができています。
得点合計			152	

# ■チャレンジポイント加算一覧

生涯学習関連施設評価委員会（平成27年度事業）

1. 運営業務の適正化とサービスの質の向上		2. 施設・設備の維持管理		3. センター・体育館における事業		図書館運営	
生涯学習センター				6	子どもの貧困対策「タダゼミ」/東京五輪に向けた事業「おもてなし外国語講座」/高校生キャリア形成支援事業		
伊興センター							4
梅田センター		2	館周辺美化の取り組み	6	独立高師者対象事業「お菓業デザイナー会」/スポーツスタジアム/地域の企業と高校、センターの3者連携事業		6
興本センター	2			6	子どもの貧困対策「居場所づくり」/トランポリンクリニック/人に寄り添うコミュニケーション能力アップ講座		6
江北センター				4	成果発表会/花壇づくりサロン		8
佐野センター				4	学びのサポートボランティア/郷土博物館連携事業		6
鹿浜センター	2	2	オリジナル遊難誘導マニュアルの作成と防災の取り組み	8	高校生受験生の援団/車椅子バスケット体験講座/ふれあいまつりを10倍楽しむツアー/鹿浜メッセクラブ		4
新田センター	2	2	事務室とロビーのレイアウト改善	2	福島復興を絡めた鉄道サロン		2
竹の塚センター	2	2	ホールの規制を緩和して、利用の可能性を広げた	4	竹の塚を音楽溢れる街にしようキャンペーン/民間の文化施設「昭和の家」などの連携		6
中央本町センター	2			6	子どもの居場所づくりとしてフリースペースの取り組み/商店街職業体験/アウォールチ活動の多数実施		6
東和センター	2			4	スポーツマネジメント講座/将棋大会		2
舎人センター	2			6	ボランティアグループのコーディネート/のびのびまなぼ-/地域の史跡めぐり講座		6
花畑センター				4	障がい者スポーツをテーマにしたスポーツカーニバル/ふれあいまつり実行委員会との連携		6
保塚センター				4	地域と連携した居場所づくり事業/赤ちゃんワールドの取り組み		4
シアター1010	2	2	26年度からの計画的な改修	8	映画演劇文化協会を利用した公演/3都市との連携ワークショップ/ファミリーコミュニケーションの実施/えんちやへの協力		プールの運営
総合センター	2	2	防災訓練の取り組み	6	スポーツカーニバルの取り組み/テニス教室/施設内ショップの取り組み		
竹の塚温水プール（スィムセンター）	2	2	ポスター掲示板の拡大、ルール外国人と障がい者への対応	2	障がい者への活動支援/東京未来大との連携		2
東綾瀬温水プール	2	2	コンプリアスエチケットカードの作成と活用	2	障がいスポーツ月間の取り組み/大会強化練習とマナー指導/無料プログラムの追加実施		
千寿本町小温水プール	2	2	休憩時の対応、情報発信の取り組み	2	駐輪場のコンクリート工事実施		
平野運動場				2	グラウンドゴルフを実施して野球場の活用をした		

